

3. 主要な施策の成果

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------|-----------------|----------------|-----------|-------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 2 款 総 務 費 | 49,491,488,366 | 39,031,720,660 | 7,700,000 | 675,877,140 | 9,776,190,566 |
| 1 項 総 務 管 理 費 | 43,546,439,129 | 37,754,318,893 | 0 | 465,047,277 | 5,327,072,959 |
| 3 目 人 事 管 理 費 | 130,191,398 | 10,477,000 | 0 | 360,640 | 119,353,758 |

1 人事管理事業費 96,573,900 円 (人事課)

[総括]

「豊橋市人材育成基本方針」に基づき、有為な人材を確保するため、首都圏在住の学生等を対象に東京で採用試験を実施するとともに、オンラインによる採用活動や採用面接を実施した。職員研修では、新規採用職員を対象に、課題発見力や企画立案力の向上を図るため、統計資料等を分析し解決策を立案する研修を実施するなど、職員の育成に取り組んだ。このほか、新型コロナウイルス感染症の影響による離職者等を会計年度任用職員として緊急雇用した。今後も、職員がやりがいを持ち、前向きな姿勢で仕事に取り組めるよう、「個と組織」の強化に向けた行政体制の整備を継続的に進めていく。

[実績及び成果]

(1) 職員採用事務費 2,834,234 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---------|----------|------|----------|------|
| | 1次試験受験者数 | 採用者数 | 1次試験受験者数 | 採用者数 |
| 事務職・技術職 | 429人 | 46人 | 372人 | 55人 |
| 専門職 | 112 | 22 | 210 | 24 |
| 経験者等 | 60 | 3 | 69 | 5 |
| 労務職 | 104 | 9 | 116 | 13 |
| 合 計 | 705 | 80 | 767 | 97 |

(2) 人事給与管理事務費 46,199,097 円

(3) 職員研修費 14,452,995 円

(ア) 市単独研修 11,799,323 円

[階層別研修]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------|-------|-------|
| 研修内容についての理解度 | 4.1 | 4.1 |
| 現在の業務における有益度 | 4.3 | 4.0 |
| 将来の業務における有益度 | 4.3 | 4.1 |

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※階層別研修は、新規採用職員から管理職までの各階層に必要とされる基本的な知識、能力を習得させることを目的として実施される研修である。

(イ) 派遣研修 1,169,110 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------|-------|-------|
| 研修内容についての理解度 | 4.4 | 4.4 |
| 現在の業務における有益度 | 4.7 | 4.5 |
| 自己の能力開発に対しての有益度 | 4.7 | 4.3 |

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※主な派遣先（国内）中央省庁、愛知県、田原市、岐阜市、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、自治体国際化協会、市町村職員中央研修所、全国建設研修センター、愛知県市町村振興協会研修センター 等

(ウ) 自己啓発支援補助金 1,484,562 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 |
|-----------------|-----------|------------|-----------|------------|--------|
| | 人員またはグループ | 金 額 | 人員またはグループ | 金 額 | |
| 自己研修補助金 | 118人 | 1,716,090円 | 92人 | 1,438,512円 | △22.0% |
| 自主研究グループ活動支援補助金 | 5グループ | 105,216 | 2グループ | 46,050 | △60.0 |
| 計 | — | 1,821,306 | — | 1,484,562 | — |

※自己啓発支援補助金は、自己の能力開発を図り、行政能率の向上に資するために実施する自己研修に対する経費の補助である。

※人員は研修受講修了者の数である。

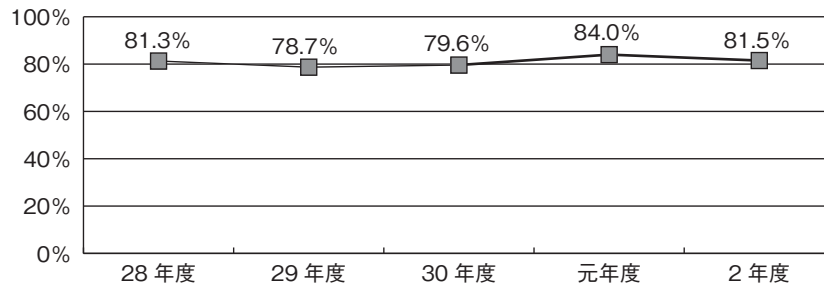
(4) 庁内障害者ワークステーション運営事業費 33,087,574 円

| 業 務 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------|------------|------------|
| | 依頼所属数：79 課 | 依頼所属数：73 課 |
| 印刷、製本、ホチキス止め | 319件 | 325件 |
| 封入封緘、紙折り作業 | 197 | 235 |
| シール貼り、ゴム印押し | 81 | 99 |
| 簡易なデータ入力、スキャニング | 55 | 50 |
| シュレッダー作業、ごみ回収 | 153 | 181 |
| その他の簡易な作業 | 279 | 302 |
| 合 計 | 1,084 | 1,192 |

[指 標]

指 標 名：人材育成・活用の推進に向けた職場成熟度

指標説明：職場環境に関するアンケートにおいて、職場の現状について肯定的な回答をした割合



※職場環境に関するアンケートは、階層別研修の受講者を対象に6分野（職場管理、人間関係、やりがい感、改革推進度、人材育成、働きかけ度）32項目で実施し、指標は全32項目の平均割合

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 広報広聴費 〈多様なメディアの特性を活かした情報共有の推進〉 | 95,266,507 | 930,000 | 0 | 6,700,404 | 87,636,103 |

1 広報事業費 89,485,423 円 (広報広聴課)

[総括]

広報紙やホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ放送など様々な媒体を活用し、広く情報を発信してきた。令和2年度は、ツイッターアカウント「広報とよはし」の運用を開始し、市が実施するイベントや各支援策等を発信するとともに、ホームページでは、新型コロナウイルス感染症に関する特設ページを設け、タイムリーな情報発信に努めた。今後も、広報媒体の特性を活かし、迅速・正確な広報活動に努めていく。

[実績及び成果]

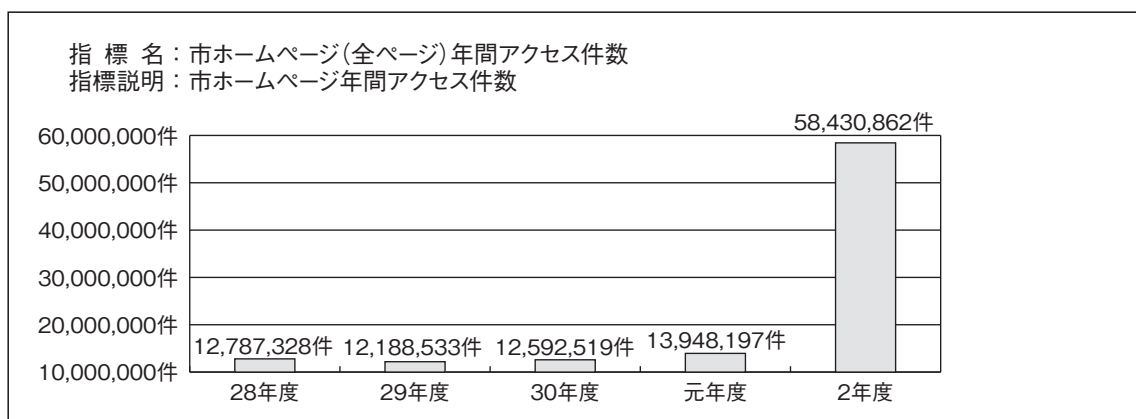
(1) 活字等広報事業費 43,817,572 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------------------|-------|-------|
| 広報とよはし | 月1回発行 | 月1回発行 |
| 多言語デジタルブック配信(広報とよはし) | 月1回配信 | 月1回配信 |
| 点字広報とよはし | 月1回発行 | 月1回発行 |
| 声の広報とよはし | 月1回発行 | 月1回発行 |
| ライフスタイルブック | 1回発行 | 1回発行 |

(2) 電波等広報事業費 45,667,851 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|-------------------|-------------------|
| ラジオ広報 | やしの実FM | やしの実FM |
| テレビ広報 | ティーズ | ティーズ |
| インターネット広報 | ホームページ・インターネットラジオ | ホームページ・インターネットラジオ |

[指標]



2 広聴事業費

4,070,181 円（広報広聴課）

[総括]

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部懇談会やまちづくり出前講座の実施を見送った。その一方で、市長への手紙、市民のメールボックスの件数は増加し、多くの市民の声を把握することができた。今後も、市民の声を市政に反映するため、多様化する市民ニーズを的確に把握していく。

[実績及び成果]

(1) 調査広聴事業費 1,179,720 円

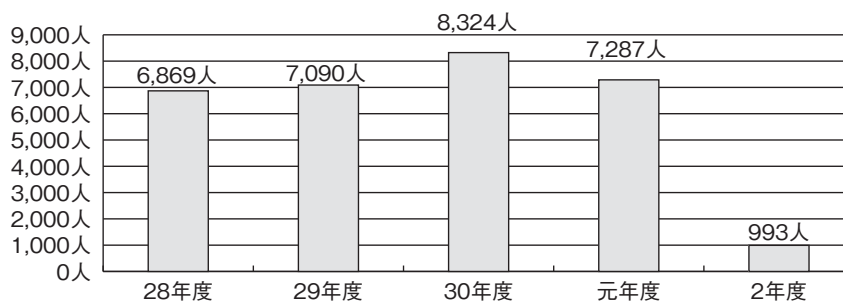
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------|----------------------|----------------------|
| 市民意識調査 | 有効回収数2,429件 回収率48.6% | 有効回収数2,553件 回収率51.1% |

(2) 広聴活動事業費 2,890,461 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 市政懇談会 | 市長と女性の懇談会 6人参加 中学生まちづくり委員会 23人参加 | 市長と女性の懇談会 4人参加 中学生まちづくり委員会 実施見送り |
| 地域懇談会 | 3回実施 147人参加 | 実施見送り |
| 市長への手紙 | 39通 | 94通 |
| 市民のメールボックス | 849件 | 1,576件 |
| まちづくり出前講座 | 246回実施 7,287人参加 | 38回実施 993人参加 |

[指標]

指標名：まちづくり出前講座の参加者数
 指標説明：〃



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 11目 企 画 費 | 12,013,324 | 1,024,100 | 0 | 0 | 10,989,224 |

1 総合計画推進事業費 321,165円 (政策企画課)

[総括]

平成27年度に策定した「第5次豊橋市総合計画後期基本計画」を推進するため、実施計画を策定した。また、総合計画の進捗を管理するため、行政評価による政策評価と細事業評価を行うとともに、事業の改革改善を行い、行政資源の効果的な配分に努めた。今後も限られた行政資源の適正な配分を行いながら、政策の推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 政策推進事業費 249,413円

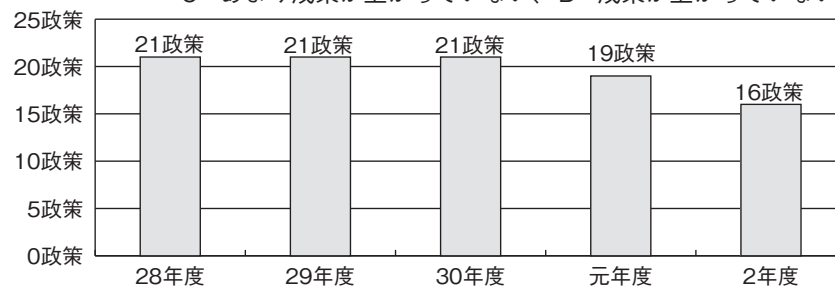
| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|----------------------|
| | | ・政策研究の実施 ・実施計画の策定 |

(2) 行政評価推進事業費 71,752円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|-------------------------|-------------------------|
| 政 策 評 価 | ・政策評価の実施 44政策 | ・政策評価の実施 44政策 |
| 細 事 業 評 価 | ・平成30年度決算評価 1,035細事業 | ・令和元年度決算評価 1,034細事業 |
| 市 民 公 表 | ・政策分析報告書 ・細事業PDCAシート | ・政策分析報告書 ・細事業PDCAシート |

[指 標]

指 標 名：44政策のうち総合評価「A」の政策数
 指標説明：行政評価における政策分析レポートの総合評価が「A」の政策数
 ※総合評価はA：成果が上がっている、B：概ね成果が上がっている、
 C：あまり成果が上がっていない、D：成果が上がっていないの4段階で評価



2 総合計画策定事業費 300,127 円（政策企画課）

[総括]

令和3年度から令和12年度までを計画期間とする「第6次豊橋市総合計画」を令和元年度、2年度の2か年をかけて策定した。さらに、市民等に広く計画を認知してもらうため概要版を作成した。

[実績及び成果]

(1) 総合計画策定事業費 300,127 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---|---|
| | ・総合計画策定支援等委託業務 人口推計、市民アンケート調査、 市民ワークショップ など ・市民会議の開催（5回） ・高校生による政策提言 ・第5次豊橋市総合計画の総括 など | ・第6次豊橋市総合計画の策定 ・パブリックコメントの実施 ・概要版の作成 など |

3 地方創生推進事業費 5,291,089 円（未来創生戦略室）

[総括]

平成27年度に策定した「豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するため、外部委員の意見を取り入れ、評価検証を実施した。また、「豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間（平成27年度～令和2年度）終了に伴い、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を第6次豊橋市総合計画（まちづくり戦略）と一体的に策定した。

[実績及び成果]

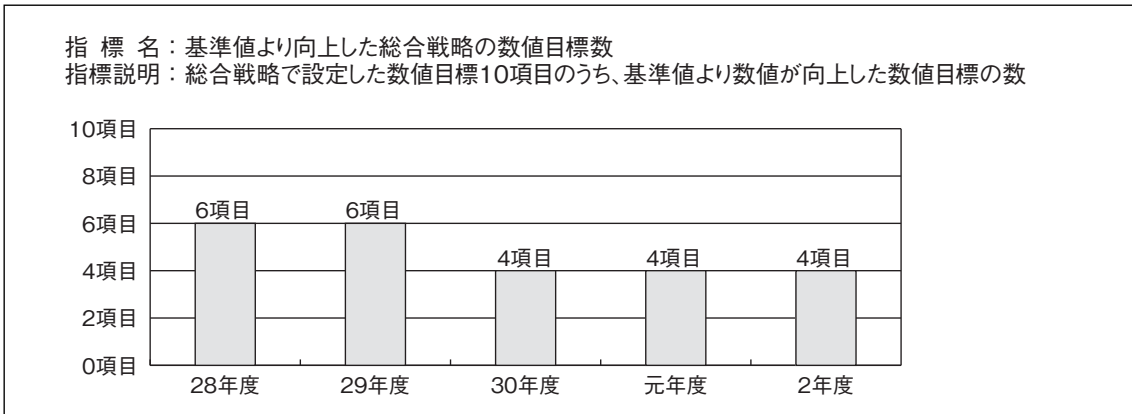
(1) 総合戦略推進事業費 291,089 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------|---------------|---------------|
| 交付金採択件数 | ・地方創生推進交付金 5件 | ・地方創生推進交付金 4件 |
| 移住体験ツアー参加人数 | 1回 31人 | — |

(2) 大学研究活動費補助金 5,000,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------|---------------|---------------|
| 豊橋技術科学大学 | 3件 3,600,000円 | 3件 3,800,000円 |
| 愛知大学 | 0 0 | 2 1,000,000 |
| 豊橋創造大学 | 2 518,000 | 1 200,000 |

[指標]



4 未来創生戦略事業費

2,233,885 円（未来創生戦略室）

[総括]

少子・高齢化などの社会環境の変化により複雑化・多様化する行政課題に迅速かつ適切に対応するための庁内型シンクタンクとして、政策立案に向けた基礎調査等を行い政策研究レターやSDGs通信を発行したほか、職員向け研修会を実施した。また、コロナ禍に対応した実証的な活動として、ICTを活用した感染者との接触を通知するシステムの設置や託児付きのコワーキングスペースの開設などを実施した。

[実績及び成果]

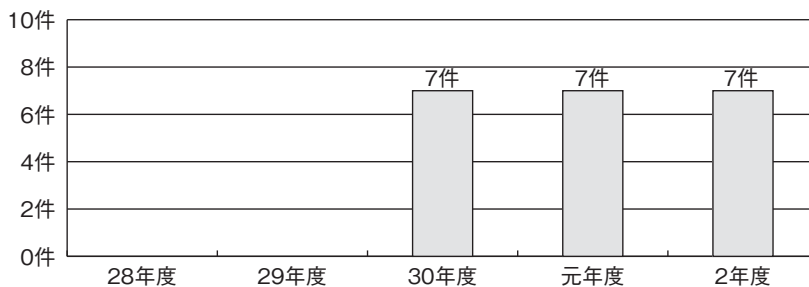
(1) 未来創生戦略事業費

2,233,885 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|---|--|
| 政策研究等実施件数 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人研究 1件 - テーマ：結婚・出産・子育て ・グループ研究 4件 - テーマ：まちづくり戦略部会 (しごとづくり・ひとの流れづくり、安心子育て・特色ある教育づくり、誰もが活躍する社会づくり、快適で安心な社会基盤づくり) ・講演会 2回 - テーマ：統計調査データ活用、SDGs | <ul style="list-style-type: none"> ・個人研究 2件 - テーマ：豊橋市の魅力 SDGsの認知度 ・研修会 2回 - テーマ：政策・事業づくり SDGs ・その他 3件 - 内容：豊橋市新型コロナ通知システムの設置 託児付きコワーキングスペースの開設（実証） 滞在人口分析（実証） |
| 発行物 | 政策研究レター 1回 | 政策研究レター 1回 SDGs通信 1回 |

[指標]

指標名：政策研究等実施件数
 指標説明：個人研究、グループ研究および講演会実施件数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 12目 シティプロモーション費 <観光資源の魅力づくり> | 51,359,279 | 11,873,349 | 0 | 2,059,600 | 37,426,330 |

1 シティプロモーション活動事業費 51,359,279円 (シティプロモーション課)

[総括]

令和3年度からのシティプロモーション活動の方向性を示す「豊橋市シティプロモーション推進計画」を策定した。また、令和2年3月放送開始の連続テレビ小説「エール」を活用した地域活性化を図るため、イベントやPR活動等により気運を盛り上げ、市の認知度の向上や市民の愛着度の醸成に繋げることができた。今後も官民一体となったオール豊橋体制による効果的なシティプロモーション活動を展開していく。

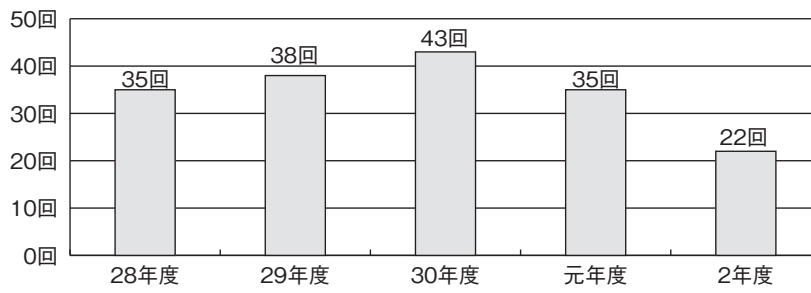
[実績及び成果]

(1) プロモーション活動事業費 51,359,279円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------------------------------|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・若者向け豊橋PR番組「DOEE RADIO」の放送 ・ええじゃないか豊橋伝播隊DOEEの活動支援 ・首都圏の街頭ビジョンでのプロモーションの実施 ・映画やドラマなど豊橋ロケ作品のサポートや魅力発信 ・「エール」専用ホームページの開設、ポスター等PRグッズの作成 ・古関金子さんのまんが制作 ・古関裕而さんの楽曲コンサートの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・若者向け豊橋PR番組「DOEE RADIO」の放送 ・ええじゃないか豊橋伝播隊DOEEの活動支援 ・首都圏の街頭ビジョンでのプロモーションの実施 ・映画やドラマなど豊橋ロケ作品のサポートや魅力発信 ・古関金子さんの時代体験イベント、作曲体験イベント等の実施 ・路面電車ラッピング広告の実施 ・花のステージ「エール」の設置 ・「エール」物産展の開催 |
| 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業 | | — |
| ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 1回 | | ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 4回 |
| シティプロモーション事業補助金 補助件数 4件 600,000円 | | シティプロモーション事業補助金 補助件数 2件 400,000円 |
| シティプロモーション認定事業 認定件数 5件 | | シティプロモーション認定事業 認定件数 12件 |

[指 標]

指 標 名：市外でのシティプロモーション活動回数(物産展・イベント等)
指標説明：



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 13目 首都圏活動センター費 <インバウンドをはじめとした誘客・誘致の推進> | 14,202,448 | 0 | 0 | 1,300,435 | 12,902,013 |

1 シティプロモーション活動事業費 10,515,923円 (首都圏活動センター)

[総括]

首都圏活動センターでは、例年首都圏で行われる手筒花火イベントや物産展等が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる中、東三河広域連合による期間限定アンテナショップや東京事務所を持つ自治体との連携イベント等において、関係課と連携したプロモーション活動に取り組んだ。また、東三河ゆかりの首都圏在住者で構成する「ほの国東三河応援倶楽部」会員へのメールマガジン配信等による情報発信を行った。今後も、東三河の各市町村、民間組織等と連携して、幅広いプロモーション活動を実施していく。

[実績及び成果]

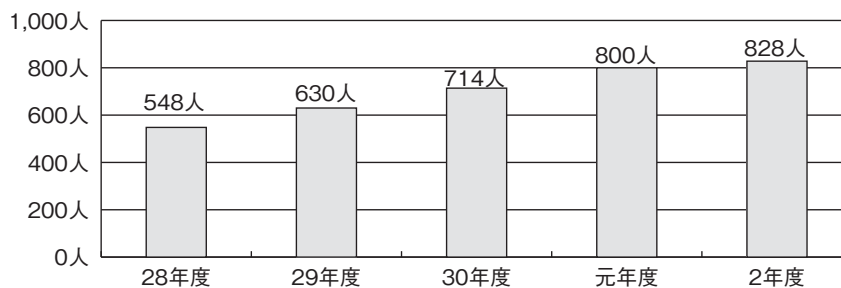
(1) 首都圏プロモーション活動事業費 10,515,923円

〔ほの国東三河応援倶楽部〕

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|---|---|
| 総会及び市政報告会 | ・開催日 2.20 ・出席者 ふるさと大使、愛知県選出の国会議員、 応援倶楽部会員など131名出席 ※応援倶楽部会員数：800名（3.31現在） | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ※応援倶楽部会員数：828名（3.31現在） |

[指標]

指標名：「ほの国東三河応援倶楽部」の会員数
 指標説明：「ほの国東三河応援倶楽部」へ入会した人の総数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 14目 広域連携費 〈東三河広域連合の充実と広域的な地域づくりの推進〉 | 76,241,062 | 0 | 0 | 0 | 76,241,062 |

1 広域行政推進事業費 76,217,062 円 (政策企画課)

[総括]

東三河広域連合において、「ほの国こどもパスポート事業」を引き続き行い住民交流の更なる促進を図ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により対象施設の多くが休館となるなど、利用者数が大幅に減少した。このほか、期間限定東三河ブランドショップの出店(吉祥寺)や東三河物産展(イオン岡崎南店)を開催し東三河のブランド力向上を図った。今後も地方分権の流れや複雑多様化する広域的課題に対応するため、関係市町村との連携事業を実施するとともに、住民の広域連携への意識の高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 広域行政推進事務費 1,370,480 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------------|-------|-------|
| 豊川水系総合開発促進期成 同盟会要望実施回数 | 2回 | 2回 |

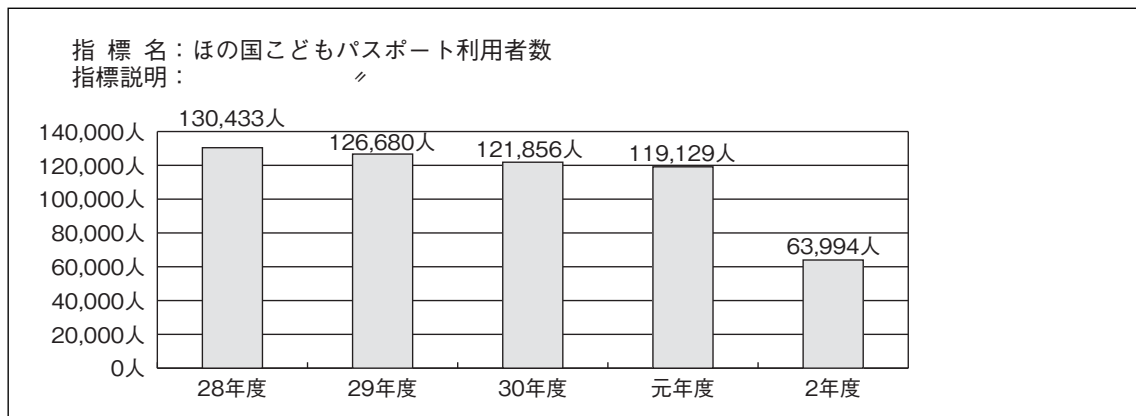
(2) 東三河広域連合管理負担金 63,764,264 円

| 負 担 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|--------------|--------------|
| | 62,658,640 円 | 63,764,264 円 |

(3) 東三河広域連合広域行政推進事業負担金 11,082,318 円

| 負 担 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|--------------|--------------|
| | 11,625,138 円 | 11,082,318 円 |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 15目 水資源対策費 〈水資源の保全と安定確保に向けた流域連携の促進〉 | 97,731,076 | 0 | 0 | 0 | 97,731,076 |

1 設楽ダム水源地域整備事業費 55,170,170 円 (政策企画課)

[総括]

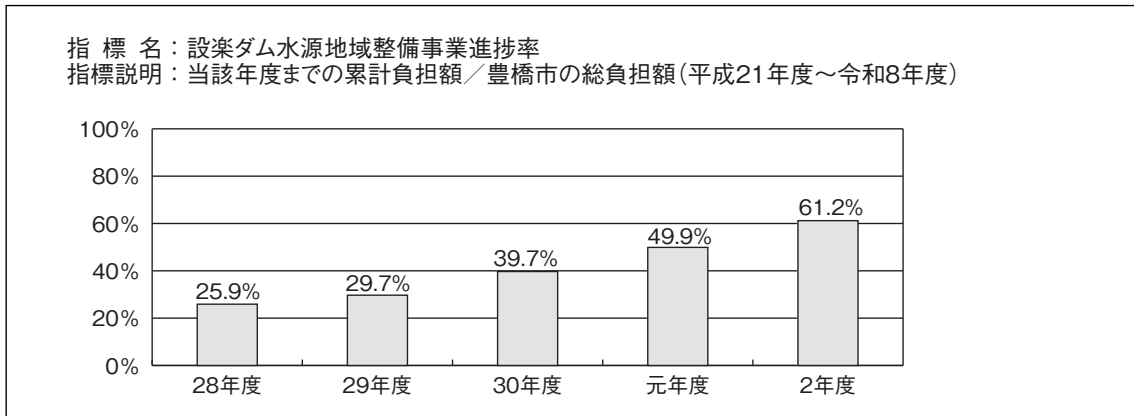
水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業に対し負担金を支出した。今後も引き続き、長年渇水や洪水被害に悩む東三河下流地域の被害軽減のため、国・県・関係市町村と連携して設楽ダムの建設促進を図る。

[実績及び成果]

(1) 設楽ダム水源地域整備事業負担金 55,170,170 円

| 負 担 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------|--------------|
| | | 49,736,498 円 |

[指 標]



※設楽ダム建設事業の工期が令和8年度まで延伸されたことに伴う事業費の変更により再算定

2 豊川水源基金費 42,560,906 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業を補完して行われる設楽ダム水源地域対策事業に対し負担金を支出した。また、豊川水系における水源林整備を推進するため「水源林対策事業第8期基本計画」(平成28年度から令和2年度)に基づき、公益財団法人豊川水源基金に対し負担金を支出した。今後も引き続き、水源地域の振興や水源林保全を図るため、国・県・関係市町村と連携した効果的な事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 設楽ダム水源地域対策事業負担金 33,600,906 円

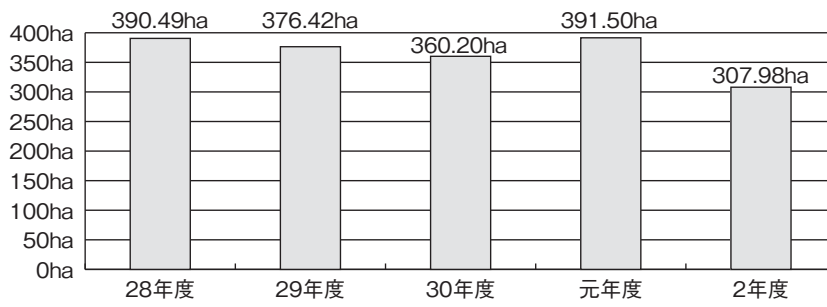
| 負 担 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------|--------------|
| | | 32,627,352 円 |

(2) 水源林地域対策事業負担金 8,960,000 円

| 負 担 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------|-------------|
| | | 8,947,000 円 |

[指 標]

指 標 名：水源林地地域整備面積
指標説明：下刈り・除間伐面積



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---|-----------------|-------------|-------|---------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 16目 情報システム整備拡充費 <多様化する情報化ニーズに対応した情報システムの整備・拡充> | 781,746,363 | 51,693,876 | 0 | 621,100 | 729,431,387 |

1 行政事務情報化推進事業費 753,757,442 円 (情報企画課・行政デジタル推進室)

[総括]

行政サービスの維持・向上を図るため、各業務システムの番号制度対応などの改修のほか、団体内統合宛名システムの機器更新に伴うデータ移行作業を行った。また、県内外の自治体との広域連携による R P A を活用した業務効率化に取り組んだほか、東三河地域の自治体とのシステム共同化の検討や県内中核市とのシステムの共同調達・共同運用及び情報セキュリティ対策強化など情報システム改革を進めた。今後も行政事務の効率化と有効性を高めるためのシステムを順次構築し、安定稼働をめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 行政情報管理システム管理運営事業費 365,563,864 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|--------|--------|
| 行政情報端末数 | 2,154台 | 2,230台 |

(2) 住民情報システム管理運営事業費 284,540,139 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|-------|-------|
| 住民情報端末数 | 127台 | 128台 |

(3) 電子計算システム開発事業費 44,533,940 円

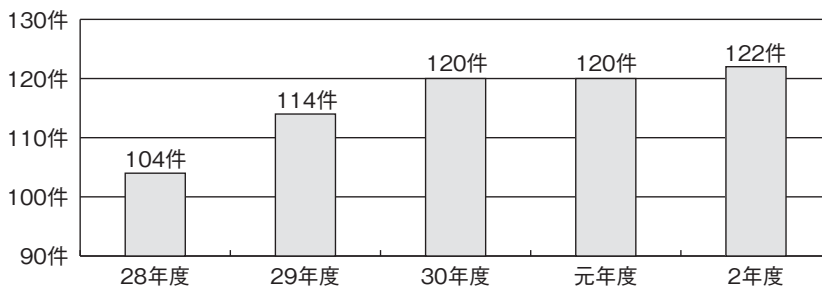
| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-----------------------|-----------------------|
| | 福祉システム、税総合システム等 8件 | 福祉システム、税総合システム等 8件 |

(4) I C T 利活用推進事業費 59,119,499 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|----------------------------|----------------------------|
| | 提出された I C T 企画シートの件数 9件 | 提出された I C T 企画シートの件数 7件 |

[指 標]

指 標 名：稼働システム数
指 標 説 明：全庁で稼働しているシステム数



2 地域情報化推進事業費

23,395,770 円（情報企画課・行政デジタル推進室）

〔総括〕

地域サービス及び行政サービスにおける情報のデジタル化を推進するため、「あいち電子自治体推進協議会」の共同化事業において電子調達システムの更新並びに施設予約システム等の安定稼働を図ったほか、新たにBWA公衆無線LANを設置して地域における通信環境を向上させた。今後も引き続き、愛知県や県内市町村との連携を図りながら、デジタル化による市民サービスの向上に資する事業に取り組んでいく。

〔実績及び成果〕

- (1) 情報発信基盤等整備事業費 11,771,148 円

〔公衆無線LAN〕

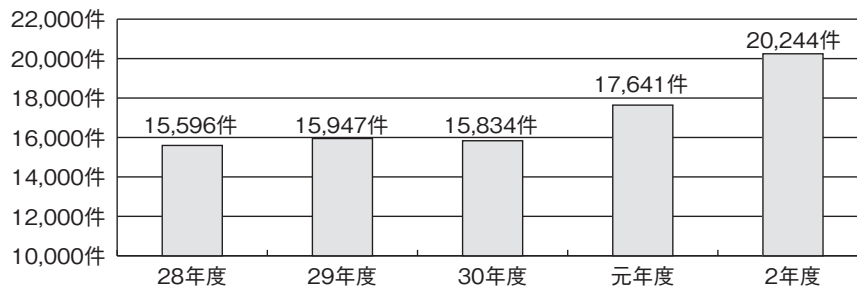
| 設置箇所数 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------|-------|
| | 17箇所 | 18箇所 |

- (2) 自治体共同情報化推進事業費 11,624,622 円

| 負担金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--------------|--------------|
| | 12,460,090 円 | 11,550,242 円 |

〔指標〕

指標名：施設予約システム利用件数
 指標説明：〃



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|----------|-----------------|-------------|-------|------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 2項 徴 税 費 | 1,328,660,619 | 619,863,306 | 0 | 45,309,202 | 663,488,111 |
| 4目 納 税 費 | 97,171,926 | 0 | 0 | 251,900 | 96,920,026 |

1 納税事務費 71,161,502 円 (納税課)

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納額の減少を目的として、口座振替の加入推進、公平かつ的確迅速な収納整理及び滞納整理に努めた。特に休日臨時電話相談、市税コールセンターにおける現年度滞納者に対する催告を行うとともに、納付機会のさらなる拡大を図るため5月より新たにLINE Pay納付を開始した。また、平成28年度から引き続き東三河広域連合徴収課へ職員4名を派遣するとともに徴収困難案件を移管し、積極的な滞納整理を実施した。市税全体の収入率は、厳しい納税環境の中においても前年度比で増減なしとなった。今後も収入率の向上に向け適切な徴収事務に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 啓発事業費 686,840 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|-------|-------|
| 口座振替加入率 | 36.8% | 36.8% |

(2) 収納整理事務費 10,155,985 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------|---------|---------|
| 督促状発付件数 | 94,247件 | 81,540件 |
| コンビニ納付件数 | 174,139 | 181,603 |
| クレジットカード納付件数 | 3,822 | 4,584 |
| LINE Pay納付件数 | — | 1,359 |
| 市税コールセンターによる架電件数 | 28,269 | 26,362 |

(3) 滞納整理事務費 21,884,282 円

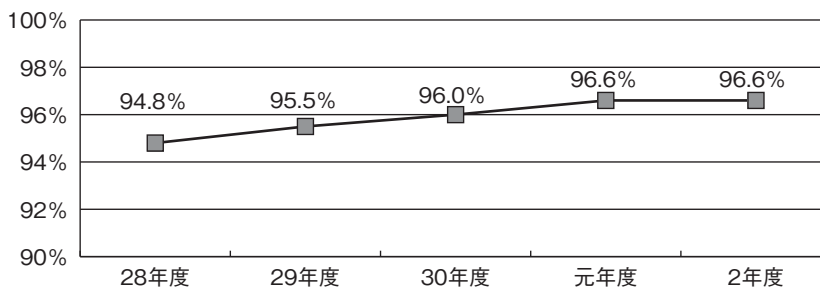
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------------|---------|---------|
| 差 押 件 数 | 2,367件 | 2,642件 |
| 差 押 期 別 件 数 | 38,974期 | 39,225期 |
| 公売による換価件数 (出資金等含む) | 36件 | 3件 |

(4) 東三河広域連合滞納整理事業負担金 38,434,395 円

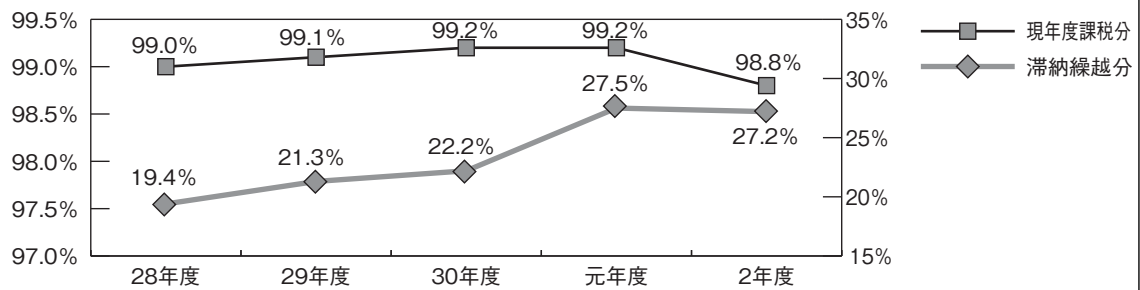
| 負 担 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------------|-------------|
| | 35,403,719円 | 38,434,395円 |

[指標]

指標名：市税収入率(全体)
 指標説明：収入額／調定額



指標名：市税収入率(現年度課税分、滞納繰越分)
 指標説明：収入額／調定額



| 科目 | 決算額等 | 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|----|----------------------|-------------|-------------|---------|-------------|-------------|
| | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3項 | 戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費 | 888,689,072 | 284,923,698 | 700,000 | 108,484,725 | 494,580,649 |
| 1目 | 戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費 | 880,097,061 | 284,317,206 | 700,000 | 108,484,725 | 486,595,130 |

1 戸籍住民基本台帳等サービス事務費 398,853,885 円 (市民課)

[総括]

戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付などの窓口事務を行った。証明書のコンビニ交付サービスや証明窓口の土曜開設などに加え、死亡に伴う遺族の手続きを支援するための対面型個別相談窓口「おくやみコーナー」を設置し、市民サービスの充実に努めた。マイナンバーカードの取得促進のため、マイナンバー窓口の拡張や土曜開設などを実施するとともに、地区市民館や商業施設等への出張申請受付を積極的に行った。また、窓口案内表示システムの運用により、リアルタイムの混雑状況をホームページで発信することが可能となり、窓口での待ち時間の平準化と混雑緩和に努めた。今後も迅速かつ正確な事務を行うとともに、親切、丁寧な対応を心がけ、「爽やかな、親しみある窓口」を推進する。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 331,834,296 円

| 実施項目 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|-----------------|-----------------|---------|---------|-------|
| 戸 籍 関 係 | | 65,386件 | 65,721件 | 0.5% |
| 住 民 基 本 台 帳 関 係 | | 103,703 | 99,058 | △ 4.5 |
| 印 鑑 登 録 関 係 | | 27,776 | 26,691 | △ 3.9 |
| そ の 他 証 明 関 係 | | 2,006 | 2,040 | 1.7 |
| マイナンバーカード交付関係 | | 6,615 | 50,516 | 7.6倍 |
| コンビニ 交付関係 | 戸 籍 関 係 | 1,041 | 1,763 | 69.4% |
| | 住 民 基 本 台 帳 関 係 | 4,252 | 9,005 | 2.1倍 |
| | 印 鑑 登 録 関 係 | 2,881 | 6,216 | 2.2 |
| 計 | | 213,660 | 261,010 | 22.2% |

(2) 届出受付事務費 1,016,970 円

| 実施項目 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|-----------------|--|---------|---------|--------|
| 戸 籍 関 係 | | 12,580件 | 11,360件 | △ 9.7% |
| 住 民 基 本 台 帳 関 係 | | 28,020 | 22,322 | △20.3 |
| 印 鑑 登 録 関 係 | | 7,443 | 6,946 | △ 6.7 |
| 火 埋 葬 許 可 関 係 | | 2,326 | 2,403 | 3.3 |
| 計 | | 50,369 | 43,031 | △14.6 |

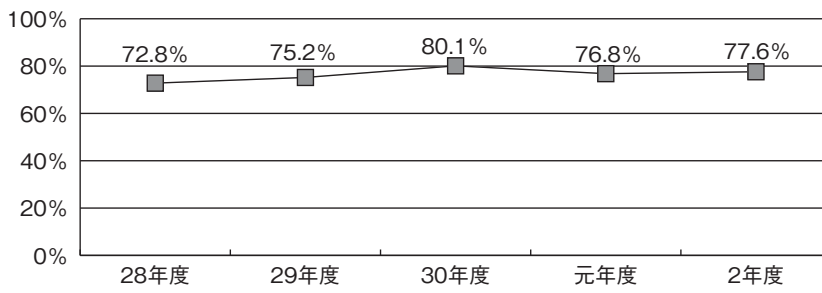
(3) 台帳記録事務費 66,002,619 円

| 実施項目 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|-----------------|--|---------|---------|--------|
| 戸 籍 関 係 | | 14,375件 | 13,023件 | △ 9.4% |
| 住 民 基 本 台 帳 関 係 | | 103,730 | 94,023 | △ 9.4 |
| 印 鑑 登 録 関 係 | | 7,767 | 7,570 | △ 2.5 |
| 身 上 調 査 関 係 | | 3,521 | 3,218 | △ 8.6 |
| 相 続 税 法 関 係 | | 3,732 | 3,798 | 1.8 |
| 計 | | 133,125 | 121,632 | △ 8.6 |

[指 標]

指 標 名：窓口サービス満足度

指標説明：市民課の全体的な印象について、満足及びやや満足と回答した件数／窓口サービスアンケート調査件数



2 窓口センターサービス事務費 56,685,753 円（市民課）

[総括]

市内8か所の窓口センターにおいて、戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付事務とともに、国民健康保険、国民年金関係の届出受付、税務関係証明の交付、火埋葬許可証の交付等の窓口事務を行った。今後も市民に「親しまれ気軽に利用できる」窓口センターをめざし一層の利用案内を行う。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 29,937,140 円

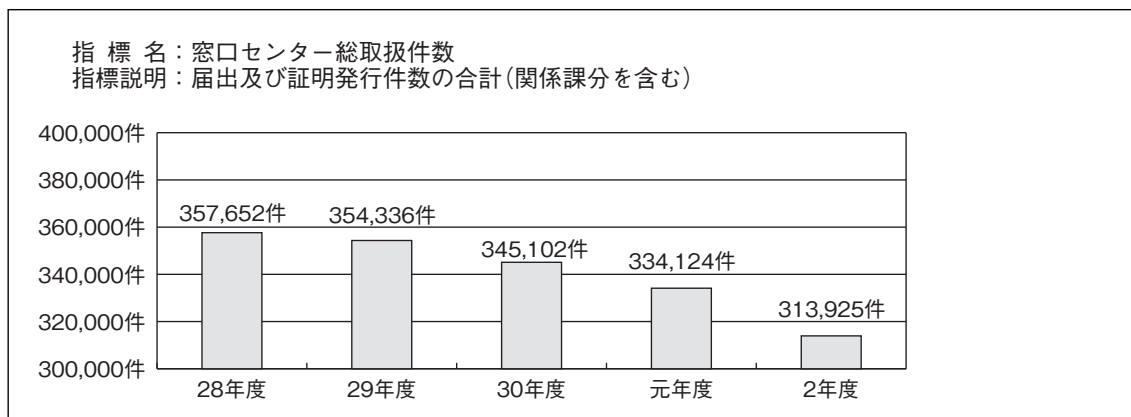
| 実施項目 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|----------|---------|---------|--------|
| 戸籍関係 | 43,089件 | 36,811件 | △14.6% |
| 住民基本台帳関係 | 101,864 | 99,862 | △ 2.0 |
| 印鑑登録関係 | 79,004 | 78,828 | △ 0.2 |
| 税務証明関係 | 55,253 | 46,410 | △16.0 |
| その他証明関係 | 1,548 | 1,745 | 12.7 |
| 計 | 280,758 | 263,656 | △ 6.1 |

(2) 届出受付事務費 473,270 円

| 実施項目 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 戸籍関係 | 3,652件 | 3,487件 | △ 4.5% |
| 住民基本台帳関係 | 9,843 | 9,569 | △ 2.8 |
| 印鑑登録関係 | 8,607 | 8,441 | △ 1.9 |
| 火埋葬許可関係 | 1,479 | 1,442 | △ 2.5 |
| 国民健康保険関係 | 7,957 | 7,431 | △ 6.6 |
| 国民年金関係 | 3,649 | 3,223 | △11.7 |
| 福祉関係 | 17,042 | 15,672 | △ 8.0 |
| 学校関係 | 130 | 121 | △ 6.9 |
| 大きなごみ証紙関係 | 1,007 | 883 | △12.3 |
| 計 | 53,366 | 50,269 | △ 5.8 |

(3) 施設管理運営事業費 26,275,343 円

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------|-----------------|-------------|-------|-------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 2目 戸籍住民諸費 | 8,592,011 | 606,492 | 0 | 0 | 7,985,519 |

1 旅券サービス事務費 7,985,519円 (市民課)

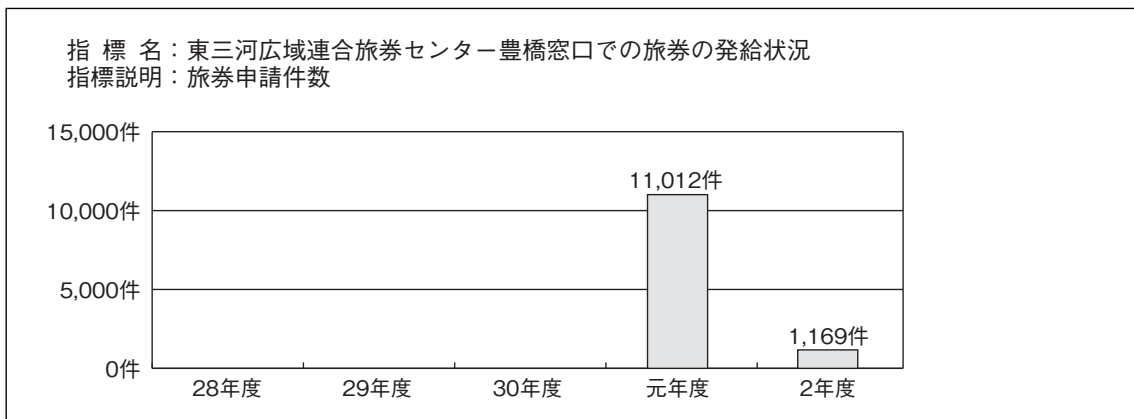
[総括]

令和元年度から都道府県の法定受託事務である一般旅券の発給事務の一部を、東三河広域連合を受皿として権限移譲を受け、東三河8市町村のいずれの窓口でも一般旅券の発給申請等ができるようになるなど利便性の向上を図った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、取扱件数は減少したが、今後も構成市町村及び愛知県と連携し、迅速かつ正確な事務処理を行う。

[実績及び成果]

(1) 東三河広域連合旅券事務負担金 7,985,519円

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 6項 文化 振 興 費 | 984,357,659 | 63,755,000 | 0 | 7,548,729 | 913,053,930 |
| 2目 芸術文化振興費 ＜個性あふれる芸術文化の展開＞ | 162,197,161 | 20,711,000 | 0 | 5,000,000 | 136,486,161 |

1 文化創造活動事業費 156,475,730 円 (「文化のまち」づくり課)

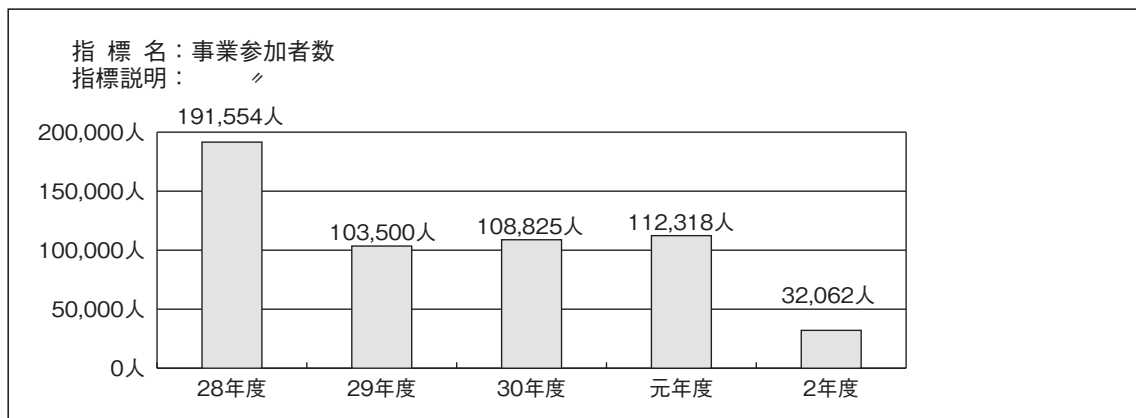
[総 括]

豊橋文化振興財団は、穂の国とよはし芸術劇場を拠点として、芸術文化の創造発信及び市民の鑑賞機会の充実を図っており、令和2年度は高校生と創る演劇「Yに浮かぶ」や、市民と創る演劇「甘い丘」等を上演した。青少年オーケストラキャンプは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったものの、ドイツから招へいを予定していた講師から生徒たちに向けたメッセージ動画の配信や、これまでの活動を紹介する写真展などを実施した。今後も優れた芸術文化活動の促進を図ることで、まちの魅力を高めていく。

[実績及び成果]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------------------|--------------|--------------|
| (1) 豊橋文化振興財団補助金 | 154,257,652円 | 155,112,386円 |
| (2) 豊橋青少年オーケストラキャンプ事業補助金 | 3,200,000 | 1,363,344 |
| (3) 豊橋青少年オーケストラキャンプ10回記念事業開催事業費 | 8,228,142 | — |
| 計 | 165,685,794 | 156,475,730 |

[指 標]



2 文化がみえるまちづくり事業費 5,721,431 円 (「文化のまち」づくり課)

[総 括]

新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学生を対象にアーティストによるアウトリーチやワークショップを行う芸術文化体験普及事業は一部の学校での実施が中止となったものの、新たに豊橋駅東西自由連絡通路に誰もが気軽に弾くことができるストリートピアノを設置した。また、アーティストが一定期間豊橋市内に滞在しながら創作活動を行うアーティストインレジデンス事業では、オンラインによるワークショップなどを実施した。今後も教育機関などと連携・協働し、芸術文化によって感性豊かな子どもの育成を図るとともに文化がみえるまち豊橋を発信し、まちの魅力向上を図っていく。

[実績及び成果]

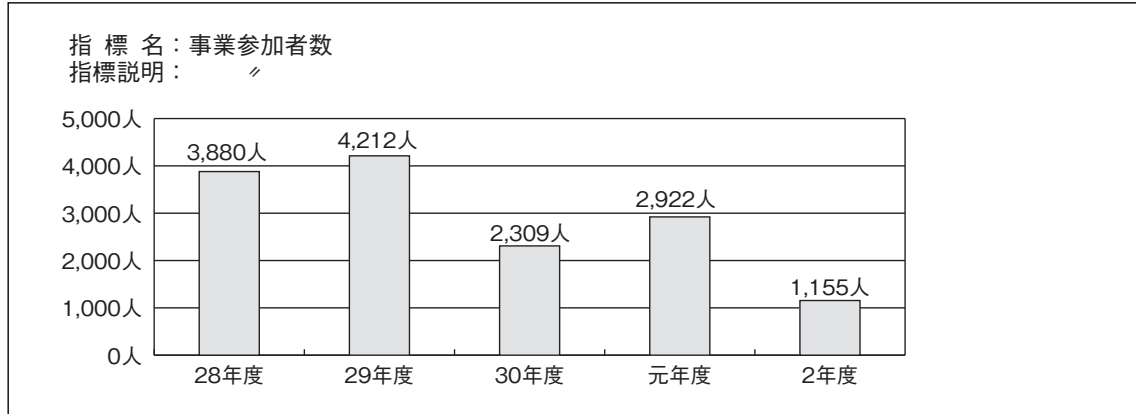
(1) 文化がみえるまちづくり事業費 2,721,431 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---------------------------|-------------------------|
| | 芸術文化体験普及事業69回(参加者延2,669人) | 芸術文化体験普及事業38回(参加者延940人) |

(2) アートによる魅力発信事業費 3,000,000 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|----------------------------|----------------------------|
| | アーティストインレジデンス事業(参加者延 253人) | アーティストインレジデンス事業(参加者延 215人) |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3目 芸術文化推進費 <芸術文化活動の推進> | 745,443,219 | 43,044,000 | 0 | 2,548,729 | 699,850,490 |

1 文化活動支援事業費 2,159,576 円 (「文化のまち」づくり課)

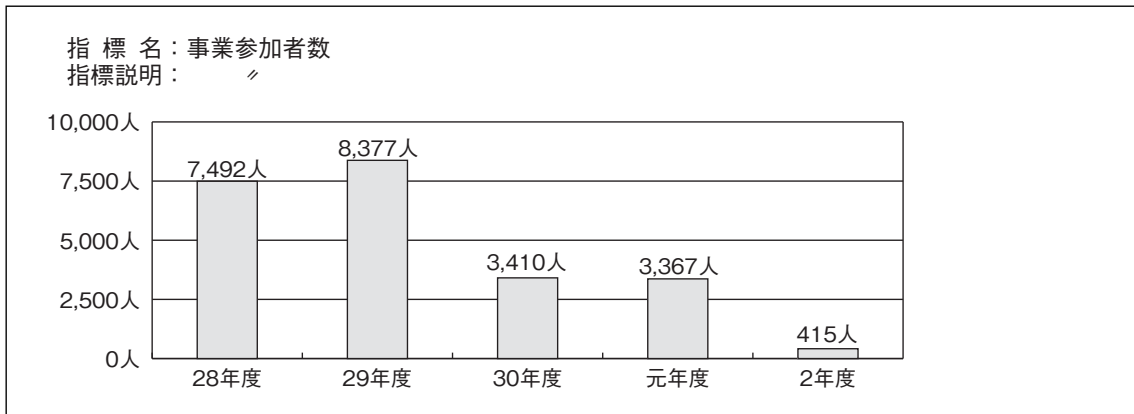
[総括]

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各団体の定期公演や大会が軒並み中止になった。コロナ禍による先行きは不透明な状況ではあるが、今後も市民文化活動の振興と伝統文化の保存・継承のため、活動の周知、促進や後継者の育成に努めていく。

[実績及び成果]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------------|------------|------------|
| (1) 豊橋交響楽団補助金 | 1,800,000円 | 1,800,000円 |
| (2) 豊橋素人歌舞伎保存会補助金 | 378,300 | 0 |
| (3) 吉田文楽保存会補助金 | 450,000 | 0 |
| (4) 郷土関係出版物補助金 | 18,000 | 171,000 |
| (5) 全国凧揚げ大会開催事業補助金 | 363,778 | 188,576 |
| (6) 三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会負担金 | 1,888,933 | 0 |
| 計 | 4,899,011 | 2,159,576 |

[指 標]



2 文化施設管理事業費

736,520,247 円（「文化のまち」づくり課）

〔総括〕

文化施設（7施設）について、指定管理者及びPFI事業者による適正な管理運営を行った。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用者が減少したため、指定管理者へ利用料金の減少やアルコール消毒液などの感染防止対策経費に対し、指定管理者支援補助金を交付した。今後も、必要となる修繕や維持保全を行うとともに、指定管理者の自主的な経営努力を促し、利用者が安全・快適に利用できるよう努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 市民文化会館管理事業費 57,263,706 円

| 利用状況 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較（利用人員） |
|-------|----------------|----------------|----------|
| ホール | 108件 延 21,637人 | 98件 延 13,307人 | △38.5% |
| 会議室 | 2,156 延 39,289 | 1,391 延 19,201 | △51.1 |
| 展示室 | 290 延 35,789 | 162 延 13,607 | △62.0 |
| リハール室 | 292 延 23,584 | 196 延 8,663 | △63.3 |
| 合計 | 2,846 延120,299 | 1,847 延 54,778 | △54.5 |

※令和元年度は空調設備故障による部分閉館あり。

(2) 西川芸能練習場管理事業費 1,729,006 円

| 利用状況 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較（利用人員） |
|------|---------------|--------------|----------|
| ホール | 138件 延 4,217人 | 88件 延 2,330人 | △44.7% |
| 楽屋 | 29 延 862 | 23 延 576 | △33.2 |
| 合計 | 167 延 5,079 | 111 延 2,906 | △42.8 |

(3) 三の丸会館管理事業費 15,522,234 円

| 利用状況 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較（利用人員） |
|------|---------------|-------------|----------|
| 茶室 | 150件 延 4,379人 | 90件 延 903人 | △79.4% |
| 和室 | 391 延15,279 | 139 延 2,141 | △86.0 |
| 立礼茶席 | 延 7,903 | 延 6,867 | △13.1 |
| 合計 | 541 延27,561 | 229 延 9,911 | △64.0 |

(4) ライフポートとよはし管理事業費 151,648,430 円

| 利用状況 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較（利用人員） |
|----------|---------------|---------------|----------|
| コンサートホール | 160件 延58,110人 | 109件 延15,622人 | △73.1% |
| 中ホール | 273 延39,008 | 145 延11,435 | △70.7 |
| 合計 | 433 延97,118 | 254 延27,057 | △72.1 |

(5) 公会堂管理事業費 31,870,923 円

| 利用状況 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較（利用人員） |
|------|---------------|--------------|----------|
| 大ホール | 188件 延50,375人 | 72件 延13,770人 | △72.7% |

(6) 穂の国とよはし芸術劇場管理事業費 370,424,708 円

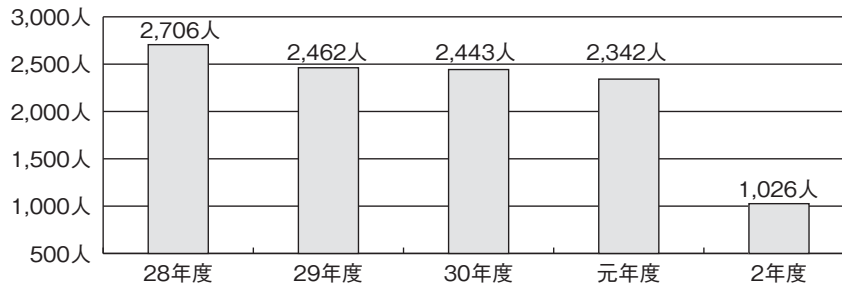
| 利用状況 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較(利用人員) |
|---------|----------------|----------------|----------|
| 主ホール | 233件 延101,713人 | 136件 延 32,720人 | △67.8% |
| アートスペース | 257 延 33,651 | 187 延 11,950 | △64.5 |
| 創造活動室 | 2,503 延 24,071 | 1,196 延 9,374 | △61.1 |
| 研修室 | 779 延 16,573 | 427 延 5,594 | △66.2 |
| 交流スクエア等 | 延 53,349 | 延 19,069 | △64.3 |
| 合計 | 3,772 延229,357 | 1,946 延 78,707 | △65.7 |

(7) アイプラザ豊橋管理事業費 108,061,240 円

| 利用状況 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較(利用人員) |
|--------------|-----------------|----------------|----------|
| 講堂 | 107件 延102,063人 | 44件 延 22,905人 | △77.6% |
| 小ホール | 314 延 28,512 | 217 延 14,695 | △48.5 |
| 会議・和室 | 6,184 延 75,506 | 3,975 延 34,781 | △53.9 |
| 実習・調理実習・多目的室 | 3,669 延 40,434 | 3,034 延 25,186 | △37.7 |
| 体育室 | 1,531 延 18,668 | 1,449 延 13,785 | △26.2 |
| 学習・図書室 | 延 20,027 | 延 16,350 | △18.4 |
| 合計 | 11,805 延285,210 | 8,719 延127,702 | △55.2 |

[指標]

指標名：1日当たりの利用者数
 指標説明：延べ利用者数／開館日数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------------|-----------------|-------------|-------|------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 7項 スポーツ振興費 | 1,027,475,921 | 53,163,120 | 0 | 22,690,045 | 951,622,756 |
| 2目 スポーツ活動促進費 <スポーツ活動への参加促進> | 105,531,830 | 5,031,420 | 0 | 15,194,260 | 85,306,150 |

1 地域スポーツ推進事業費 7,840,780円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域スポーツ行事の多くが中止となったが、新たな総合型地域スポーツクラブ発足など、市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと生涯スポーツに対する意識高揚を図った。今後もスポーツ推進委員活動、スポーツ少年団活動及び総合型地域スポーツクラブの連携を進め、地域スポーツ活動の推進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) スポーツ推進委員活動事業費 7,030,780円

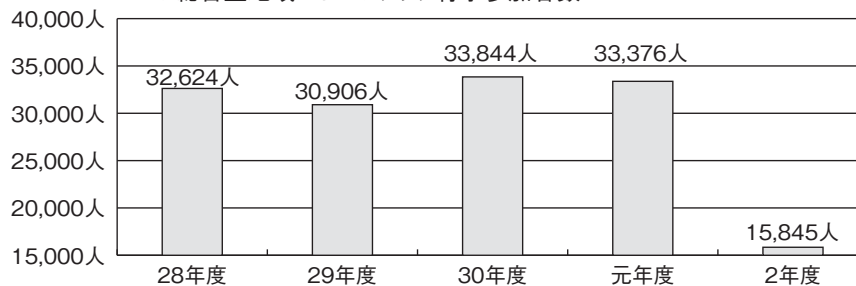
| スポーツ推進委員 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|----------|-------|------|------------|------|
| | | 112名 | 6,720,000円 | 112名 |

(2) スポーツ少年団活動事業補助金 810,000円

| 補助金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----|-------|-------|----------|-------|
| | | 133団体 | 810,000円 | 131団体 |

[指標]

指標名：地域スポーツ行事参加者数
 指標説明：スポーツ推進委員活動行事参加者数＋スポーツ少年団活動事業参加者数
 ＋総合型地域スポーツクラブ行事参加者数



2 一般体育振興事業費

87,598,110 円（「スポーツのまち」づくり課）

〔総括〕

市民のスポーツ活動への参加促進を図るため予定していた各種スポーツ行事の多くが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった一方で、中学生最後の運動部活動の試合の機会を設けるため、会場の確保や審判員の費用を支援した。また、令和2年度は新たに豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画を策定した。今後も市民ニーズに合った各種スポーツ行事を開催し、より一層のスポーツ振興を図る。

〔実績及び成果〕

(1) スポーツ活動推進事業費 3,622,011 円

(ア) 行事開催

| 区 分 | 令和元年度 | | | 令和2年度 | | |
|---------------------|--------|----------------------|---------|-------|-------------------|--------|
| | 開催日 | 会 場 | 参加人数 | 開催日 | 会 場 | 参加人数 |
| スポーツフェスタ | 6月～12月 | 陸上競技場ほか | 延7,890人 | 11月 | 石巻運動広場 ※一部のみ開催 | 延 397人 |
| 体育の日記念行事 (ウエルネス) | 10.14 | 総合体育館 | 2,200 | — | — | 0 |
| 豊橋みなと シティマラソン | 11.10 | 総合スポーツ公園 -神野西町一丁目 | 4,015 | — | — | 0 |
| 渥美半島駅伝競走大会 | 2.2 | 田原市～豊橋市 | 584 | — | — | 0 |
| 穂の国・豊橋ハーフマラソン | — | — | — | 3.28 | 豊橋公園発着 ※縮小開催 | 2,551 |
| FUN NIGHT RUN | 7.27 | 豊橋総合 動物公園 | 1,807 | — | — | 0 |

※令和2年度穂の国・豊橋ハーフマラソンは、クォーターマラソンとオンラインハーフマラソンの2種目による代替イベント

(イ) 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画策定市民委員会

| 開 催 回 数 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---------|-------|-----|-------|-----|
| | | 1 回 | | 3 回 |

※令和元年度までは、生涯スポーツ推進市民会議を設置

(ウ) 中学生スポーツ活動応援事業

| 種 目 | 開催日 | 会 場 | 参加人数 |
|----------|----------|---------------------|------|
| バレーボール女子 | 8.1 | 東陽中学校体育館 | 120人 |
| 軟 式 野 球 | 8.1～8.10 | 市民球場・豊橋球場 | 350 |
| バレーボール男子 | 8.2 | 二川地区体育館 二川中学校体育館 | 80 |
| サ ッ カ ー | 8.3 | 総合スポーツ公園サッカー場 | 60 |
| バスケットボール | 8.6～8.7 | 総合体育館 | 694 |

※令和2年度のみ

(2) 市民スポーツ祭事業補助金 350,457 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|------|----------|------|
| | | 31種目 | 450,000円 | 16種目 |

(3) 学校体育施設開放運営事業費 33,312,402 円

開放施設 市立小・中学校、県立高校 計 82 校

[利用状況]

| 区 分 | 令 和 元 年 度 | | | 令 和 2 年 度 | | |
|----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | 体育館 | 運動場 | 計 | 体育館 | 運動場 | 計 |
| バレーボール | 延176,002人 | —人 | 176,002人 | 延152,693人 | —人 | 152,693人 |
| 剣 道 | 延 52,025 | — | 52,025 | 延 52,230 | — | 52,230 |
| 空 手 | 延 31,231 | — | 31,231 | 延 22,951 | — | 22,951 |
| 野 球 | — | 延161,279 | 161,279 | — | 延108,098 | 108,098 |
| ソフトボール | — | 延 26,097 | 26,097 | — | 延 18,066 | 18,066 |
| 卓 球 | 延 7,357 | — | 7,357 | 延 6,452 | — | 6,452 |
| バドミントン | 延 33,771 | — | 33,771 | 延 29,814 | — | 29,814 |
| サ ッ カ ー | — | 延249,314 | 249,314 | — | 延194,617 | 194,617 |
| バスケットボール | 延124,947 | — | 124,947 | 延117,135 | — | 117,135 |
| ソフトバレー | 延 97,927 | — | 97,927 | 延 82,353 | — | 82,353 |
| インディアカ | 延 21,463 | — | 21,463 | 延 16,671 | — | 16,671 |
| そ の 他 | 延 97,769 | 延 24,395 | 122,164 | 延 73,862 | 延 12,740 | 86,602 |
| 計 | 642,492 | 461,085 | 1,103,577 | 554,161 | 333,521 | 887,682 |

(4) 豊橋市体育協会補助金 44,013,240 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------------|-------------|
| | 49,097,508円 | 44,013,240円 |

(5) 日本港湾福利厚生協会補助金 6,300,000 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-----------------------------|-----------------------------|
| | プール延利用者数 49,557人 6,300,000円 | プール延利用者数 20,013人 6,300,000円 |

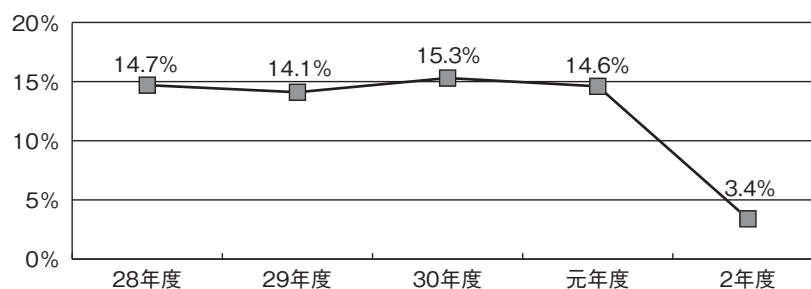
(6) 市町村対抗駅伝競走大会参加補助金 0 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|----------|-------|
| | 225,760円 | 0円 |

[指 標]

指 標 名：市・体育協会主催スポーツ活動参加率

指標説明：市・体育協会主催スポーツ活動参加者数／10月1日現在豊橋市人口



3 スポーツを活用したまちづくり事業費 10,092,940円（「スポーツのまち」づくり課）

[総括]

スポーツのまちづくりを推進するため、スポーツ情報やまちなかの店舗情報などを発信するスマートフォンアプリを使い、まちの魅力発信を行ったほか、地元の事業者と協力し、試合会場で楽しむことができる三遠ネオフェニックスの応援グルメ及びグッズを開発し、販売を行った。

[実績及び成果]

(1) スポーツを活用したまちの魅力発信事業費 10,092,940円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|----------------|--|
| | スマートフォンアプリの活用等 | スマートフォンアプリの活用、三遠ネオフェニックス応援グルメ・グッズの開発・販売等 |

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------------|-----------------|-------------|-------|---------|---------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3目 競技スポーツ推進費 <競技者を支える環境づくり> | 413,415 | 0 | 0 | 413,415 | 0 |

1 スポーツ活動顕彰事業費 400,290円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

スポーツの普及発展に貢献した市民を顕彰することで、スポーツへの関心や本市に対する愛着心を醸成するとともに、全国大会出場者に激励金を支給することで、競技力向上への意欲を高めることに寄与している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全国大会の中止が相次ぎ、激励金支給申請件数は減少した。

[実績及び成果]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------|-------|-------|
| ス ポ ー ツ 賞 | 2名 | 2名 |
| ス ポ ー ツ 奨 励 賞 | 3 | 3 |
| ス ポ ー ツ 特 別 賞 | 0 | 1 |

2 競技力向上事業費 13,125円 (「スポーツのまち」づくり課)

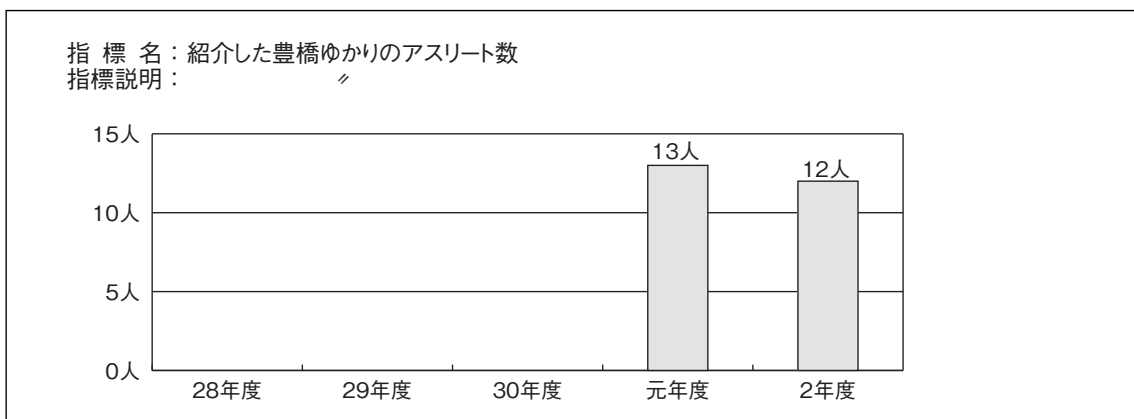
[総括]

豊橋ゆかりのアスリートから市民に向けたメッセージ動画等を募集し、公開した。また、女子バスケットボールの高田真希選手やパラリンピアンとのオンライン交流を実施したほか、ゴールボールの出前講座など新規の取組を実施した。

[実績及び成果]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------------|------------------|------------------|
| | 紹介した豊橋ゆかりのアスリート数 | 紹介した豊橋ゆかりのアスリート数 |
| とよはしアスリート 夢 応 援 事 業 | 13人 | 12人 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 スポーツ環境整備費 <スポーツ環境の整備充実> | 785,992,941 | 48,131,700 | 0 | 7,082,370 | 730,778,871 |

1 スポーツ施設管理運営事業費 785,992,941円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

総合スポーツ公園サッカー場の供用開始を行い市民がより安全かつ快適なスポーツ活動を行えるようになった一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、各スポーツ施設で利用者減となったが、感染症予防対策を講じ円滑かつ持続可能な施設運営を行った。また、陸上競技場の3種公認更新に必要な走路張替工事を実施するなど、施設の整備充実を図った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が快適にスポーツに親しめるよう施設の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 341,735,857円

[利用状況]

<総合運動場>

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-----------|-------|---------|-------|---------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 豊 橋 球 場 | 248日 | 60,863人 | 195日 | 18,822人 | △69.1% |
| 東 田 球 場 | 169 | 16,070 | 150 | 12,893 | △19.8 |
| 陸 上 競 技 場 | 298 | 83,457 | 268 | 37,190 | △55.4 |
| 硬 式 庭 球 場 | 293 | 9,906 | 249 | 9,110 | △ 8.0 |
| 軟 式 庭 球 場 | 279 | 35,600 | 230 | 22,985 | △35.4 |
| 計 | — | 205,896 | — | 101,000 | △50.9 |

<市民プール>

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-----------|--------|------|--------|------|----------------|
| | 延利用人員 | 1日平均 | 延利用人員 | 1日平均 | |
| 大 人 | 4,225人 | 72人 | 3,470人 | 57人 | △ 17.9% |
| 小 ・ 中 学 生 | 4,853 | 82 | 3,344 | 55 | △ 31.1 |
| 幼 児 | 2,354 | 40 | 2,076 | 34 | △ 11.8 |
| 団 体 | 708 | — | 0 | — | 皆減 |
| 計 | 12,140 | 194 | 8,890 | 146 | △ 26.8 |

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 開 場 日 数 | 59日 | 61日 | 3.4% |
| 1日の最高入場者数 | 588人 | 412人 | △29.9 |

< 武 道 館 >

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|---------------|-------|---------|-------|---------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 柔 道 場 | 303日 | 19,191人 | 263日 | 10,602人 | △44.8% |
| 剣 道 場 | 306 | 19,790 | 253 | 7,668 | △61.3 |
| 弓 道 場 | 306 | 18,738 | 270 | 11,755 | △37.3 |
| 相 撲 場 | 110 | 1,844 | 86 | 999 | △45.8 |
| ト レ ー ニ ン グ 室 | 306 | 21,724 | 265 | 14,284 | △34.2 |
| 計 | — | 81,287 | — | 45,308 | △44.3 |

[施設整備]

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--------------------------|-------|
| | 豊橋市武道館（弓道場）埋設給水管 漏水修繕 | |

(2) 地区体育館管理運営事業費 67,352,193 円

[利用状況]

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-------|-------|---------|-------|---------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 前 田 南 | 311日 | 36,946人 | 265日 | 30,392人 | △17.7% |
| 新 栄 | 311 | 25,703 | 265 | 21,404 | △16.7 |
| 牛 川 | 311 | 31,707 | 265 | 25,223 | △20.4 |
| 草 間 | 311 | 41,069 | 265 | 31,231 | △24.0 |
| 飯 村 | 311 | 34,259 | 265 | 25,794 | △24.7 |
| 下 五 井 | 311 | 32,803 | 265 | 20,593 | △37.2 |
| 浜 道 | 311 | 35,423 | 265 | 26,842 | △24.2 |
| 二 川 | 311 | 41,357 | 265 | 26,428 | △36.1 |
| 石 卷 | 311 | 29,754 | 265 | 22,274 | △25.1 |
| 大 清 水 | 311 | 44,442 | 265 | 32,221 | △27.5 |
| 計 | — | 353,463 | — | 262,402 | △25.8 |

[施設整備]

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|-------|
| | | — |

(3) トレーニングセンター管理運営事業費 9,455,577 円

〔利用状況〕

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|---------------|-------|---------|-------|---------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 競 技 場 | 309日 | 13,933人 | 264日 | 10,384人 | △ 25.5% |
| ト レ ー ニ ン グ 室 | 257 | 787 | 234 | 532 | △ 32.4 |
| 和 室 | 65 | 433 | 59 | 169 | △ 61.0 |
| 調 理 室 | 3 | 65 | 0 | 0 | 皆減 |
| 研 修 室 ・ 集 会 室 | 291 | 5,003 | 251 | 3,432 | △ 31.4 |
| テ ニ ス コ ー ト 等 | 197 | 4,295 | 172 | 3,817 | △ 11.1 |
| 計 | — | 24,516 | — | 18,334 | △ 25.2 |

〔施設整備〕

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|------------------------------------|
| | — | トレーニングセンター内側溝修繕 バスケットボールゴール装置修繕 |

(4) グリーンスポーツセンター管理運営事業費 8,267,458 円

〔利用状況〕

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-------------|-------|--------|-------|--------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| テ ニ ス コ ー ト | 264日 | 5,243人 | 221日 | 4,575人 | △12.7% |
| 多 目 的 広 場 | 306 | 19,254 | 268 | 17,033 | △11.5 |
| キ ャ ン プ 場 | 37 | 390 | 15 | 76 | △80.5 |
| パ タ ー ゴ ル フ | 152 | 2,210 | 122 | 1,691 | △23.5 |
| グリーンスポーツハウス | 9 | 685 | 41 | 269 | △60.7 |
| 計 | — | 27,782 | — | 23,644 | △14.9 |

〔施設整備〕

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------------|-------|
| | 給水加圧ポンプ取替修繕 | — |

(5) 岩田総合球技場管理運営事業費 73,108,151 円

〔利用状況〕

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-----------|-------|---------|-------|---------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 市 民 球 場 | 155日 | 52,278人 | 154日 | 17,945人 | △65.7% |
| 市 民 球 技 場 | 99 | 27,811 | 51 | 6,589 | △76.3 |
| 市 民 庭 球 場 | 303 | 47,400 | 267 | 40,512 | △14.5 |
| 市民クラブハウス | 168 | 6,027 | 121 | 3,362 | △44.2 |
| 計 | — | 133,516 | — | 68,408 | △48.8 |

〔施設整備〕

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|-----------------------------------|
| | — | 豊橋市民球場非常用発電機更新 豊橋市民球場非常用放送設備更新 |

(6) 運動広場管理運営事業費 23,583,095 円

〔利用状況〕

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-------------|-------|---------|-------|---------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 高師緑地青少年広場 | 332日 | 29,152人 | 278日 | 22,150人 | △24.0% |
| 明 海 広 場 | 165 | 22,902 | 120 | 16,742 | △26.9 |
| 明 海 少 年 広 場 | 169 | 40,600 | 118 | 35,430 | △12.7 |
| 高 山 広 場 | 257 | 7,646 | 240 | 6,560 | △14.2 |
| 向 山 運 動 広 場 | 263 | 17,071 | 240 | 14,762 | △13.5 |
| 石 巻 運 動 広 場 | 306 | 89,125 | 211 | 58,911 | △33.9 |
| 臨 海 運 動 広 場 | 227 | 22,093 | 146 | 16,063 | △27.3 |
| レクリエーション広場 | 278 | 30,045 | 249 | 18,115 | △39.7 |
| 計 | — | 258,634 | — | 188,733 | △27.0 |

〔施設整備〕

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-----------------|-------|
| | 杉山スポーツ広場防球ネット修繕 | — |

(7) 総合体育館管理運営事業費 80,168,643 円

〔利用状況〕

| 区 分 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-------|------|-------|----------|-------|---------|----------------|
| | | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 競 技 場 | スポーツ | 273日 | 165,935人 | 229日 | 50,039人 | △69.8% |
| | その他 | 22 | 10,343 | 5 | 246 | △97.6 |
| 卓 球 室 | | 303 | 11,073 | 265 | 6,344 | △42.7 |
| 会 議 室 | | 169 | 4,483 | 64 | 3,056 | △31.8 |
| 研 修 室 | | 127 | 3,016 | 61 | 2,786 | △ 7.6 |
| 計 | | — | 194,850 | — | 62,471 | △67.9 |

〔施設整備〕

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|--|
| | 天井補修修繕 中継ポンプ場ポンプ取替修繕 神野新田ポンプ場脱臭ファン修繕 喫茶軽食室パッケージエアコン修繕 | 給水加圧ポンプ取替修繕 空調設備中央監視装置修繕 喫茶室室外機ファン修繕 男女更衣室排煙窓修繕 |

(8) 万場調整池庭球場管理運営事業費 5,133,836 円

〔利用状況〕

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|--------|-------|---------|-------|--------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| テニスコート | 288日 | 14,432人 | 234日 | 9,211人 | △36.2% |

〔施設整備〕

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|-------|
| | | — |

(9) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 168,587,150 円

〔利用状況〕

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-----------|-------|---------|-------|---------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 屋 内 プ ー ル | 109日 | 30,034人 | 106日 | 20,624人 | △31.3% |
| アイスアリーナ | 188 | 46,149 | 162 | 29,736 | △35.6 |
| トレーニング室 | 310 | 53,165 | 262 | 25,206 | △52.6 |
| 会 議 室 | 165 | 5,836 | 168 | 4,405 | △24.5 |
| 計 | — | 135,184 | — | 79,971 | △40.8 |

〔施設整備〕

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------------------------|-------|
| | 電光表示装置修繕 ブラインクローラー修繕 | |

(10) 総合スポーツ公園サッカー場管理運営事業費 14,141 円

〔利用状況〕

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|----------|-------|-------|-------|---------|----------------|
| | 利用日数 | 延利用人員 | 利用日数 | 延利用人員 | |
| 人工芝サッカー場 | — | — | 233日 | 19,345人 | 皆増 |

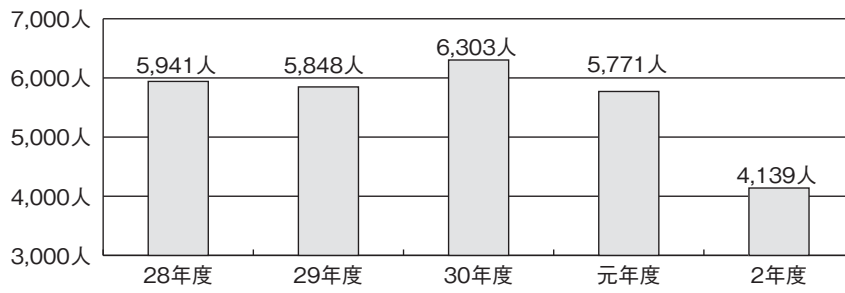
(11) 多目的屋内施設検討調査事業費 8,586,840 円

〔施設整備〕

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|------------|-------|
| | 多目的屋内施設の検討 | |

[指 標]

指 標 名：全スポーツ施設 1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／開場・開館日数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5目 スポーツ大会誘致事業費 <スポーツ大会誘致の推進> | 27,336,830 | 0 | 0 | 0 | 27,336,830 |

1 スポーツ大会誘致事業費 27,336,830円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

市民のスポーツへの関心を高めるとともに、競技力の向上を図るため全国規模の競技スポーツ大会としてウエスタン・リーグ公式戦を例年誘致しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。また、リトアニア共和国ゴールボール代表及びドイツ連邦共和国テコンドー代表の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事前合宿も延期となったが、ドイツのコーチによるオンラインでのテコンドー講座を実施したほか、ドイツ・リトアニアPRフェアを通じ、両国のファン作りを実施した。令和3年1月には、国民体育大会冬季大会のアイスホッケー競技会を開催した。今後も市民に夢と感動を与えスポーツへの関心が高まる大会の積極的な誘致活動に取り組む。

[実績及び成果]

(1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 0円

(ア) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 0円

| 補 助 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------|------------|
| | | 1,178,079円 |

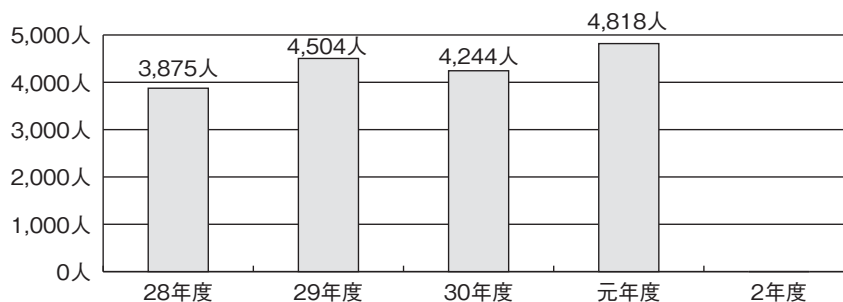
(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会応援事業費 21,940,470円

| 事前合宿開催数 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|-------|-------|
| | | 2回 |

(3) 国民体育大会冬季大会事業費 5,396,360円

[指標]

指標名：誘致スポーツ大会1大会当たりの観客数
 指標説明：観客数/誘致大会数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------------|-----------------|-------------|-----------|------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 9項 総務諸費 | 1,309,570,225 | 104,465,661 | 7,000,000 | 20,018,222 | 1,178,086,342 |
| 1目 地域コミュニティ活動費 <地域コミュニティ活動の促進> | 347,108,170 | 925,900 | 0 | 7,745,935 | 338,436,335 |

1 地域コミュニティ推進事業費 126,637,370円 (市民協働推進課)

[総括]

自治会(地域)の自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として、各校区及び町自治会に対してコミュニティ活動交付金を交付した。また、コミュニティ活動に利用する備品整備に対し助成を行った。今後も地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域の主体的なまちづくりの推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 自治連合会活動事業費 121,582,170円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|--------------------|-------------|-------------|--------|
| コミュニティ活動交付金(校区自治会) | 11,325,600円 | 11,302,400円 | △ 0.2% |
| コミュニティ活動交付金(町自治会) | 110,218,910 | 110,256,820 | 0.0 |
| 自治連合会活動推進費 | 1,105,690 | 22,950 | △97.9 |
| 計 | 122,650,200 | 121,582,170 | △ 0.9 |

(2) 地域コミュニティ支援事業費 55,200円

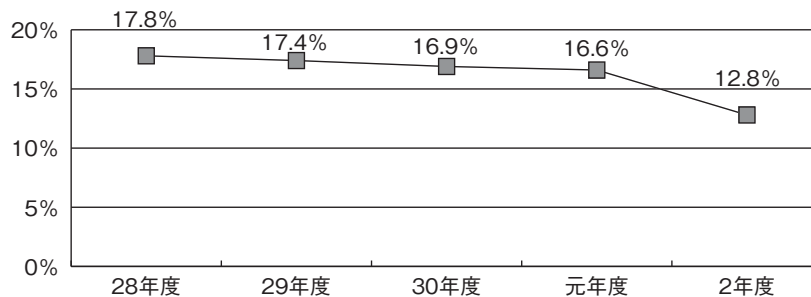
| | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------|-------|-------|
| まちづくり講習会参加者数 | 300人 | 0人 |

(3) コミュニティ推進事業補助金 5,000,000円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|------------|--------------|------------|-----------|
| | 対象校区 | 事業内容 | 対象校区 | 事業内容 |
| 内 容 | つつじが丘 | テント、会議用テーブル等 | 新 川 | 印刷機、テント等 |
| | | | 津 田 | 印刷機、テーブル等 |
| 補 助 金 | 2,500,000円 | | 5,000,000円 | |

[指標]

指標名：校区市民館の地域コミュニティによる利用率
 指標説明：自治会等地域コミュニティ利用回数／利用者別利用回数合計



2 校区市民館管理運営事業費 156,039,184 円（市民協働推進課）

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用は減少したが、コロナ禍においても指定管理者とともに、適切な維持管理を行った。また、LED照明器具取替修繕8館、換気扇修繕を19館で実施するなど、施設設備の老朽化に対応したほか、トイレの洋式化工事を3館で実施した。今後も施設の計画的改修を実施し、地域コミュニティ活動の拠点施設の整備充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 校区市民館管理運営事業費（50館） 156,039,184円

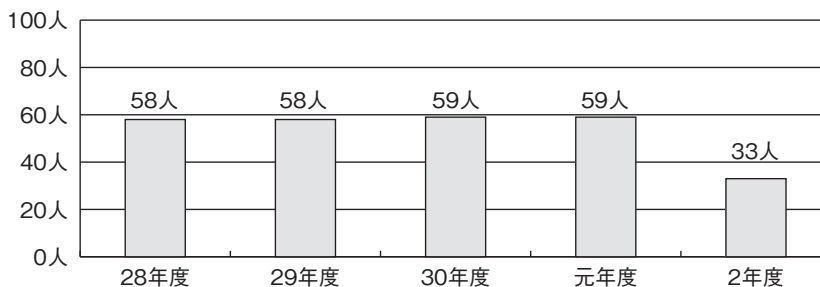
| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) % |
|----------|-------|--------|-------|--------|---------------------|
| | 件 数 | 延利用人員 | 件 数 | 延利用人員 | |
| 東 田 | 1,334 | 26,692 | 1,033 | 16,588 | △37.9 |
| 松 葉 | 861 | 15,704 | 586 | 10,639 | △32.3 |
| 津 田 | 545 | 17,668 | 279 | 10,027 | △43.2 |
| 磯 辺 | 563 | 11,966 | 333 | 4,530 | △62.1 |
| 大 崎 | 520 | 14,139 | 298 | 7,314 | △48.3 |
| 鷹 丘 | 680 | 12,698 | 392 | 5,789 | △54.4 |
| 下 条 | 624 | 30,177 | 481 | 21,785 | △27.8 |
| 多 米 | 870 | 19,278 | 692 | 11,990 | △37.8 |
| 旭 | 904 | 30,584 | 760 | 17,757 | △41.9 |
| 谷 川 | 302 | 15,907 | 213 | 9,556 | △39.9 |
| 花 田 | 749 | 28,129 | 491 | 8,870 | △68.5 |
| 高 師 | 836 | 15,744 | 574 | 7,003 | △55.5 |
| 野 依 | 744 | 27,573 | 577 | 15,586 | △43.5 |
| 植 田 | 1,135 | 19,023 | 782 | 11,522 | △39.4 |
| 牛 川 | 857 | 23,438 | 980 | 27,452 | 17.1 |
| 西 郷 | 315 | 23,720 | 250 | 14,404 | △39.3 |
| 石 巻 | 481 | 9,925 | 269 | 4,902 | △50.6 |
| 石巻（金田分館） | 445 | 9,984 | 361 | 4,596 | △54.0 |
| 小 沢 | 313 | 16,396 | 139 | 7,530 | △54.1 |
| 豊 南 | 254 | 8,830 | 146 | 4,992 | △43.5 |
| 賀 茂 | 439 | 16,926 | 341 | 11,101 | △34.4 |
| 芦 原 | 636 | 15,238 | 499 | 7,989 | △47.6 |
| 岩 田 | 922 | 21,107 | 585 | 9,606 | △54.5 |
| 豊 | 764 | 11,515 | 521 | 6,920 | △39.9 |
| 大 村 | 729 | 15,312 | 561 | 10,098 | △34.1 |
| 幸 | 697 | 16,870 | 478 | 9,684 | △42.6 |
| 福 岡 | 1,125 | 23,405 | 912 | 11,730 | △49.9 |
| 栄 | 1,339 | 25,682 | 1,026 | 13,298 | △48.2 |
| 嵩 山 | 636 | 27,517 | 520 | 20,761 | △24.6 |
| 二 川 | 1,021 | 32,764 | 711 | 20,768 | △36.6 |
| 高 根 | 433 | 9,717 | 297 | 4,739 | △51.2 |

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) % |
|-----------|--------|-----------|--------|---------|---------------------|
| | 件 数 | 延利用人員 | 件 数 | 延利用人員 | |
| 老 津 | 724 | 24,382 | 594 | 19,981 | △18.1 |
| 下 地 | 483 | 17,121 | 355 | 9,774 | △42.9 |
| 牟 呂 | 944 | 23,524 | 782 | 11,392 | △51.6 |
| 吉 田 方 | 1,011 | 19,156 | 556 | 10,502 | △45.2 |
| 天 伯 | 612 | 20,252 | 674 | 11,617 | △42.6 |
| 大 清 水 | 1,251 | 28,942 | 996 | 15,835 | △45.3 |
| 向 山 | 963 | 20,022 | 688 | 10,509 | △47.5 |
| 玉 川 | 682 | 21,609 | 523 | 15,717 | △27.3 |
| 細 谷 | 276 | 13,194 | 184 | 5,694 | △56.8 |
| 飯 村 | 1,186 | 21,478 | 953 | 12,421 | △42.2 |
| 富 士 見 | 996 | 40,431 | 710 | 15,515 | △61.6 |
| 中 野 | 851 | 18,205 | 692 | 11,556 | △36.5 |
| 八 町 | 757 | 25,590 | 515 | 10,486 | △59.0 |
| 二 川 南 | 756 | 29,108 | 631 | 17,570 | △39.6 |
| 汐 田 | 968 | 36,193 | 820 | 15,562 | △57.0 |
| 松 山 | 583 | 23,678 | 480 | 11,381 | △51.9 |
| つ つ じ が 丘 | 1,006 | 26,333 | 834 | 13,110 | △50.2 |
| 新 川 | 1,126 | 34,400 | 860 | 14,936 | △56.6 |
| 前 芝 | 673 | 15,855 | 496 | 7,729 | △51.3 |
| 計 | 37,921 | 1,053,101 | 28,430 | 590,813 | △43.9 |

- (ア) LED照明器具取替修繕（東田始め8館） 9,014,500円
- (イ) 換気扇修繕（大清水始め19館） 2,733,280円
- (ウ) トイレ改修工事（汐田始め3館） 3,564,000円

[指 標]

指 標 名：校区市民館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／(開館日数×市民館数)



3 地域集会所建設支援事業費 792,000 円（市民協働推進課）

[総括]

地域住民の心のふれあい及び連帯意識の醸成を図るため、地域集会所の建設にかかる経費の一部を1地区に助成した。今後も必要とする地域に対し建設等の支援を図っていく。

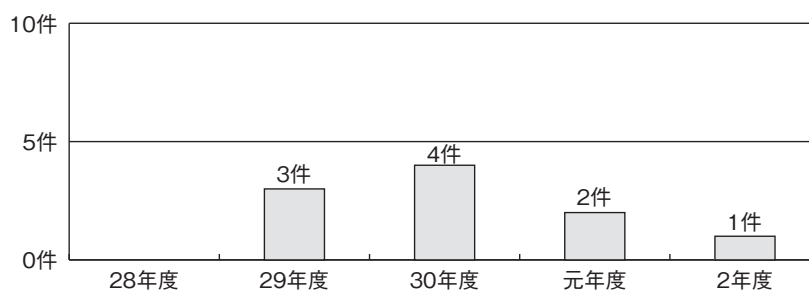
[実績及び成果]

(1) 地域集会所建設費補助金 792,000 円

| 助成地区 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------|----------|----------|
| | 1地区（築地町） | 1地区（弥生町） |

[指標]

指標名：地域集会所建設費等補助件数
 指標説明：年度ごとの建設費及び耐震改修費の補助件数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 2目 市民活動支援費 ＜市民活動への支援＞ | 93,215,283 | 2,828,300 | 0 | 1,388,138 | 88,998,845 |

1 市民活動推進事業費 11,391,871 円 (市民協働推進課)

[総括]

市民協働によるまちづくりを推進するため、「第3次豊橋市市民協働推進計画」を策定した。令和2年度より豊橋市の将来を担う若者が、自分たちが住みたくなるまちの実現に向け、議論やワークショップを通して、豊橋の未来を創るための政策を提案する「豊橋わかば議会」を開催した。

[実績及び成果]

(1) 市民活動支援事業費 4,936,264 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------|----------------------|----------------------|
| 市民協働推進審議会 | 年間開催数5回 | 年間開催数4回 |
| 市民活動プラザ登録団体数 | 459団体 | 457団体 |
| 各種人材育成講座等の開催 | 16種、41講座、参加人員 2,750人 | 12種、39講座、参加人員 1,285人 |
| 東三河市民活動情報サイトへのアクセス数 | 78,249件 | 23,299件 |
| 市民活動総合補償制度事故対象件数 | 傷害66件 賠償0件 | 傷害10件 賠償1件 |

(2) 市民協働推進補助金 980,000 円

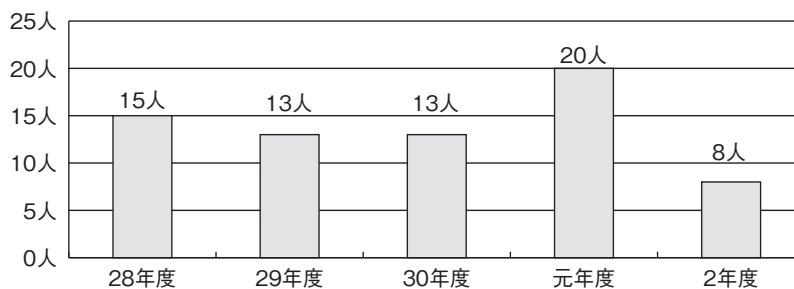
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------|--------------|--------------|
| 市民活動スタート支援(つつじ)補助金 | 2団体 100,000円 | 3団体 148,000円 |
| 市民活動ネクスト支援(くすのき)補助金 | 4 626,000 | 3 632,000 |
| 市民活動若者支援(わかば)補助金 | 11 916,000 | 2 200,000 |

(3) 若者政策提案事業費 5,475,607 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------|-------|--------|
| 豊橋わかば議会参加者数 | — | 延 273人 |

[指 標]

指 標 名：市民活動プラザ1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 市民センター管理運営事業費 41,356,389 円（市民協働推進課）

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用は減少したが、市民活動を支援するため、指定管理者の持つノウハウを活かした講座やイベント、相談事業を実施したほか、各種媒体を活用した情報の発信に努めた。また、施設の適切な管理運営を行うとともに、多目的トイレの改修やトイレの洋式化などを実施した。

[実績及び成果]

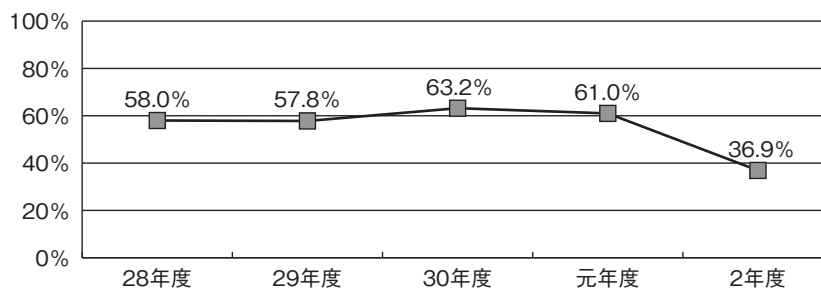
(1) 市民センター管理運営事業費 41,356,389 円

[利用状況]

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 (延利用人員) |
|-------------|-------|---------|-------|--------|----------------|
| | 利用件数 | 延利用人員 | 利用件数 | 延利用人員 | |
| 第1ミーティングルーム | 650件 | 6,462人 | 278件 | 1,882人 | △70.9% |
| 第2ミーティングルーム | 635 | 6,324 | 377 | 2,513 | △60.3 |
| 第3ミーティングルーム | 525 | 5,187 | 217 | 1,329 | △74.4 |
| 第4ミーティングルーム | 578 | 5,732 | 248 | 1,645 | △71.3 |
| 小 会 議 室 | 634 | 15,033 | 400 | 6,046 | △59.8 |
| 中 会 議 室 | 564 | 35,180 | 358 | 14,810 | △57.9 |
| 大 会 議 室 | 479 | 42,547 | 308 | 18,487 | △56.5 |
| 多 目 的 ホール | 416 | 40,799 | 233 | 15,444 | △62.1 |
| 合 計 | 4,481 | 157,264 | 2,419 | 62,156 | △60.5 |
| 開 館 日 数 | 306日 | | 273日 | | — |

[指 標]

指 標 名：市民センター会議室利用率
 指標説明：利用件数 / (部屋数 × 利用可能日数 × 3区分) ※3区分は、貸出単位で午前、午後、夜間



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 国際交流費 <国際交流の推進> | 73,735,439 | 0 | 0 | 9,500 | 73,725,939 |

1 友好提携交流事業費 394,182 円 (多文化共生・国際課)

[総括]

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症まん延防止による水際対策で出入国ができなかったことから、5月に友好都市提携を結ぶ中華人民共和国南通市とのオンライン首長会議を開催し、友好関係を深めた。また9月には、米国・トリード市との姉妹都市提携締結20周年を記念し、市長及び議長が参加したオンライン首長会談の開催により、今後も引き続き交流を発展させていくことについて確認した。

[実績及び成果]

(1) 友好・姉妹都市交流事業費 139,682 円

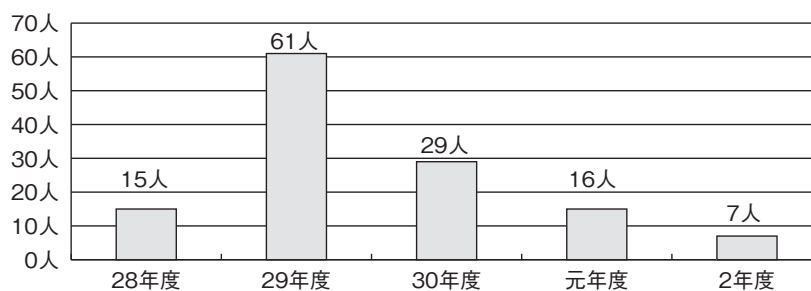
| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|------------|-------|
| | 豊橋市友好訪問団派遣 | |

(2) パートナーシティ交流事業費 254,500 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---------------------------------------|-------|
| | リトアニア・パネヴェジス市等友好訪問団派遣 リトアニア国際交流展参加 | |

[指標]

指標名：交流人員数
 指標説明：相互に派遣受入した人数



2 豊橋市国際交流協会補助金 50,290,206 円（多文化共生・国際課）

[総括]

豊橋市国際交流協会は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため海外派遣や受入ができなかったものの、日本語学習支援事業、国際理解教育・語学講座の実施、国際協力市民サロンの運営など、地域の国際交流活動の促進及び国際化意識の高揚を図った。また、日本語ボランティア養成講座の実施や、災害時通訳ボランティアの養成をするなど、外国人が安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを推進した。今後も市として協会が実施する各種事業を支援するとともに、様々な機会を通じて、協会への協力支援に取り組んでいく。

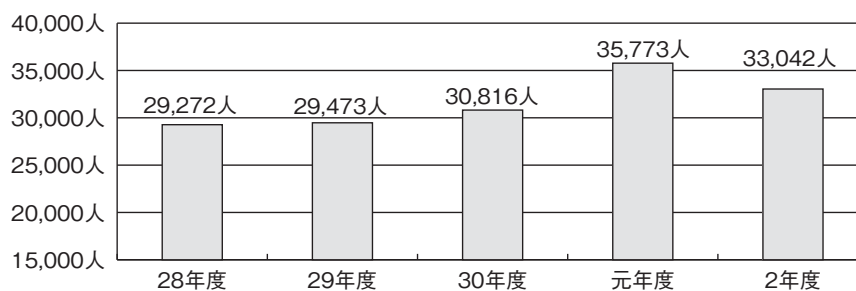
[実績及び成果]

(1) 豊橋市国際交流協会補助金 50,290,206 円

| 補助金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------------|-------------|
| | 54,825,806円 | 50,290,206円 |

[指標]

指標名：豊橋市国際交流協会事業参加者数
 指標説明：〃



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5目 多文化共生費 <定住外国人との共生の推進> | 67,914,731 | 5,501,162 | 0 | 1,464,000 | 60,949,569 |

1 多文化共生推進事業費 43,602,237 円 (多文化共生・国際課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の拡大により激増した各種相談に対し、外国人相談事業や外国人情報窓口の運営を通じて多言語で情報提供等を行うとともに、豊橋市国際交流協会内に設置した「豊橋市外国人総合相談窓口（インフォピア）」において、市役所では対応が難しい幅広い相談等に応じ、外国人の支援を行った。そのほか、定住外国人等中学生アフタースクール事業や定住外国人等高校生日本語教室を実施し、外国人の子どもたちに対する日本語学習や学習指導の充実を図った。

[実績及び成果]

(1) 外国人相談事業費 26,303,161 円

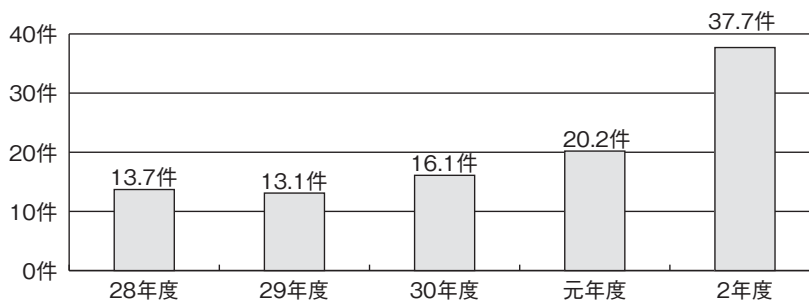
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------|--------|---------|-------|
| 相 談 件 数 | 7,060件 | 13,014件 | 84.3% |
| 相 談 開 設 日 数 | 349日 | 345日 | △1.1 |
| 文 書 等 翻 訳 件 数 | 215件 | 277件 | 28.8 |

(2) 多文化共生事業費 17,299,076 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---|---|
| | 外国人情報窓口の運営 プレスクール事業(3か所、参加者63名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 定住外国人の子どもの就学促進事業 タガログ語通訳の配置 「やさしい日本語マニュアル」の配布 定住外国人等中学生アフタースクール事業 定住外国人等高校生日本語学習支援事業 | 外国人情報窓口の運営 プレスクール事業(3か所、参加者61名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 タガログ語通訳の配置 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 定住外国人等中学生アフタースクール事業 定住外国人等高校生日本語学習支援事業 |

[指 標]

指 標 名：外国人相談開設1日当たりの相談件数
 指標説明：相談件数／相談開設日数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|----------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 6目 男女共同参画費 ＜男女がともに活躍できる機会の充実＞ | 26,721,031 | 520,000 | 0 | 0 | 26,201,031 |

1 男女共同参画推進事業費 2,472,229円 (市民協働推進課)

[総括]

男女共同参画社会の実現をめざして策定した、豊橋市男女共同参画行動計画「とよはしハーモニープラン 2018-2022」に基づき、県内初となるLGBT等性的少数者の面接相談を実施するとともに、性の多様性に関する啓発パンフレットを作成し、理解促進に努めた。また、中高校生とその保護者を対象としたリケジョ魅力発信セミナーを開催し、若い世代への意識啓発を図るとともに、女性を対象とした再就職に関する無料相談や連続講座、地元企業との意見交換会の開催や、キャリアアップを支援するための国家資格取得に対する補助金の交付を行った。今後も女性活躍を推進する女性応援プロジェクトを実施するなど、継続的に事業を展開することで更なる男女共同参画の推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 男女共同参画啓発事業費 2,236,984円

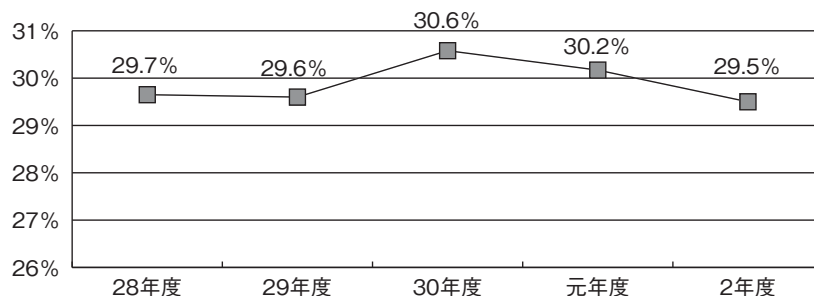
| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|----------------|--------|-------|-------|--------|
| 委員会、審議会等の女性委員数 | | 162人 | 158人 | △ 2.5% |
| 一般啓発事業 | 標語応募点数 | 432点 | 330点 | △23.6 |
| | 写真応募点数 | 52 | 30 | △42.3 |
| 女性再就職支援事業参加者数 | | 35人 | 48人 | 37.1 |
| 女性応援プロジェクト参加者数 | | — | 105 | 皆増 |

(2) 女性キャリアアップ応援補助金 235,245円

| 補 助 金 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------|-------|-------------|-----|
| | — | 7人 235,245円 | 皆増 |

[指 標]

指 標 名：委員会、審議会等の女性委員の比率
 指標説明：女性委員数／全体の委員数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 7目 女性自立支援費 <女性の自立支援> | 11,507,854 | 1,161,200 | 0 | 150 | 10,346,504 |

1 女性自立支援事業費 11,507,854円 (市民協働推進課)

[総括]

悩みを抱える女性の自立に向けた支援として、女性相談員による電話や面接相談のほか、弁護士などによる専門相談を行った。また、DV被害者への支援として専門相談員による電話相談や面接相談を行い、必要に応じ関連機関と連携して被害者支援に努めた。男女共同参画センターでは、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は減少したが、男女共同参画の推進に取り組む団体の交流活動場所を提供したほか、図書資料の充実や掲示物の提供などにより、男女共同参画に関する情報発信を行った。また、女性の能力発揮・社会参画を支援する講座や男性の男女共同参画意識の促進に向けた講座を実施した。今後も多様化する相談に対応するため相談員のスキルアップを図り、女性の自立に向けた支援を実施するとともに、センターの利用促進に努めていく。

[実績及び成果]

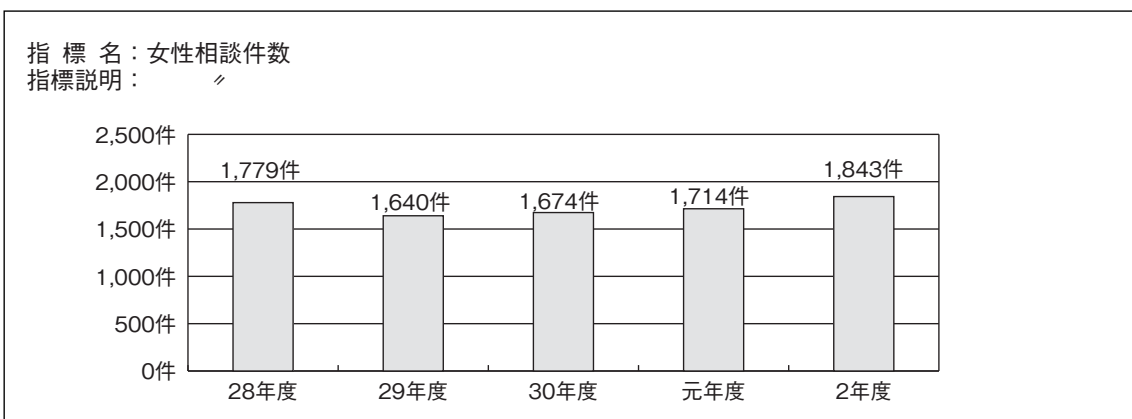
(1) 女性相談事業費 8,885,522円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------------|-------|-------|-------|
| 法 律 相 談 件 数 | 22件 | 21件 | △4.5% |
| 悩 み ご と 相 談 件 数 | 1,398 | 1,526 | 9.2 |
| D V 相 談 件 数 | 294 | 296 | 0.7 |

(2) 男女共同参画センター管理運営事業費 2,622,332円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|----------------|-----------|-----------|--------|
| 男女共同参画センター開館日数 | 348日 | 308日 | △11.5% |
| 男女共同参画センター利用者数 | 延 46,205人 | 延 13,170人 | △71.5 |
| ライフアップセミナー参加者数 | 5講座 124 | 6講座 132 | 6.5 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 8目 地域防災力強化費 <地域防災力の充実強化> | 34,239,540 | 1,823,599 | 0 | 0 | 32,415,941 |

1 地域防災力強化推進事業費 7,293,744 円 (防災危機管理課)

[総括]

従来は防災関係機関と地域住民が連携し、南海トラフ地震を想定した総合防災訓練を県と合同で実施してきたほか、小学校と地域が連携して災害への備えに取り組む「防災まちづくりモデル校区事業」や、地域防災の担い手を育成する「防災リーダー養成講座」を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、訓練や講座の中止又は規模縮小開催を余儀なくされた。今後は、感染状況を考慮しながら各種訓練や防災啓発活動を実施することで、市民の防災意識の向上や自主防災組織の活性化などを推進し、地域防災力の強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策啓発事業費 6,550,977 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|--------------|-------|-------|--------|
| 防災啓発講習会の開催回数 | 300回 | 153回 | △49.0% |

(2) 自主防災組織育成事業費 521,767 円

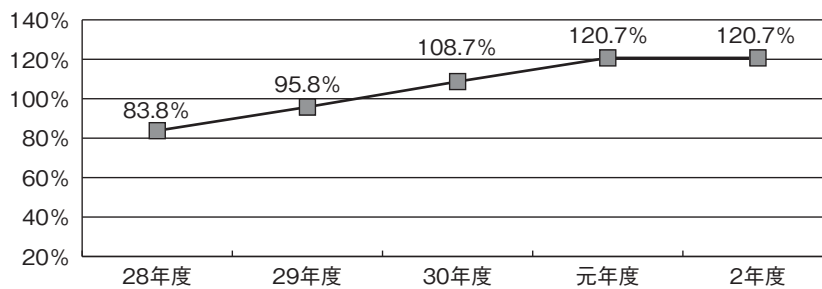
| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和2年度末累計 |
|----------------|-------|-------|----------|
| 防災リーダー養成講座修了者数 | 102人 | 0人 | 1,026人 |

(3) 自主防災力強化事業補助金 221,000 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和2年度末累計 |
|-------------------|-------|-------|----------|
| 自主防災力強化事業補助金活用組織数 | 9組織 | 5組織 | 49組織 |

[指標]

指標名：防災リーダー養成講座修了者目標達成率
 指標説明：防災リーダー養成講座修了者数／防災リーダー養成目標数(850人)



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-----------|-----------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 9目 災害対応力強化費 <災害対応力の強化> | 321,204,952 | 48,854,000 | 7,000,000 | 5,866,142 | 259,484,810 |

1 防災対策事業費 152,865,201 円 (防災危機管理課)

[総括]

豊橋ほっとメールの登録促進や豊橋防災ラジオの普及、同報系防災行政無線等の防災関係設備の適切な管理運営に努めるとともに、大規模災害発生時にトイレの不足が懸念される指定避難所にマンホールトイレを整備したほか、停電時に電気自動車などから避難所へ電力を供給できるパワーコンディショナーの配備や、災害に備えて新たに乳児用液体ミルクの備蓄を始めた。また、被災地支援として、宮城県石巻市、南三陸町、長野県千曲市へ職員を派遣した。今後も大規模地震や風水害に備え、防災対策の強化充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策管理事務費 39,494,915 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|--|
| | 防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 (利用登録画面の多言語化) 被災地(宮城・熊本・岡山・長野等)への職員派遣 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか | 防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 被災地(宮城・長野)への職員派遣 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか |

(2) 東三河地域防災協議会負担金 2,326,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------|--|---|-------|
| セミナー・研修会の開催回数 | 3回 | 3回 | 0.0% |
| 調査研究テーマ数 | 5テーマ | 4テーマ | △20.0 |
| 調査研究成果 | <ul style="list-style-type: none"> ○避難所におけるピクトグラムの活用 ○東三河地域における防災拠点のリアルタイム耐震診断技術に関する研究 ○大規模地震災害時における時間帯別帰宅困難者発生量の予測手法の開発と支援策の検討に関する研究 ○災害時における再生可能エネルギーを利用した電力供給システムの有効活用について ○拡張現実を用いた浸水・暴風雨・土砂災害疑似体験アプリの開発と防災教育における活用 | <ul style="list-style-type: none"> ○東三河地域における防災拠点のリアルタイム耐震診断技術に関する研究 ○大規模地震災害時における時間帯別帰宅困難者発生量の予測手法の開発と支援策の検討に関する研究 ○災害時における再生可能エネルギーを利用した電力供給システムの有効活用について ○拡張現実を用いた浸水・暴風雨・土砂災害疑似体験アプリの開発と防災教育における活用 | — |

(3) 防災備蓄品等整備事業費 65,545,758 円

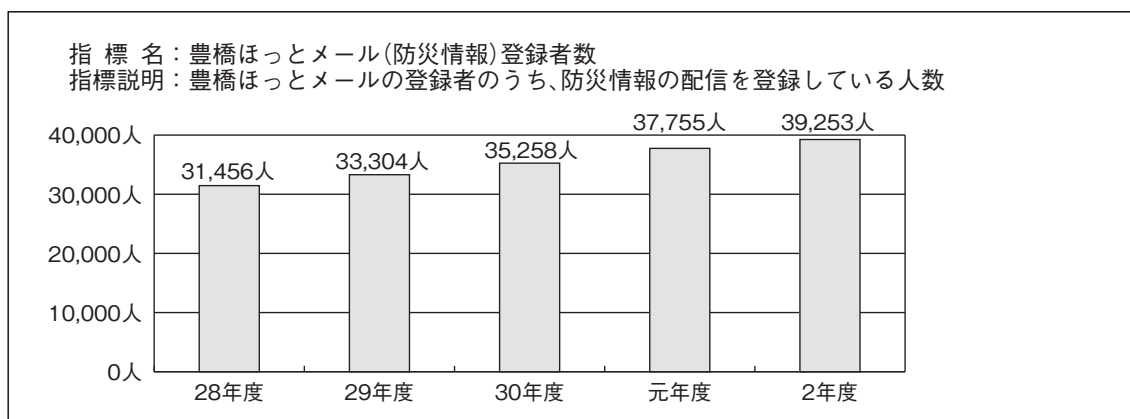
| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------------|----------|----------|-------|
| 非常用食料備蓄数 | 308,626食 | 308,616食 | 0.0% |
| 避難支援場所整備数 | 2か所 | 2か所 | 0.0 |
| マンホールトイレ整備数 | 4 | 3 | △25.0 |

※備蓄食料目標数：308,500食 想定避難者数50,000人×1日2食×3日分＝300,000食 帰宅困難者等8,500食

(4) 防災無線維持管理事業費 37,466,091 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|--|
| | 同報系防災行政無線の維持管理 デジタル防災行政無線（MCA無線） の維持管理 同報系防災行政無線屋外拡声子局等修繕 同報系防災行政無線周辺樹木等剪定 デジタル防災行政無線（MCA無線） の受信困難地域への配備 | 同報系防災行政無線の維持管理 デジタル防災行政無線（MCA無線） の維持管理 同報系防災行政無線屋外拡声子局等修繕 デジタル防災行政無線（MCA無線） の受信困難地域及び後方収容病院への 配備 |

[指 標]



2 危機管理対策事業費 45,616,990 円（防災危機管理課）

[総 括]

新型コロナウイルス感染症拡大のため、災害対策本部機器操作研修は中止したものの、各種訓練において、全天候型ドローンを活用した被災現場や救助現場の映像伝送訓練を行うなど、災害時における被害状況の収集能力向上及び初動対応力強化を図った。また、災害時の情報共有手段の強化のため「LINEWORKS」や、AI技術を用いて、SNSに投稿された災害情報をリアルタイムに収集、分析することができる「Spectee」を導入した。さらに、新型コロナウイルス感染症対策のための消毒用アルコールや非接触式体温計等を新たに導入し、避難所用品の整備を行った。今後も感染状況を見ながら操作研修や各種訓練を実施し、災害対策本部の機能強化に努めていく。

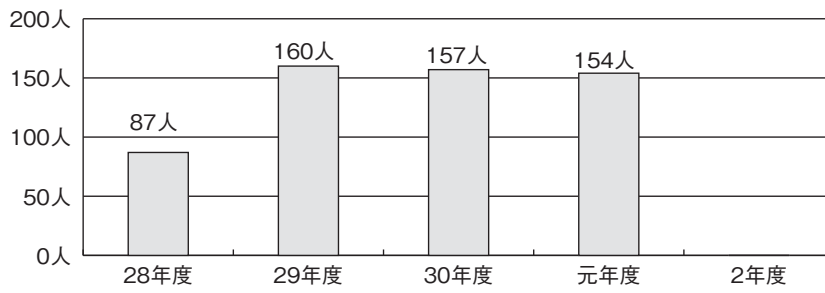
[実績及び成果]

(1) 危機管理対策事業費 45,616,990 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------------|-------|-------|-------|
| 操作研修の受講者数 | 154人 | 0人 | 皆減 |
| ドローン飛行隊出動回数 | 15回 | 14回 | △6.7% |

[指 標]

指 標 名：災害対策本部機器操作研修の受講者数
指標説明：
〃



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 10目 耐震化促進費 <建物の耐震化の促進> | 90,056,212 | 39,133,400 | 0 | 1,800 | 50,921,012 |

1 建築物耐震促進事業費 55,117,861 円 (建築物安全推進課)

[総括]

発生が危惧される南海トラフ地震等に備え耐震化を促進するため、民間木造住宅の無料耐震診断や各種補助を行うとともに、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断に対する助成を行った。さらに、災害発生時の生命の安全確保及び道路の閉塞防止のため、ブロック塀等の撤去に対する助成を行った。また、「豊橋市建築物耐震改修促進計画」について、最新のデータによる耐震化の進捗状況や、国及び県の耐震化目標を踏まえて改定を行った。今後も積極的な啓発と補助制度の活用により耐震診断及び耐震改修等のさらなる普及を図り、災害に強いまちづくりをめざす。

[実績及び成果]

(1) 木造住宅耐震診断事業費 9,581,600 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成14年度からの累計 |
|----------|-------|-------|-------------|
| 耐震診断実施棟数 | 310棟 | 203棟 | 11,620棟 |

(2) 木造住宅耐震改修費補助金 21,971,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成15年度からの累計 |
|----------|-------|-------|-------------|
| 耐震改修実施棟数 | 33棟 | 23棟 | 1,291棟 |

(3) 木造住宅段階的耐震改修費補助金 2,400,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成25年度からの累計 |
|----------|-------|-------|-------------|
| 耐震改修実施棟数 | 2棟 | 4棟 | 17棟 |

(4) 非木造住宅耐震診断費補助金 0 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成20年度からの累計 |
|----------|-------|-------|-------------|
| 耐震診断実施棟数 | 2棟 | 0棟 | 10棟(79戸) |

(5) 非木造住宅耐震改修費補助金 0 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成24年度からの累計 |
|-----------|-------|-------|-------------|
| 耐震改修等実施棟数 | 0棟 | 0棟 | 0棟 |

(6) 木造住宅解体工事費補助金 11,363,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成22年度からの累計 |
|----------|-------|-------|-------------|
| 解体工事補助棟数 | 35棟 | 43棟 | 460棟 |

(7) 木造住宅耐震シェルター整備費補助金 600,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成25年度からの累計 |
|-----------|-------|-------|-------------|
| シェルター設置棟数 | 0棟 | 2棟 | 16棟 |

(8) 特定既存耐震不適格建築物耐震診断費補助金 1,664,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成29年度からの累計 |
|----------|-------|-------|-------------|
| 耐震診断実施棟数 | 0棟 | 1棟 | 1棟 |

(9) ブロック塀等撤去費補助金 1,545,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度からの累計 |
|------------|-------|-------|-------------|
| ブロック塀等撤去件数 | 33件 | 27件 | 89件 |

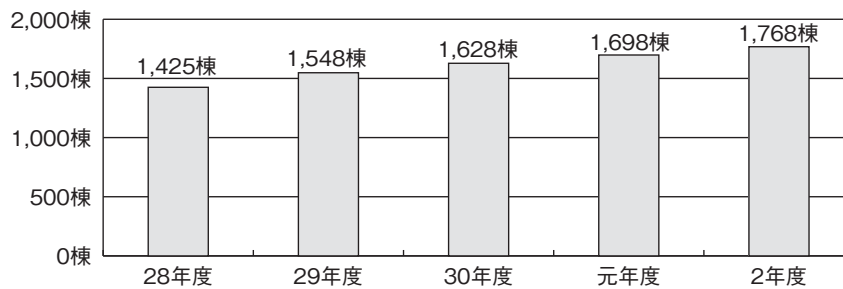
(10) 建築物耐震促進啓発事業費 1,011,261 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|--------------|---------|--------|--------|
| ダイレクトメールの発送数 | 12,215通 | 7,650通 | △37.4% |

(11) 建築物耐震改修促進計画策定事業費 4,982,000 円

[指 標]

指 標 名：住宅の耐震改修・解体工事棟数(累計)
 指標説明：住宅の耐震改修棟数 + 解体工事棟数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 11目 防 犯 対 策 費 < 防 犯 対 策 の 推 進 > | 70,235,207 | 0 | 0 | 0 | 70,235,207 |

1 地域防犯活動推進事業費 44,112,364 円 (安全生活課)

[総括]

犯罪のない安全で安心なまち「とよはし」をめざして策定された「第5次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画」に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響により参加者は減少したが、防犯パトロール、自主防犯活動への支援、各世代に応じた防犯教育講座を開催するとともに、警察・市民・事業者と協力して防犯キャンペーンを行った。また、防犯カメラの設置及び防犯灯の設置・維持にかかる費用に加え、令和2年度からはカメラ付きLED防犯灯の設置にかかる費用の一部を助成することにより、安全で安心なまちづくりを推進するとともに地域の安全・安心の確保を図った。

[実績及び成果]

(1) 豊橋市防犯協会連合会補助金 2,600,000 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|------------|-------|------------|
| | | 2,600,000円 | | 2,600,000円 |

(2) 地域防犯事業費 27,517,910 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|--------------|---------|-------------|---------|-------------|
| 防 犯 教 育 講 座 | 開催数125回 | 受講者数18,889人 | 開催数100回 | 受講者数 7,519人 |
| 自 主 防 犯 活 動 | 52小学校区 | 活動者数14,675人 | 52小学校区 | 活動者数14,546人 |
| 安全なまちづくり市民運動 | 実施回数 4回 | | 実施回数 4回 | |

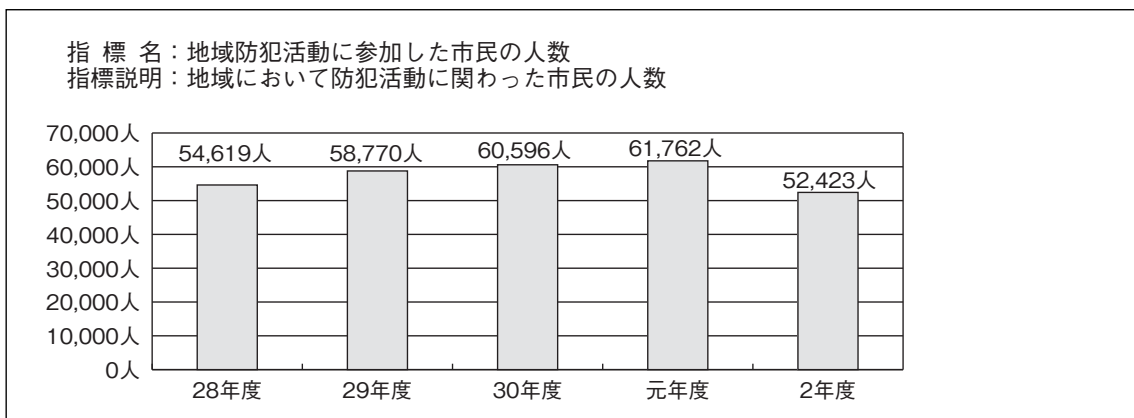
(3) 防犯カメラ設置費補助金 3,967,220 円

| 設 置 補 助 台 数 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|-------|-----|------------|-----|
| | | 21台 | 2,189,000円 | 46台 |

(4) 安全安心防犯灯補助金 10,027,234 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|-------|------------|-------|------------|
| 設 置 補 助 灯 数 | 237灯 | 3,722,200円 | 286灯 | 5,181,300円 |
| 維 持 補 助 灯 数 | 4,383 | 5,465,258 | 4,555 | 4,845,934 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|----------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 12目 交通安全対策費 <交通安全意識の徹底> | 116,379,209 | 3,217,000 | 0 | 0 | 113,162,209 |

1 交通安全対策推進事業費 92,137,910 円 (安全生活課)

[総括]

年間交通事故死者数 10 人以下と交通事故の削減を目標とする、高齢者及び生活道路の対策に特化した「第 10 次豊橋市交通安全計画アクションプラン」に基づき、交通安全教育の充実、安全運転支援装置の設置促進等による高齢ドライバーの交通事故対策、交通ビッグデータを活用した潜在的な危険箇所への対策や、「豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例」の周知徹底を図った。また年 4 回の交通安全市民運動や市民と一体となった広報啓発活動を実施し、令和 2 年の市内交通事故死者数は統計開始以来最少人数の 4 名となった。今後は「第 11 次豊橋市交通安全計画」を策定した上で、各種対策を推進していき、交通事故の更なる削減に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 交通安全啓発事業費 71,655,727 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|----------|-------------------|-------------------|
| 交通安全教室 | 353回 参加者数 31,587人 | 182回 参加者数 12,378人 |
| 交通安全市民運動 | 実施回数 4回 | 実施回数 4回 |

(2) 通学路標示板整備事業費 2,307,320 円

| 通学路標示板設置 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|----------|-------|---------|
| | 19か所 | 15か所 |

(3) 交通安全実施団体補助金 3,700,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|-------------------|------------|------------|
| 交通安全協会補助金 | 2,000,000円 | 2,000,000円 |
| 交通安全都市推進協議会補助金 | 1,500,000 | 1,500,000 |
| 幼児交通安全クラブ連絡協議会補助金 | 200,000 | 200,000 |

(4) 自転車ヘルメット購入補助金 3,000,350 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|-------------|-------------------|-------------------|
| ヘルメット購入補助件数 | 1,523件 2,901,970円 | 1,557件 3,000,350円 |

(5) 予防型交通安全対策事業費 565,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|---------------|--------|---------|
| 市内で発生した人身事故件数 | 2,043件 | 1,652件 |

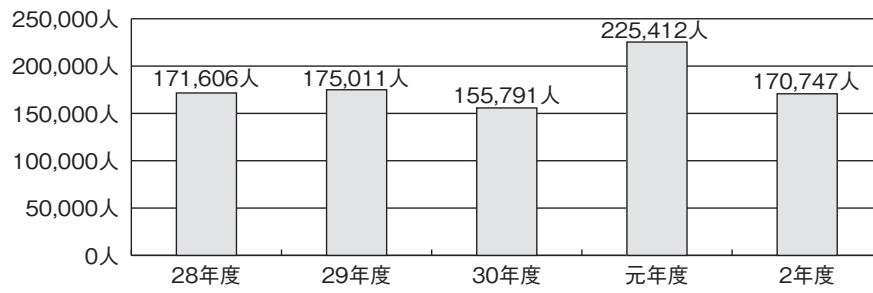
(6) 高齢者交通安全対策推進事業費 10,909,513 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|--------------|-------|---------|
| 運転免許自主返納助成件数 | 609人 | 1,028人 |
| 安全運転支援装置設置者数 | 79 | 189 |

[指 標]

指 標 名：交通安全活動に関わった市民の人数

指標説明：交通安全教育・啓発活動などに参加又は関わった市民の人数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 13目 消費者保護費 <消費者保護の強化> | 49,894,399 | 501,100 | 0 | 3,542,557 | 45,850,742 |

1 消費者行政事業費 17,022,808 円 (安全生活課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響により明るい暮らしの消費者展は中止としたが、消費者団体との協働により、市ホームページで消費生活に関する啓発を行った。また、消費生活相談事業及び消費者啓発事業を東三河広域連合の構成市町村と共同実施するとともに、オンライン対面相談に必要なICT機器の整備により、8市町村の各消費生活相談窓口を相互に補完することで、コロナ禍でも対面相談を継続できる体制を整えた。今後も相談窓口間の連携強化に努めるとともに、消費生活相談員の育成による体制の充実により、消費者被害の救済や未然防止に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 消費者行政推進事業費 53,146 円

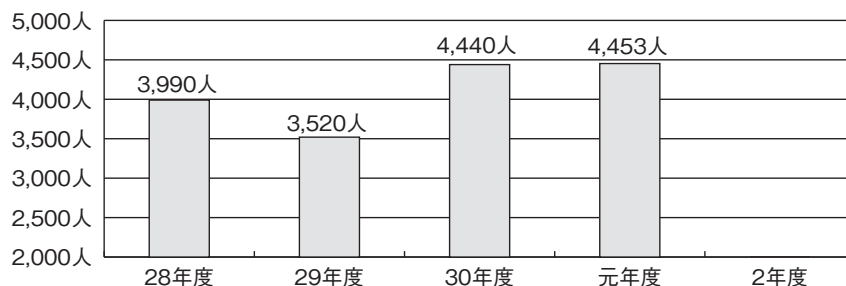
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------|--------------------------|-------|
| 明るい暮らしの消費者展 | 第49回 10.19～20 参加者数4,453人 | — |

(2) 東三河広域連合消費生活事業負担金 16,969,662 円

| 負 担 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------------|-------------|
| | 17,115,635円 | 16,969,662円 |

[指 標]

指 標 名：明るい暮らしの消費者展参加人員
 指標説明：〃



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 14目 快適なまちづくり推進費 <路上喫煙の防止> | 7,358,198 | 0 | 0 | 0 | 7,358,198 |

1 路上喫煙防止対策事業費 7,358,198円 (安全生活課)

[総括]

「快適なまちづくりを推進する条例」に基づき、路上喫煙を防止するため、指導員による巡回・指導や啓発活動を実施した。今後も歩行喫煙者率の減少を図り、安全で快適な生活環境の整備を推進していく。

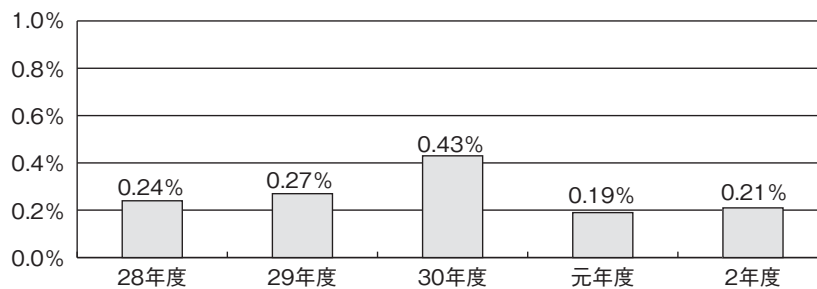
[実績及び成果]

(1) 路上喫煙防止対策事業費 7,358,198円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---|------------------------------------|
| | 快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業・路上喫煙実態調査 豊橋駅前公共喫煙所撤去工事 | 快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業・路上喫煙実態調査 |

[指標]

指標名：路上喫煙禁止区域内における歩行喫煙者率
指標説明：歩行喫煙者数／通行者数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--|-----------------|----------------|-------------|---------------|----------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3 款 民 生 費 | 53,703,915,263 | 26,870,868,922 | 296,200,000 | 1,660,181,553 | 24,876,664,788 |
| 1 項 社 会 福 祉 費 | 19,489,560,029 | 9,152,385,182 | 76,600,000 | 72,734,364 | 10,187,840,483 |
| 2 目 地 域 福 祉 活 動 推 進 費 <地域福祉拠点機能の充実> | 288,347,383 | 6,691,000 | 0 | 10,360,234 | 271,296,149 |

1 地域福祉推進事業費 44,247,951 円 (福祉政策課)

[総括]

「第4期豊橋市地域福祉計画」を策定するとともに、複雑化・複合化した課題を抱える者等へ必要な支援を行う相談支援包括化推進員を配置した。また、権利擁護の総合的な推進拠点となる成年後見支援センターにおいて、成年後見制度の普及啓発と相談等を実施した。今後も地域福祉を推進するため、地域福祉サービスの充実を図っていく。

[実績及び成果]

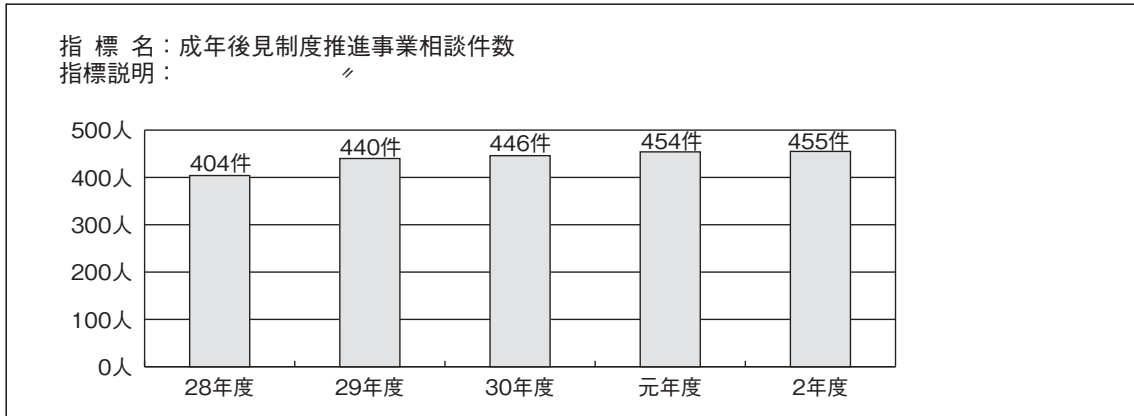
(1) 地域共生社会推進事業費 8,201,814 円

| 複合的な課題への 対応ケース数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|--------------------|-------|-------|-----|
| | | — | 30件 |

(2) 成年後見制度推進事業費 22,590,706 円

| 相 談 件 数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|---------|-------|-------|------|
| | | 454件 | 455件 |

[指標]



2 更生保護活動支援事業費 5,479,518 円 (福祉政策課)

[総括]

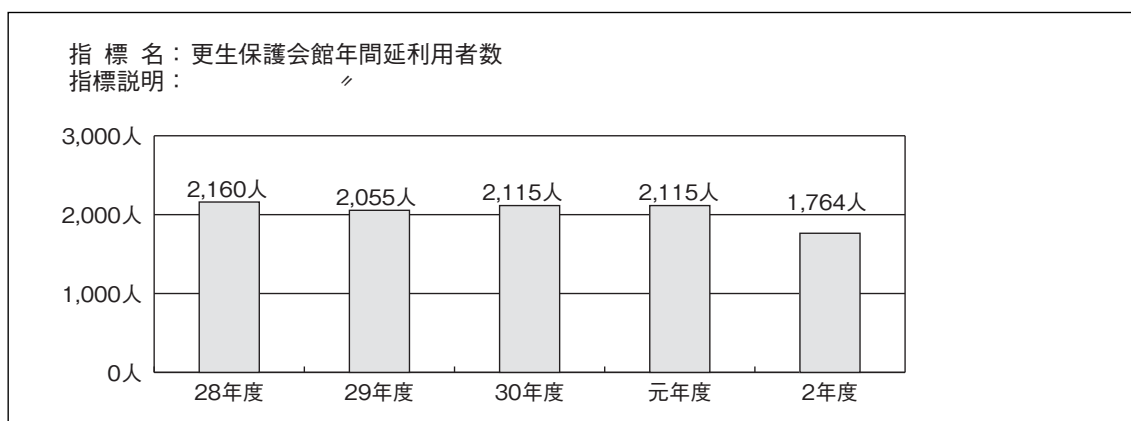
犯罪や非行をした人の立ち直り支援や犯罪・非行の予防啓発活動等を行う更生保護事業の拠点施設として、保護司会等の更生保護団体が利用する更生保護会館の管理運営を行った。また、更生保護活動及び犯罪予防活動を行う更生保護団体に対し、適切な補助金交付を行った。今後も更生保護団体と関係機関・団体及び地域住民との連携を強化し、更生保護活動の一層の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 更生保護活動支援事業費 5,479,518 円

| 更生保護会館利用者数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------------|-------|----------|----------|
| | | 延 2,115人 | 延 1,764人 |

[指 標]



3 福祉センター管理運営事業費 155,861,156 円（福祉政策課）

[総 括]

総合福祉センターを始め4か所の福祉センターについて指定管理者による管理を行ったほか、つつじが丘地域福祉センターの管理運営に対し適切な補助を行った。今後も社会福祉活動の拠点として地域福祉の振興を図るため、利便性の向上や利用の促進に努めていく。

[実績及び成果]

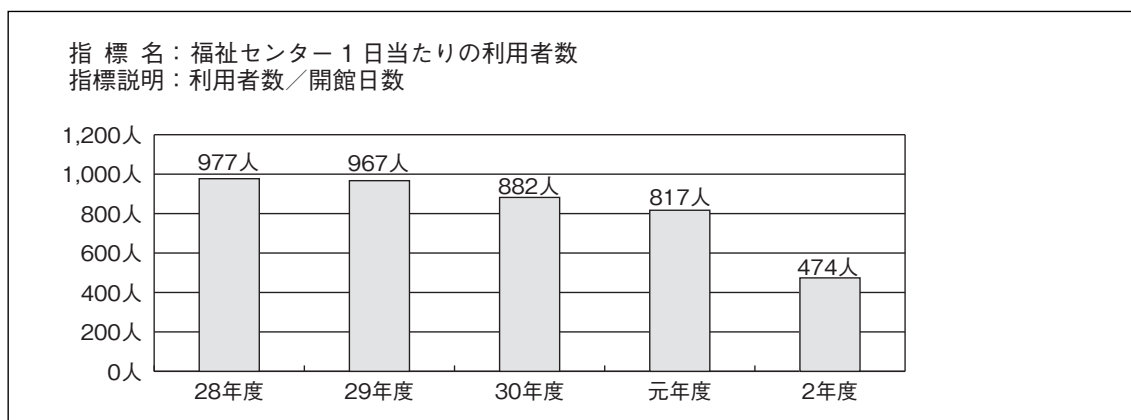
(1) 地域福祉センター管理運営事業費 63,284,832 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------|-----------|-----------|--------|
| 八町地域福祉センター | 延 26,665人 | 延 16,334人 | △38.7% |
| 大清水地域福祉センター | 延 55,919 | 延 25,327 | △54.7 |
| 牟呂地域福祉センター | 延 45,458 | 延 23,286 | △48.8 |
| つつじが丘地域福祉センター | 延 37,328 | 延 22,773 | △39.0 |
| 利 用 者 数 合 計 | 延 165,370 | 延 87,720 | △47.0 |

(2) 総合福祉センター管理運営事業費 92,576,324 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-----------|-----------|--------|
| 利 用 者 数 | 延 87,235人 | 延 40,838人 | △53.2% |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------------|-----------------|-------------|-------|---------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3目 地域福祉担い手育成費 <地域福祉の担い手づくり> | 17,930,091 | 0 | 0 | 239,762 | 17,690,329 |

1 ボランティア事業費 17,339,929円 (福祉政策課)

[総括]

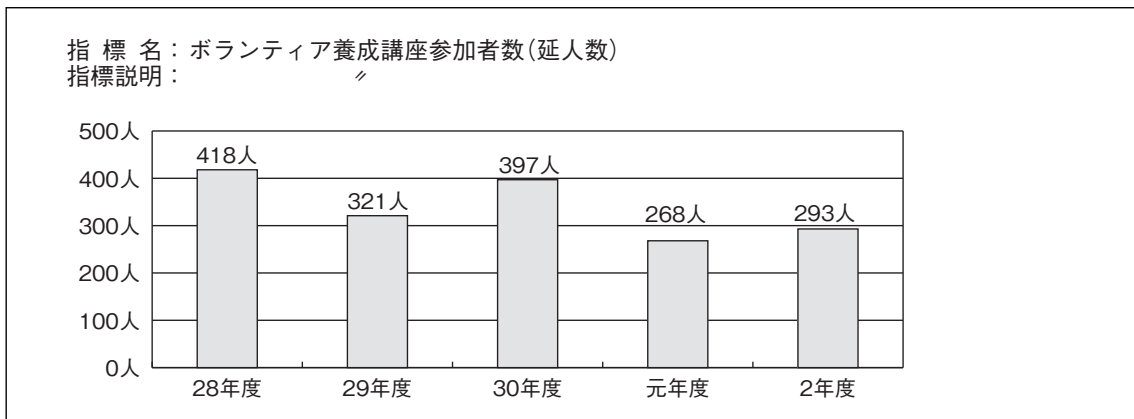
市民のボランティア活動への積極的な参加を促進するため、各種養成講座等を実施している豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンターの運営に対し支援を行った。今後もボランティアによる「福祉のまちづくり」を推進する社会福祉協議会に対し支援を継続していく。

[実績及び成果]

(1) ボランティア事業推進費補助金 17,339,929円

| ボランティア養成講座 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------------|--------|--------|------|
| 参加者数 | 延 268人 | 延 293人 | 9.3% |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 社会福祉団体等支援費 <社会福祉団体等への支援> | 112,754,668 | 0 | 0 | 0 | 112,754,668 |

1 社会福祉施設等指導監査事業費 24,897,956 円 (福祉政策課)

[総括]

質の高い社会福祉サービスを確保するため、社会福祉施設、障害福祉サービス事業者等の運営や福祉サービスの提供状況について、指導監査や実地指導を行った。また、東三河広域連合が実施する社会福祉法人に関する指導監査及び介護保険サービス事業者等に対する実地指導の事務に要した経費を負担した。今後も利用者が安心して福祉サービスを受けられるよう、適正な指導を行っていく。

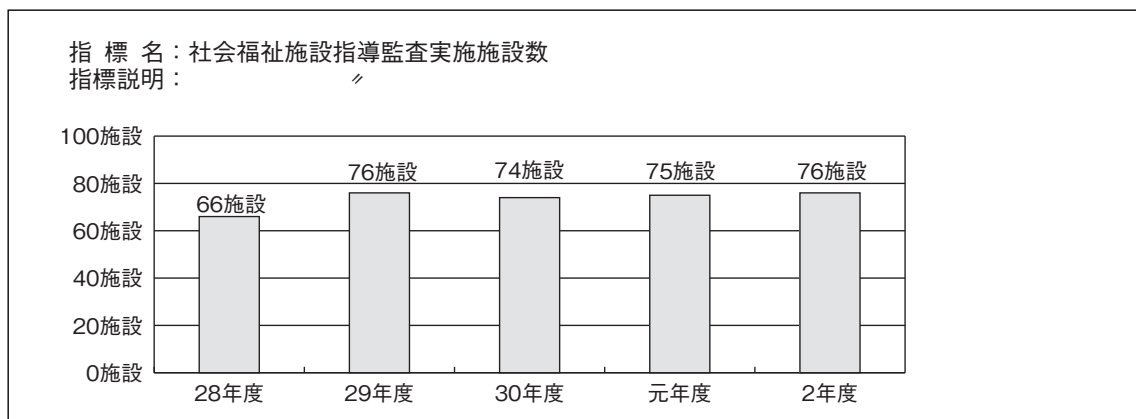
[実績及び成果]

(1) 社会福祉施設等指導監査事務費 56,810 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------------|-------|-------|
| 社会福祉施設指導監査実施施設数 | 75施設 | 76施設 |
| 障害福祉サービス事業者等実地指導件数 | 129件 | 63件 |

(2) 東三河広域連合監査指導事業負担金 24,841,146 円

[指標]



2 民間社会福祉施設運営費補助金 39,005,000 円 (福祉政策課)

[総括]

民間社会福祉施設における利用者の処遇向上と健全経営の助長を図るため、施設運営費及び施設整備費借入金の元利償還金に対して助成した。引き続き、福祉をとりまく環境や社会状況の変化を勘案しながら、適正な補助制度のあり方を検討していく。

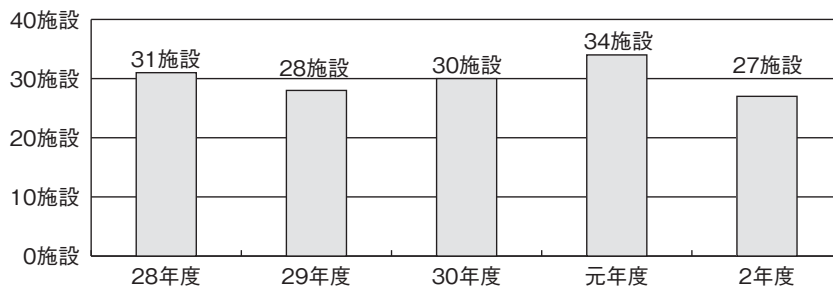
[実績及び成果]

(1) 民間社会福祉施設運営費補助金 39,005,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------|-------|-------|
| 施設運営費補助 | 26施設 | 19施設 |
| 施設整備費借入金の元利償還金補助 | 8 | 8 |

[指 標]

指 標 名：補助施設数
指標説明： //



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|---------------|------------|-----------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5目 障害者総合支援費 ＜障害者の自立と社会参加の促進＞ | 9,929,193,252 | 6,802,197,602 | 76,600,000 | 3,513,911 | 3,046,881,739 |

1 障害福祉サービス等給付事業費 7,043,248,502円 (障害福祉課)

[総括]

障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付などの障害福祉サービス等の給付事業を実施し、障害者福祉の向上を図ったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により短期入所や同行援護の利用を控えるなどの影響があった。今後も障害者の自立、社会参加に向けた支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 介護給付事業費 3,864,929,905円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------|---------------|----------------|
| 居 宅 介 護 | 延 152,120時間 | 延 155,712時間 |
| 重 度 訪 問 介 護 | 延 22,656 | 延 18,720 |
| 同 行 援 護 | 延 11,030 | 延 10,203 |
| 行 動 援 護 | 延 3,737 | 延 5,516 |
| 生 活 介 護 | 延 219,155日 | 延 228,149日 |
| 療 養 介 護 | 延 10,075 | 延 10,068 |
| 短 期 入 所 | 延 12,567 | 延 7,852 |
| 施 設 入 所 支 援 | 26施設 延 94,004 | 24施設 延 117,334 |

(2) 訓練等給付事業費 2,481,492,013円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------|----------------|----------------|
| 就 労 移 行 支 援 | 22事業所 延 1,327人 | 19事業所 延 1,237人 |
| 就 労 継 続 支 援 (A 型) | 16 延 1,724 | 15 延 1,919 |
| 就 労 継 続 支 援 (B 型) | 67 延 8,971 | 70 延 9,659 |
| 就 労 定 着 支 援 | 5 延 162 | 4 延 250 |
| 共 同 生 活 援 助 | 167ホーム 延 3,860 | 186ホーム 延 4,459 |
| 自 立 訓 練 | 9事業所 延 172 | 7事業所 延 155 |
| 自 立 生 活 援 助 | 1 延 13 | 1 延 3 |

(3) 自立支援医療給付事業費 271,064,312円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------------|----------|----------|-------|
| 腎 臓 病 人 工 透 析 等 | 延 3,323件 | 延 3,782件 | 13.8% |
| そ の 他 | 延 262 | 延 524 | 2.0倍 |

(4) 補装具給付事業費 67,980,290 円

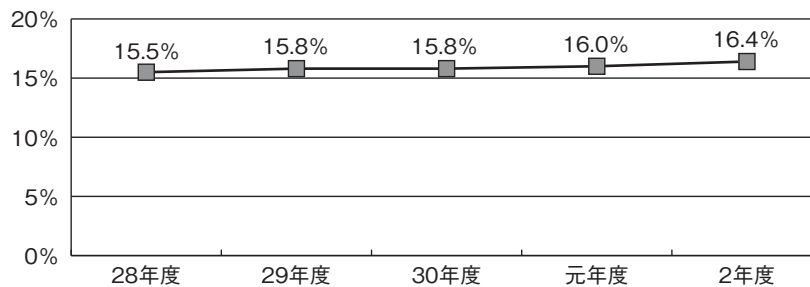
| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|-------|-----|-------|-----|
| | 交 付 | 修 理 | 交 付 | 修 理 |
| 義 肢 | 12件 | 29件 | 12件 | 24件 |
| 装 具 | 111 | 24 | 94 | 20 |
| 車 椅 子 | 60 | 120 | 63 | 141 |
| 補 聴 器 | 92 | 49 | 94 | 41 |
| 視覚障害者安全つえ | 19 | 0 | 14 | 0 |
| 歩 行 補 助 つ え | 8 | 0 | 12 | 0 |
| そ の 他 | 56 | 16 | 40 | 19 |
| 計 | 358 | 238 | 329 | 245 |

(5) 東三河広域連合障害福祉事業負担金 3,797,385 円

| 障害支援区分審査件数 (8市町村) | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|----------------------|--------|--------|-------|
| | 1,432件 | 1,586件 | 10.8% |

[指 標]

指 標 名：障害福祉サービス利用率
 指標説明：介護給付事業・訓練等給付事業決定者数／身体・知的・精神手帳所持者数



2 障害児支援等給付事業費 1,512,970,539 円 (障害福祉課)

[総 括]

児童福祉法に基づく障害児通所支援給付事業などを実施することで、障害児支援の充実を図っており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための小中学校等の一斉臨時休校に伴い、放課後等デイサービスの利用や給付費が増加した。また、障害児相談支援給付事業を実施し、障害児の相談支援体制の充実を図った。今後も障害児の支援に努めていく。

[実績及び成果]

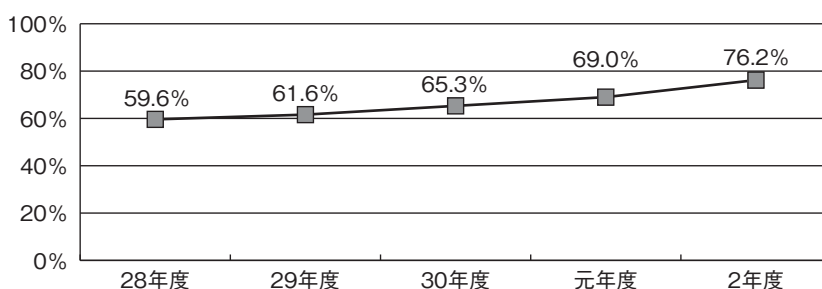
(1) 障害児通所支援給付事業費 1,450,774,524 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------------|-----------|-----------|
| 児 童 発 達 支 援 | 延 28,267日 | 延 29,914日 |
| 放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス | 延 99,246 | 延 108,105 |
| 保 育 所 等 訪 問 支 援 | 延 61 | 延 114 |
| 居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援 | 延 30 | 延 34 |

[指標]

指標名：障害児通所支援利用率

指標説明：障害児通所支援給付事業決定者数／18歳未満の身体・知的・精神手帳所持者数



3 障害者地域生活支援事業費 397,530,087 円（障害福祉課）

[総括]

障害者が自立した日常生活・社会生活を送るため、障害者総合支援法に基づく相談支援、移動支援などの地域生活支援事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会参加の機会が減り、手話通訳者や要約筆記者の活動回数、移動支援事業の利用時間が減少するなどの影響があった。今後も障害者が地域において自立した生活を送れるよう必要な支援を着実に進める。

[実績及び成果]

(1) 相談支援事業費 104,132,293 円

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------|---------------|---------------|
| 地域自立支援協議会費 | 開催数 82回 | 開催数 64回 |
| 相談支援事業委託 | 8施設 延 27,089件 | 8施設 延 25,196件 |
| 安心生活支援事業費 | 2 延 6 | 2 延 3 |

(2) 意思疎通支援事業費 11,093,346 円

(ア) 手話通訳者活動費 10,308,815 円

| 活動回数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|--------|-------|--------|
| | 1,069回 | 839回 | △21.5% |

(イ) 要約筆記者活動費 445,389 円

| 活動回数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|-------|-------|--------|
| | 97回 | 68回 | △29.9% |

(ウ) 点字プリンター維持管理費 41,270 円

| 利用件数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|-------|-------|-------|
| | 4件 | 5件 | 25.0% |

(エ) コミュニケーション支援機器設置費 297,872 円

| 利用件数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|-------|-------|----|
| | — | 22件 | 皆増 |

(3) 日常生活用具給付事業費 107,639,766 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------------|--------|--------|-------|
| 介護・訓練支援用具 | 33件 | 36件 | 9.1% |
| 自立生活支援用具 | 53 | 48 | △ 9.4 |
| 在宅療養等支援用具 | 53 | 72 | 35.8 |
| (内：自家発電機等) | (一) | (6) | (皆増) |
| 情報・意思疎通支援用具 | 41 | 39 | △ 4.9 |
| 排泄管理支援用具 | 9,876 | 9,829 | △ 0.5 |
| 居宅生活動作補助用具 | 18 | 17 | △ 5.6 |
| 計 | 10,074 | 10,041 | △ 0.3 |

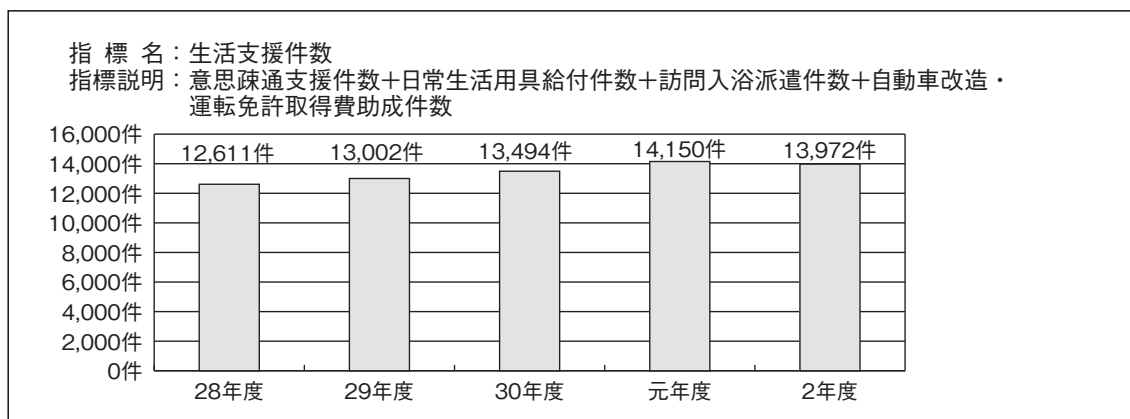
(4) 移動支援事業費 49,316,038 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|------------------|------------------|
| | 41事業所 延 28,824時間 | 41事業所 延 16,990時間 |

(5) 障害者理解啓発事業費 193,390 円

| パンフレット等 配布枚数 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------|--------|--------|
| | 2,000枚 | 4,000枚 |

[指 標]



4 医療的ケア児等支援事業費 952,200 円 (障害福祉課)

[総 括]

医療的ケアを必要とする障害児が通う保育園、幼稚園、認定こども園又は児童発達支援事業所に、訪問看護ステーション等の看護師を派遣することにより、医療的ケアを実施し、保護者の負担の軽減を図った。

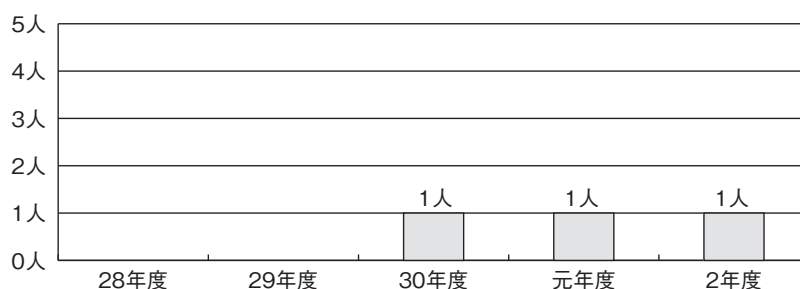
[実績及び成果]

(1) 障害児看護支援事業費 952,200 円

| 利 用 者 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|----------|-------|
| | 認定こども園1人 | 幼稚園1人 |

[指 標]

指 標 名：障害児看護支援事業利用者数
 指標説明：〃



5 障害者福祉会館管理運営事業費 36,982,650 円（障害福祉課）

[総 括]

指定管理者により、各種教室や避難所体験をはじめとする特色ある事業を展開するなど、施設の適正な管理運営に努めたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による相談・窓口業務以外の休館及び団体利用の制限、事業中止などにより利用者数は減少した。今後も利用者のニーズに応じたイベントや講座の実施に努めるとともに、利用者が安全・快適に過ごせるよう施設の維持・保全を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 障害者福祉会館管理運営事業費 36,982,650 円

[施設利用者]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-----------|-----------|--------|
| 開 館 日 数 | 290日 | 260日 | △10.3% |
| 利 用 者 数 | 延 52,164人 | 延 23,745人 | △54.5 |

[活動内容]

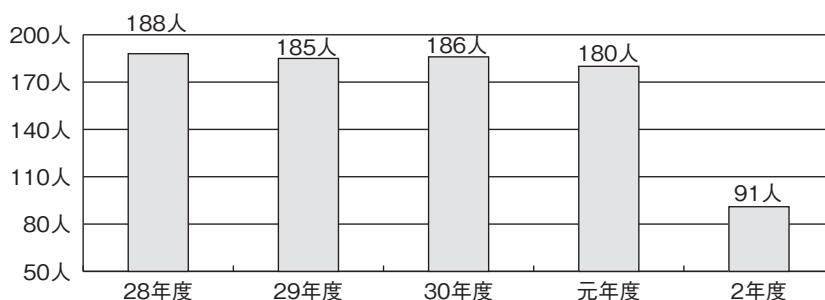
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|-------------------|---------------------|
| 障害児余暇支援事業 | 参加人員 延 226人 | 参加人員 延 24人 |
| スポーツ・文化教室 | 水泳等16教室参加人員 延 926 | ポッチャ等12教室参加人員 延 476 |
| パソコン教室事業 | 参加人員 延 1,180 | 参加人員 延 998 |
| 避難所体験事業 | 参加人員 延 857 | 参加人員 延 499 |

[施設整備]

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------------|------------------------------|
| | ・中央監視装置取替修繕 | ・スチールドア取替修繕 ・直流電源盤蓄電池取替修繕 |

[指 標]

指 標 名：障害者福祉会館一日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



6 障害者(児)施設整備助成事業費 230,088,000 円 (障害福祉課)

[総 括]

障害者(児)の地域生活を支援するため、共同生活援助事業所等の整備に係る経費の一部を助成した。

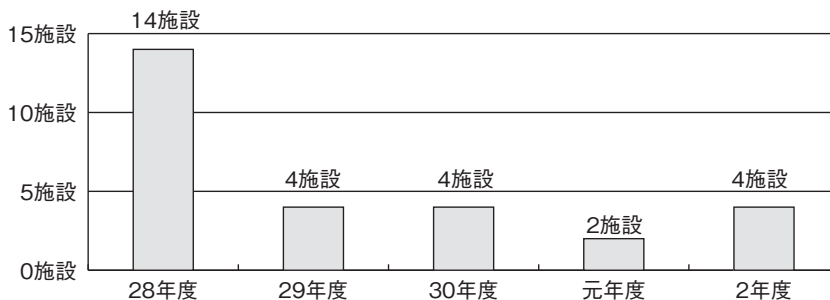
[実績及び成果]

(1) 共同生活援助等施設整備事業費補助金 230,088,000 円

| 施設区分 | 実施内容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------------------------|-------|--------|----------|
| 共同生活援助 | 創設 | なごみホーム | — |
| 共同生活援助 ・短期入所 | 創設 | — | 明日香西幸 |
| | 増築 | — | ケアホームふたば |
| 生活介護 | 創設 | — | 第2しろがね |
| | 大規模修繕 | — | 豊橋にしぐち学園 |
| 多機能型 (生活介護・就労移行支援・ 就労継続支援B型) | 大規模修繕 | ワークス岩西 | — |

[指 標]

指 標 名：障害者(児)施設整備数
 指標説明：国庫補助を活用し整備した障害者(児)施設数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 6目 障害者医療費 <医療費助成の推進> | 1,067,860,767 | 407,152,000 | 0 | 0 | 660,708,767 |

1 障害者医療費助成事業費 697,067,665 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者の医療費について、保険診療費の自己負担額を助成することにより、障害者やその家族の経済的な負担を軽減し生活の安定を図った。

[実績及び成果]

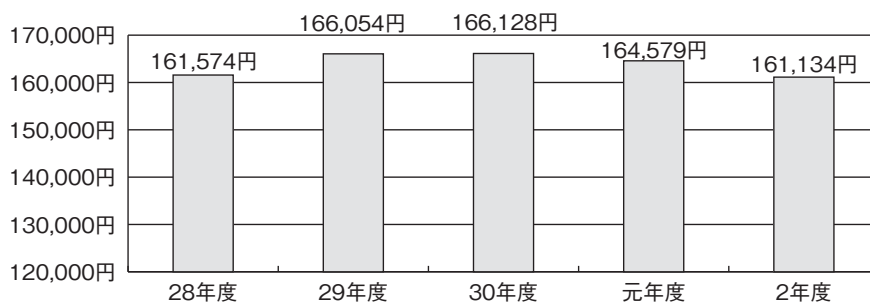
(1) 障害者医療費助成事業費 697,067,665 円

(ア) 医療助成費 693,274,740 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|------------|------------|-----------|
| 受 給 者 数 | 延 51,359人 | 延 51,910人 | 1.1% |
| 受 診 件 数 | 延 112,137件 | 延 107,401件 | △ 4.2 |
| 受 診 率 | 218.3% | 206.9% | △11.4ポイント |

[指標]

指標名：障害者医療費1人当たりの助成費
 指標説明：障害者医療助成費／受給者数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--|-----------------|-------------|-------|-------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 2項 老人福祉費 | 5,650,212,811 | 391,927,805 | 0 | 784,288,632 | 4,473,996,374 |
| 2目 高齢者社会参加費 <高齢者の健康づくりと 介護予防の推進> | 121,597,361 | 8,796,984 | 0 | 337,691 | 112,462,686 |

1 敬老事業費 6,863,047 円 (長寿介護課)

[総括]

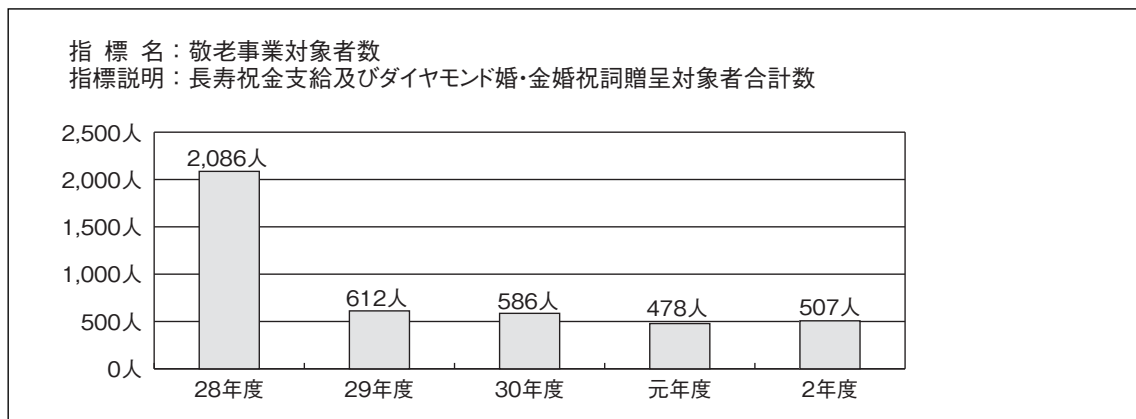
長年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し祝福するため、長寿祝金の支給及びダイヤモンド婚・金婚を迎えたご夫婦への祝詞の贈呈を行った。今後も高齢者のニーズや社会情勢などを考慮しながら事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 敬老事業費 6,863,047 円

| 区 分 | 対 象 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|--------------|---------|-------|-------|-------|
| 長 寿 祝 金 | 100歳以上 | 202人 | 215人 | 6.4% |
| ダイヤモンド婚、金婚祝品 | ダイヤモンド婚 | 56組 | 50組 | △10.7 |
| | 金婚 | 82 | 96 | 17.1 |

[指 標]



※「長寿祝金」の対象者は、平成29年度から変更しており、28年度までは88歳と100歳以上を対象としていた。

2 高齢者交流活動促進事業費 19,719,171 円 (長寿介護課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症のため、高齢者の交流活動実施が難しく、中止・縮小した活動もあったが、地域の子どもやその親とのふれあい交流を行う「三世代交流事業」など、実施可能だった活動に対して支援を行い、高齢者の社会参加と生きがいの促進を図った。また、人と人とのつながりをつくる「まちの居場所活動」や「助け合い活動」など支え合い活動等を紹介する、情報紙「アクティ」の配布のほか、支え合い活動への参加者の事故を補償する「支え合い活動参加者保険」の創設により、支え合い活動に取り組みやすい環境整備を行った。今後も高齢者が自らの能力を発揮し、健康で生きがいを持った生活を送れるよう事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 老人クラブ活動事業費 18,886,410 円

| 区 分 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------------------|----------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 老人クラブ運営費補助金 | | 197クラブ | 13,948,800円 | 187クラブ | 13,017,145円 |
| 一声運動事業費補助金 | | 延 2,793人 | 1,970,000 | 延 2,615人 | 1,870,000 |
| 老人クラブ 連 合 会 補 助 金 | 友愛訪問事業費 | 延 447世帯 | 348,376 | 延 355世帯 | 244,145 |
| | 三世代交流事業費 | 参加人員5,328人 | 660,137 | 参加人員1,041人 | 259,644 |
| | ウォーキング・体力測定事業費 | 参加人員1,442 | 650,676 | 参加人員 993 | 464,731 |
| 計 | | — | 17,577,989 | — | 15,855,665 |

(2) 都市山村交流促進事業費 6,526 円

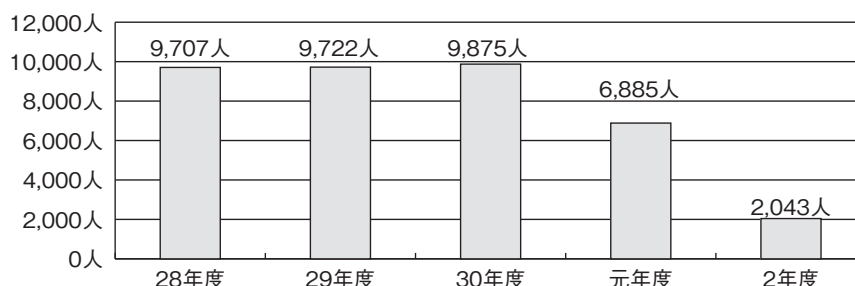
| 内 容 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----|-------|----------|----------|---------|
| | | 参加人員115人 | 116,138円 | 参加人員 9人 |

(3) アクティブシニア活動促進事業費 826,235 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------------|---------|---------|
| アクティブシニア情報紙「アクティ」配布部数 | 30,000部 | 30,000部 |

[指 標]

指 標 名：高齢者交流活動促進事業参加者数
 指標説明：三世代交流事業、ウォーキング・体力測定事業、都市山村交流事業の参加者数



※平成28年度は「まちの支え合いづくりフェア」参加者数、29～30年度はお互いさまのまちづくりフェア参加者数を含む。

3 老人福祉センター等施設管理運営事業費 70,258,037 円（長寿介護課）

[総 括]

指定管理者により、老人福祉センターをはじめとする10か所の老人福祉施設の適切な管理運営を行った。今後も引き続き適切な管理運営に努めるとともに、各施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕を行っていく。

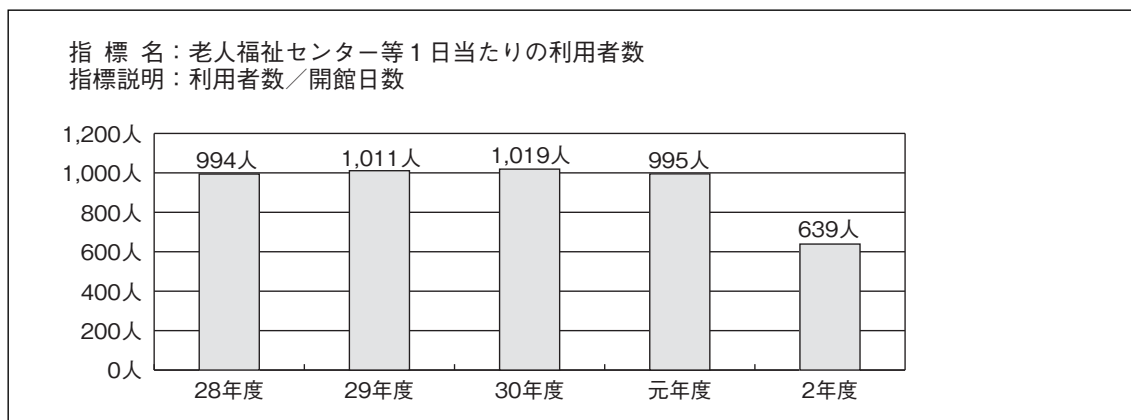
[実績及び成果]

(1) 老人福祉センター等施設管理運営事業費 70,258,037 円

[利用状況]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 延利用者数 | 延利用者数 | |
| 仁連木老人福祉センター | 51,028人 | 30,644人 | △39.9% |
| 下 地 ヶ | 40,367 | 19,882 | △50.7 |
| 高 師 ヶ | 60,879 | 33,931 | △44.3 |
| 石 巻 ヶ | 35,888 | 25,083 | △30.1 |
| 大 岩 ヶ | 54,029 | 24,424 | △54.8 |
| 小 計 | 242,191 | 133,964 | △44.7 |
| 牟呂高齢者活動センター | 12,637 | 14,716 | 16.5 |
| 石巻 ヶ | 3,726 | 2,950 | △20.8 |
| 小 計 | 16,363 | 17,666 | 8.0 |
| 西川老人憩の家 | 8,382 | 4,437 | △47.1 |
| 東細谷 ヶ | 14,199 | 7,099 | △50.0 |
| 城 下 ヶ | 7,330 | 4,141 | △43.5 |
| 小 計 | 29,911 | 15,677 | △47.6 |
| 合 計 | 288,465 | 167,307 | △42.0 |

[指 標]



4 生涯現役促進事業費 3,182,984 円（長寿介護課）

[総 括]

高齢者の社会参加を促すため、生涯現役で活躍するためのセミナーの開催や就労・地域活動について相談できる窓口を設置した。今後も社会参加に向けた選択肢を幅広く示すことで、意欲の増進や生涯現役で活躍できる環境づくりを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯現役促進事業費 3,182,984 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|-------|---------|
| セ ミ ナ ー | — | 実施回数 2回 |

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|----------------------------------|-----------------|-------------|-------|------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3目 高齢者生活支援費 <高齢者の生活支援サービスの充実> | 1,102,543,293 | 332,302,000 | 0 | 16,708,448 | 753,532,845 |

1 養護老人ホーム管理運営事業費 122,772,625 円 (総合老人ホーム)

[総括]

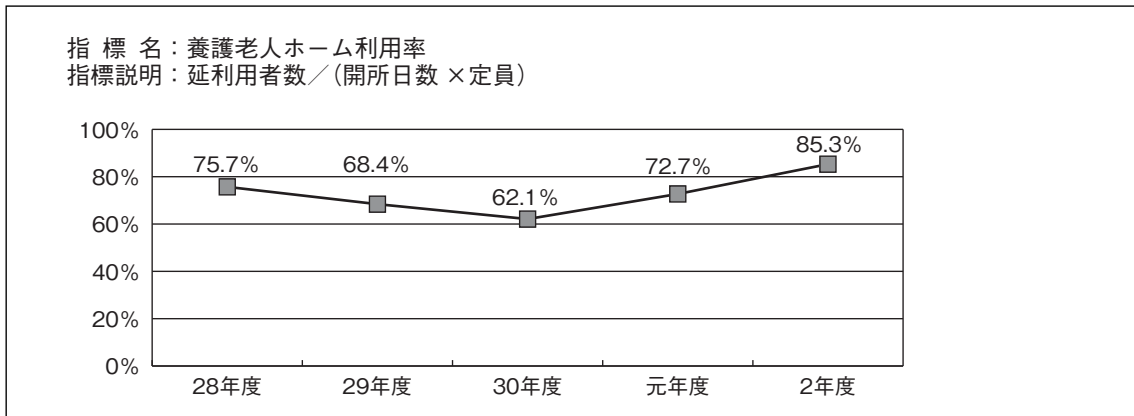
環境上の理由及び経済的理由により、居宅において生活することが困難な65歳以上の方が、安心して健康的な生活を送れるように養護した。令和2年度は前年度に引き続き養護棟照明器具の取替修繕を行い、LED化することで入所者の住環境の向上を図った。今後もセーフティネット機能を担う市内唯一の施設として、高齢者の養護の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 65,076,425 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------|---------|---------|-------|
| 年 間 延 利 用 者 数 | 15,959人 | 18,681人 | 17.1% |
| 1日当たりの利用者数 | 43.6 | 51.2 | 17.4 |

[指標]



2 高齢者福祉サービス事業費 58,802,673 円 (長寿介護課)

[総括]

高齢者が地域で安心して暮らせるようにするため、電車、タクシー等の利用料金を助成する高齢者移動支援事業等、各種サービスを実施した。今後も、高齢者のニーズや社会情勢を考慮しながら高齢者の生活支援を継続していく。

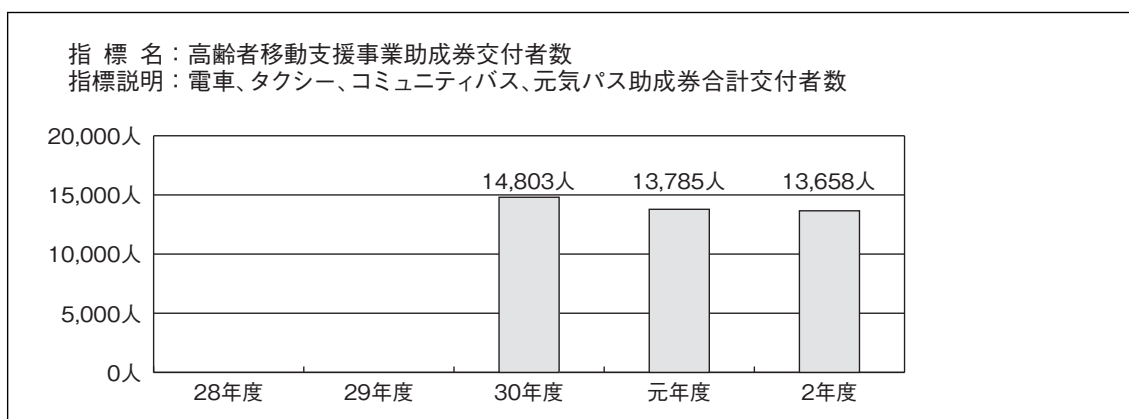
[実績及び成果]

(1) 高齢者福祉サービス事業費 58,802,673 円

(ア) 高齢者移動支援事業費 45,371,084 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|---------|---------|
| 交 付 者 数 | 13,785人 | 13,658人 |

[指 標]



3 後期高齢者福祉医療費助成事業費 745,812,336 円（国保年金課）

[総 括]

後期高齢者医療制度に加入している障害者など後期高齢者福祉医療費助成対象者の療養に係る医療費の自己負担分を助成した。受給者数は増加したが、医療助成費は新型コロナウイルス感染症の影響による受診抑制もあり減少した。今後も福祉医療費の適正な助成に努めていく。

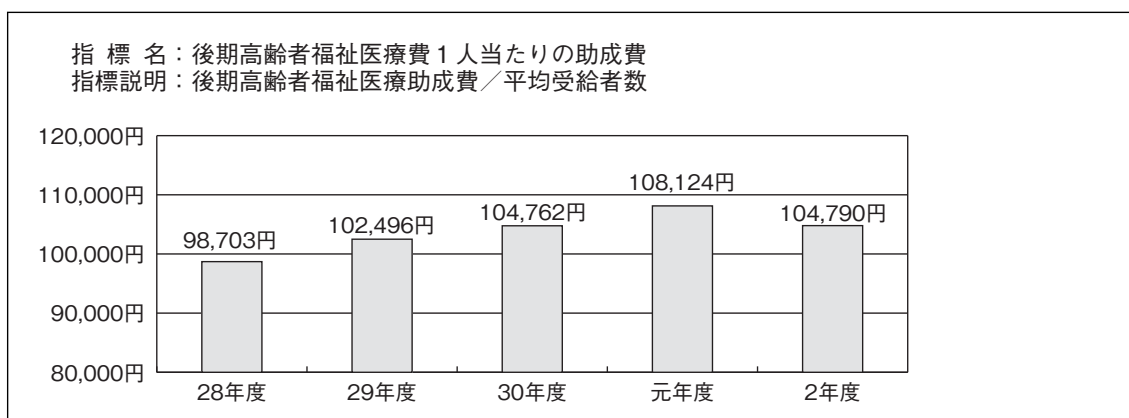
[実績及び成果]

(1) 後期高齢者福祉医療費助成事業費 745,812,336 円

(ア) 医療助成費 738,352,513 円

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 受 給 者 数 | | 延 83,821人 | 延 84,555人 | 0.9% |
| 支 給 件 数 | 入 院 | 延 13,441件 | 延 13,333件 | △ 0.8 |
| | 外 来 | 延 205,664 | 延 198,816 | △ 3.3 |
| | 計 | 延 219,105 | 延 212,149 | △ 3.2 |
| 受 診 率 | | 261.4% | 250.9% | △10.5ポイント |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 介護保険サービス費 <住環境の整備と介護保険サービスの充実> | 355,850,668 | 49,938,000 | 0 | 198,382,972 | 107,529,696 |

1 デイサービスセンター管理運営事業費 44,678,532円 (総合老人ホーム)

[総括]

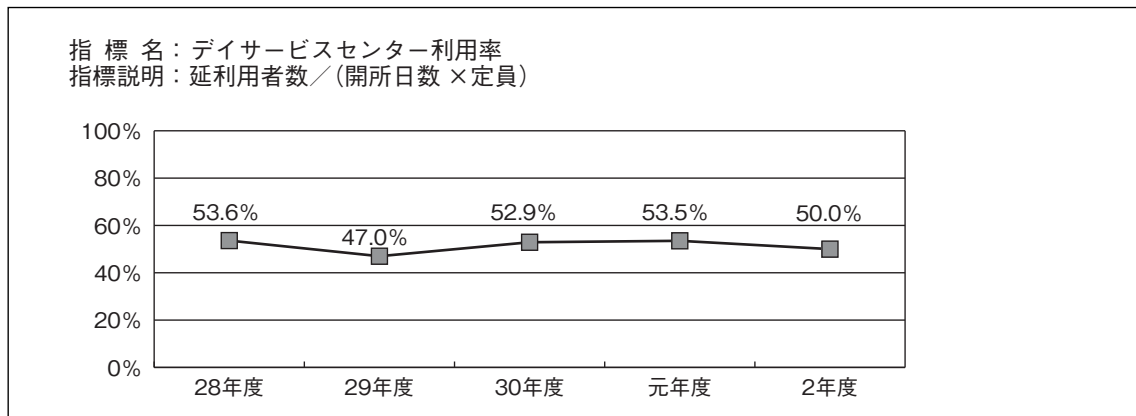
介護保険で要介護又は要支援と認定され、居宅において介護を受けている方をリフトバスで送迎し、入浴の介助及び食事の提供等を行い、日常生活の自立支援を行った。令和2年度は介助用テーブルを購入し、利用者へのサービスを充実させた。今後もサービスの向上を図り、利用者の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 27,664,145円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 年 間 延 利 用 者 数 | 2,476人 | 2,314人 | △ 6.5% |
| 1日当たりの利用者数 | 9.6 | 9.0 | △ 6.3 |

[指 標]



2 特別養護老人ホーム管理運営事業費 261,234,136円 (総合老人ホーム)

[総括]

65歳以上で、身体上又は精神上常時の介護を必要とし、居宅において介護を受けることが困難な方に、入浴・食事等の日常生活の介護サービスを提供し、自立した生活ができるよう支援するとともに、家族の介護負担の軽減を図った。令和2年度は食堂流し台の修繕や車椅子用体重計の更新により、住環境の向上を図った。今後も介護サービスの向上と迅速な対応に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 81,164,731円

(ア) 特別養護老人ホーム

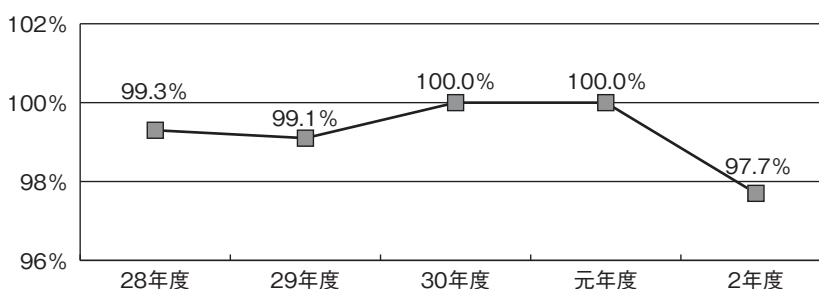
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------|---------|---------|--------|
| 年 間 延 契 約 者 数 | 18,312人 | 17,826人 | △ 2.7% |
| 1日当たりの契約者数 | 50.0 | 48.8 | △ 2.4 |

(イ) ショートステイ

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 年 間 延 利 用 者 数 | 1,286人 | 1,233人 | △ 4.1% |
| 1日当たりの利用者数 | 3.5 | 3.4 | △ 2.9 |

[指標]

指標名：特別養護老人ホーム契約率
 指標説明：延契約者数 / (開所日数 × 定員)



3 介護保険施設等整備事業補助金 27,275,000 円 (長寿介護課)

[総括]

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護サービス提供事業者に対して施設整備費等の助成を行った。令和2年度はグループホームの防災改修工事（非常用自家発電設備整備、空調設備整備）に対する補助を行ったほか、新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援として簡易陰圧装置の設置費用や感染者等が発生した施設での消毒・洗浄費用に対して補助を行うことで、入所者・利用者等の安全性の確保・向上を図った。

[実績及び成果]

(1) 介護保険施設等整備事業補助金 27,275,000 円

非常用自家発電設備整備費補助金

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|-------|
| 施設数 | 4施設 | 1施設 |

空調設備整備事業補助金

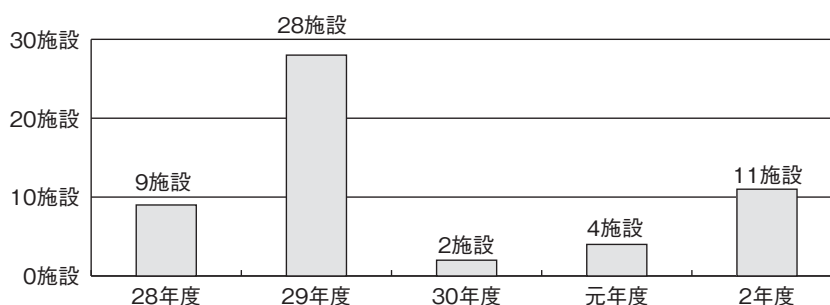
| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|-------|
| 施設数 | — | 1施設 |

新型コロナウイルス感染拡大防止対策費補助金

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|-------|
| 施設数 | — | 9施設 |

[指標]

指標名：介護保険施設等整備数
 指標説明：補助を活用した介護保険施設等整備数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5目 介護保険事業費 <介護保険制度の円滑な運営> | 3,732,050,095 | 416,821 | 0 | 475,662,329 | 3,255,970,945 |

1 認定調査事務費 106,145,196 円 (長寿介護課)

[総括]

平成30年度から東三河広域連合による介護保険事業の運営が開始され、本市では構成市町村として窓口事務及び要介護等認定のための調査及び審査を実施している。認定調査は全国一律の判断基準があり、的確に実施することが求められているため、認定調査員に対し、愛知県や広域連合が主催する研修内容の周知及び定期的な勉強会により認定調査の判断の平準化に努めている。なお、平成30年度の制度改正により、要介護認定の更新申請時における認定有効期間が最大36か月まで延長されたため、更新申請の受付数が令和2年度は減少した。

[実績及び成果]

(1) 認定調査事務費 106,145,196 円

[被保険者数]

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|------------|---------|---------|------|
| 第1号被保険者 | 65歳以上75歳未満 | 48,029人 | 48,451人 | 0.9% |
| | 75歳以上 | 47,631 | 48,039 | 0.9 |
| 第2号被保険者 | | 医療保険加入者 | 医療保険加入者 | — |

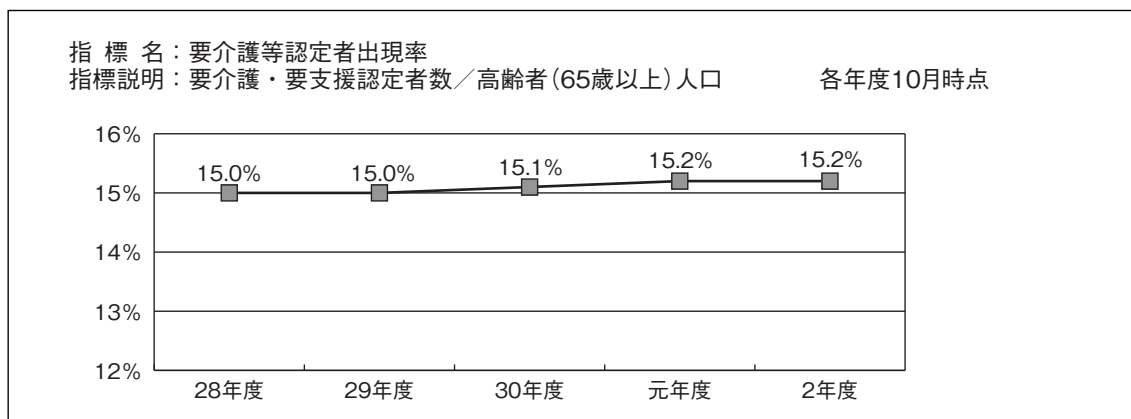
[要介護等認定申請受付件数]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|------|--------|--------|-------|
| 新規申請 | 3,545件 | 3,730件 | 5.2% |
| 更新申請 | 7,859 | 3,760 | △52.2 |
| 変更申請 | 1,851 | 2,227 | 20.3 |
| 合計 | 13,255 | 9,717 | △26.7 |

[要介護等認定状況]

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|------------|------|---------|--------|--------|
| 要介護等認定調査件数 | | 12,371件 | 8,749件 | △29.3% |
| 要介護等認定審査件数 | | 11,248 | 7,777 | △30.9 |
| 要介護等認定状況 | 要支援1 | 2,479人 | 2,567人 | 3.5 |
| | 要支援2 | 2,280 | 2,409 | 5.7 |
| | 要介護1 | 2,927 | 3,129 | 6.9 |
| | 要介護2 | 2,134 | 2,158 | 1.1 |
| | 要介護3 | 1,677 | 1,698 | 1.3 |
| | 要介護4 | 1,625 | 1,645 | 1.2 |
| | 要介護5 | 1,097 | 1,092 | △0.5 |
| | 合計 | 14,219 | 14,698 | 3.4 |

[指 標]



2 一般介護予防事業費 7,294,583 円（長寿介護課）

[総 括]

高齢者に対して、介護予防教室を開催することで、介護予防に関する知識の普及を図るとともに、教室終了後は地域における自主的な活動が継続的に行えるよう支援した。また、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、シニアスポーツの振興を図るとともに、趣味活動等の支援を行った。今後も高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることができるよう、高齢者のニーズに合った事業を実施し、社会参加の促進を図る。

[実績及び成果]

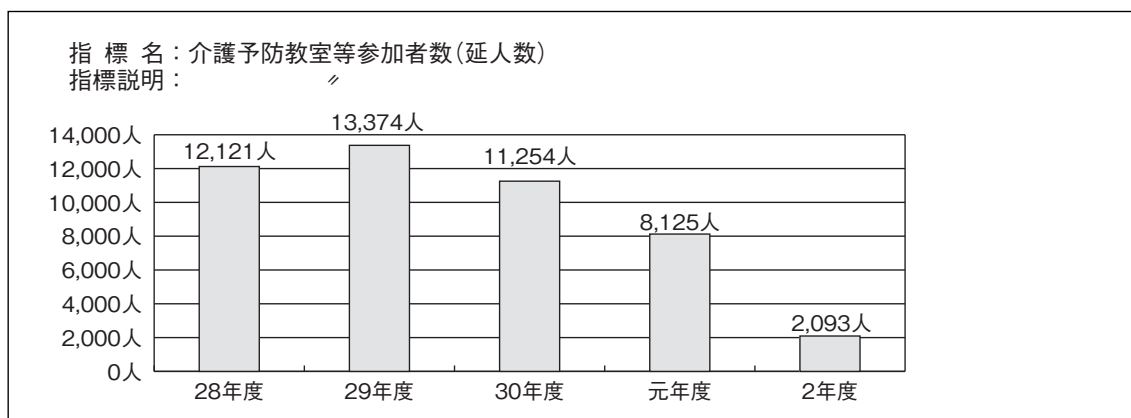
(1) 介護予防普及啓発事業費 3,678,676 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---------|-------|--------|-------|--------|
| 介護予防教室等 | 実施回数 | 393回 | 実施回数 | 222回 |
| | 延人員 | 8,125人 | 延人員 | 2,093人 |

(2) 地域介護予防活動支援事業費 3,615,907 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|----------------|-------|------|-------|------|
| シルバースポーツブロック大会 | 参加者数 | 727人 | 参加者数 | 486人 |

[指 標]



3 包括的支援事業費

328,136,097 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、職員の増員による相談体制の強化を図りつつ、地域団体や関係機関と連携して、介護・福祉に関する総合相談、権利擁護、介護予防の推進など、高齢者の支援を行った。また、医療と介護の連携を図る在宅医療・介護連携推進事業、地域の互助の体制づくりを推進する生活支援体制整備事業、認知症の方を総合的に支援する認知症総合支援事業、個人や地域の課題を抽出し解決に向けて検討する地域ケア会議推進事業を引き続き実施した。今後も地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合的な支援を行う。

[実績及び成果]

(1) 地域包括支援センター運営事業費 298,491,204 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 地域包括支援センター 運 営 事 業 費 | 委託先 相談受付件数 | 18施設 18,100件 | 委託先 相談受付件数 | 18施設 17,906件 |

(2) 在宅医療・介護連携推進事業費 11,884,886 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|----------------------|-------|------|-------|------|
| 東三河ほいっぷ ネットワーク登録者 | 登録者数 | 772人 | 登録者数 | 805人 |

(3) 生活支援体制整備事業費 1,045,559 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|--------------------|-------|----|-------|----|
| お互いさまの まちづくり協議会 | 実施回数 | 3回 | 実施回数 | 3回 |

(4) 認知症総合支援事業費 15,974,448 円

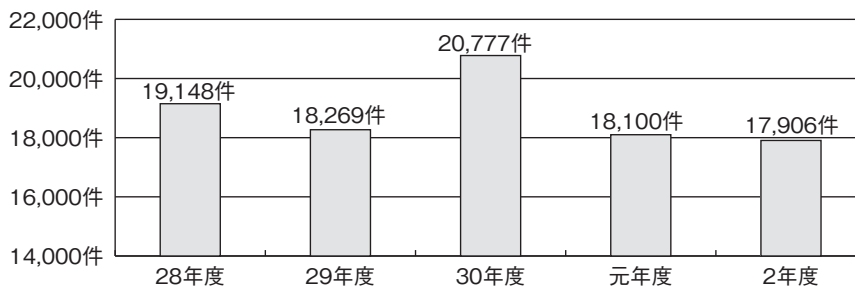
| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------------------------|-------|--------|-------|------|
| 認 知 症 地 域 支 援 推 進 員 | 相談件数 | 1,360件 | 相談件数 | 891件 |

(5) 地域ケア会議推進事業費 740,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|-------|------|-------|-----|
| 地 域 ケ ア 会 議 | 開催数 | 105回 | 開催数 | 88回 |

[指 標]

指 標 名：地域包括支援センター相談受付件数
 指標説明：地域包括支援センターが訪問、来所、電話により相談を受けた件数



4 AIを活用した自立支援促進事業費 780,832円（長寿介護課）

[総括]

要支援・要介護者の自立支援及び重度化の防止、介護保険給付費の適正化を図るとともに、人材不足が深刻な介護業界においてケアマネジャーの業務負担を軽減するため、要支援・要介護者に最適なケアプランを提案するAIの活用促進に努めた。

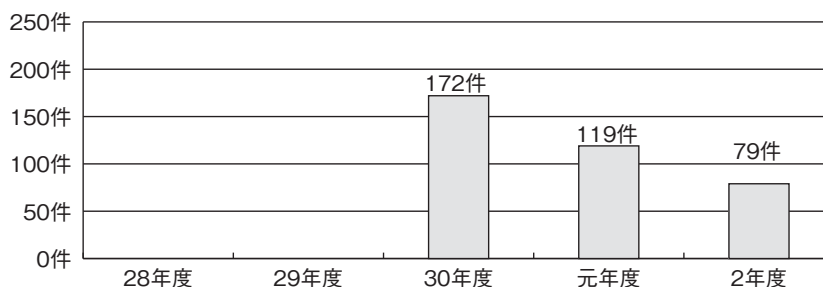
[実績及び成果]

(1) AIを活用した自立支援促進事業費 780,832円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------|-------|-------|
| AIを活用したケアマネジャー数 | 35人 | 29人 |
| 作成したケアプラン数 | 119件 | 79件 |

[指標]

指標名：AIを活用したケアプラン数
 指標説明：ケアマネジャーがAIを活用して作成したケアプラン数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------------|-----------------|----------------|-------------|-------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3項 児 童 福 祉 費 | 24,741,943,751 | 14,650,499,320 | 219,600,000 | 736,188,476 | 9,135,655,955 |
| 2目 切れ目のない子育て支援費 <ライフステージに応じた支援の充実> | 7,505,554,674 | 5,519,863,669 | 0 | 893,100 | 1,984,797,905 |

1 切れ目のない子育て支援事業費 5,841,936 円 (子育て支援課)

[総括]

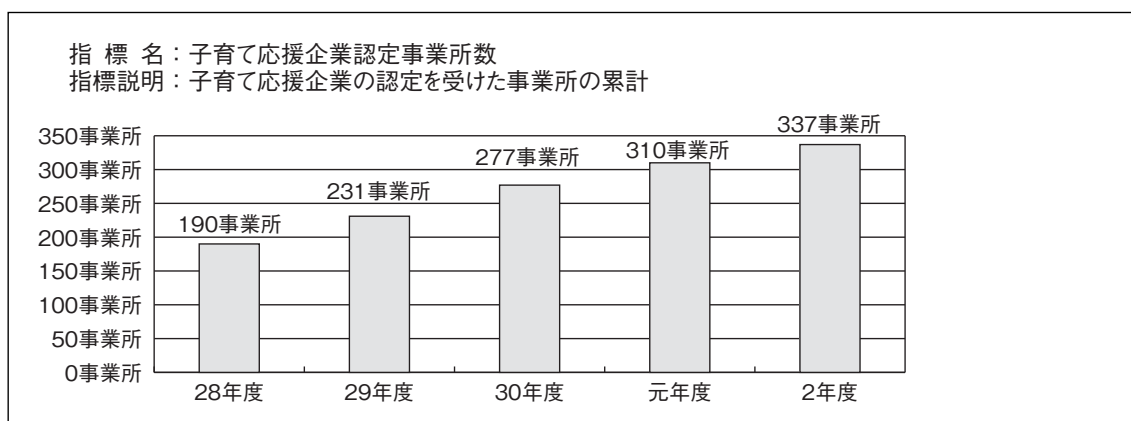
妊娠から出産、育児期までを切れ目なく支援するため、夜間や休日などの児童の一時預かりのほか、子育て支援情報ポータルサイト「育なび」を活用し、情報を発信した。また、子育てを社会全体で応援する「子育て応援宣言」に基づいた取組みの推進をはじめ、子育て支援の取組みを積極的に進める「子育て応援企業」の認定や、少子化対策のため結婚を希望する男女を対象としたセミナーや相談会などを開催した。今後も、第2期子ども・子育て応援プランに基づき、結婚から妊娠・出産・育児期における多様な課題に対応するため、ライフステージに応じたきめ細かい支援に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 切れ目のない子育て支援事業費 5,841,936 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------|--|--|
| 児 童 福 祉 週 間 行 事 | 8施設 311人 | 8施設 319人 |
| 子育て支援ショートステイ事業委託 | 4 延 68 | 4 延 64 |
| 子育て支援ワイルドステイ事業委託 | 3 延 41 | 3 延 22 |
| 子 育 て 情 報 紙 発 行 事 業 | ハンドブック 0～3歳 6,000部 4歳～ 6,000 | ハンドブック 0～3歳 6,000部 4歳～ 6,000 |
| 子育て支援プラットフォーム事業 | 子育て支援情報ポータルサイト 及び母子健康手帳アプリの運営 | 子育て支援情報ポータルサイト 及び母子健康手帳アプリの運営 |
| 子育て応援企業認定・表彰事業 | 認定企業数 153社(310事業所) | 認定企業数 170社(337事業所) |
| 結 婚 支 援 事 業 | 結婚・ライフデザインセミナー開催回数 3回 結婚相談会開催回数 6 婚活サポーター登録者数 58人 親向け、大学生向けセミナーの開催 3回 | 結婚・ライフデザインセミナー開催回数 3回 結婚相談会開催回数 6 婚活サポーター登録者数 49人 親向け、大学生向けセミナーの開催 3回 |
| 子 ど も の 未 来 応 援 事 業 | 子どもの居場所づくり 学生服等リユース事業支援 フードバンク設置支援 自立応援(保育士資格取得支援) | 子どもの居場所づくり 学生服等リユース事業支援 フードバンク設置支援 自立応援(保育士資格取得支援) |

[指 標]



2 児童手当給付事業費 6,182,298,174 円（子育て支援課）

[総 括]

中学校修了前までの児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな育ちの支援を目的として児童手当を支給した。今後も分かりやすい受給者への通知や広報等により制度の周知に努め、手当の適正な支給を行っていく。

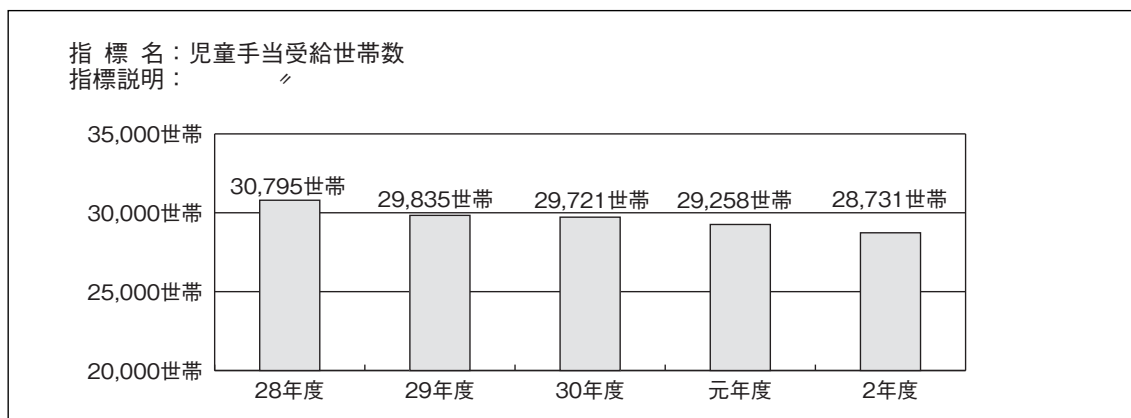
[実績及び成果]

(1) 児童手当給付事業費 6,182,298,174 円

(ア) 手当費 6,174,115,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | | | 令和2年度 | | |
|---------|------------------|-----------------------|----------------|------------------|-----------------------|----------------|
| | 月 額 | 対象児童数 | 支 給 額 | 月 額 | 対象児童数 | 支 給 額 |
| 小学生以下 | 10,000円又は15,000円 | 36,706人 (延431,547) | 5,010,960,000円 | 10,000円又は15,000円 | 35,625人 (延420,087) | 4,873,370,000円 |
| 中 学 生 | 10,000円 | 8,865 (延106,887) | 1,068,870,000 | 10,000円 | 8,854 (延106,454) | 1,064,540,000 |
| 特 例 給 付 | 5,000円 | 4,024 (延 46,151) | 230,755,000 | 5,000円 | 4,024 (延 47,241) | 236,205,000 |
| 計 | — | 49,595 (延584,585) | 6,310,585,000 | — | 48,503 (延573,782) | 6,174,115,000 |

[指 標]



3 子ども医療費助成事業費 1,317,414,564 円（国保年金課・子育て支援課）

[総括]

安心して子育てができる環境づくりの一環として、令和2年10月から、これまでの中学校修了前までの子どもの医療費自己負担額の全額助成に加え、入院費については、対象を18歳到達年度末まで拡充することにより、保護者の経済的な負担を軽減した。今後も、更なる制度の周知に努めるとともに、適正な医療費の助成を行い、子育て環境の一層の充実に努める。

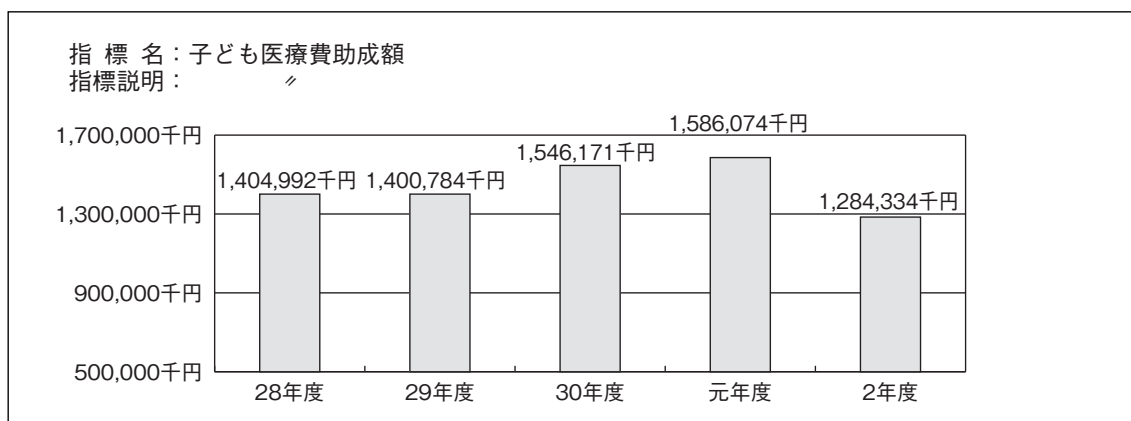
[実績及び成果]

(1) 子ども医療費助成事業費 1,317,414,564 円

(ア) 医療助成費 1,284,333,722 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 対 象 児 童 数 | 延 596,089人 | 延 644,691人 | 8.2% |
| 受 診 件 数 | 延 758,760件 | 延 589,089件 | △22.4 |
| 受 診 率 | 127.3% | 91.4% | △35.9ポイント |

[指 標]



※平成29年12月より中学生通院が半額償還払いから全額現物給付に変更

※令和2年10月より18歳到達年度末までの子どもの入院医療費助成開始

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------|-----------------|-------------|-------|---------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3目 子どもの権利擁護費 <子どもの権利の擁護> | 30,259,918 | 7,442,051 | 0 | 108,350 | 22,709,517 |

1 児童相談事業費 30,259,918円 (こども若者総合相談支援センター)

[総括]

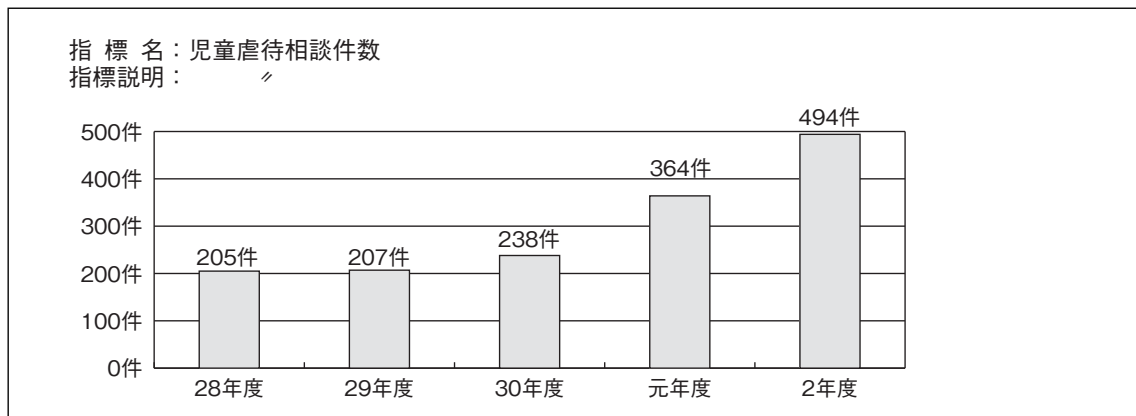
すべての子ども・若者及びその家族を対象に相談・支援を行う拠点として、保護者や関係機関から寄せられる相談への対応や、養育に不安がある家庭への訪問支援を実施するとともに、特に児童虐待については、要保護児童対策ネットワーク協議会を中心に、保健・福祉・医療・教育などの関係機関と連携し、子どもとその保護者などへの支援を行った。令和2年度は、体罰禁止が法定化されたことを受け、子どもの上手な褒め方や叱り方をトレーニングする「怒鳴らん子育て講座」を2回開催するとともに、相談者の負担軽減を図るため、要支援家庭ショートステイ事業を実施することで、育児に不安を持つ子育て家庭に対する支援を拡充した。また、児童相談所設置を含めた児童相談体制を検討するため、有識者会議を4回開催した。今後も関係機関と連携し、一人ひとりの困りごとに寄り添った支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 児童相談支援事業費 30,259,918円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------------|--------|--------|-------|
| 児 童 家 庭 相 談 件 数 | 1,518件 | 1,977件 | 30.2% |
| 養 育 支 援 訪 問 件 数 | 延 260 | 延 327 | 25.8 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------------|-----------------|---------------|-------------|-------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 幼児期教育保育費 <幼児期の教育・保育の充実> | 12,287,739,577 | 6,809,922,714 | 219,600,000 | 419,759,860 | 4,838,457,003 |

1 公立保育所等管理運営事業費 905,215,981 円 (保育課)

[総括]

公立の保育所4園と幼保連携型認定こども園1園で教育・保育の提供を行った。多様化する保育ニーズに応えるため、全園で延長保育、2園で休日保育を実施するとともに、こじかこども園において地域子育て支援センター事業、病児保育事業を実施し、子育て家庭に対する支援を行った。令和2年度は、保育士支援システムを全園に拡張し、保育業務の効率化を推進したほか、個々の子どもに応じた支援を進めるため、翻訳機を導入した。また、空気清浄機や消毒液等を購入し、新型コロナウイルス感染症対策に努め、働く保護者のために開所を継続した。今後も保育所等の利用希望に応えるとともに、多様化する保育ニーズに適応する保育事業の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 264,202,988 円

(ア) 通常保育事業費

[児童数]

| 区 分 | 定 員 | 延定員 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------|------|--------|-------------|-------------|--------|
| 津 田 保 育 園 | 120人 | 1,440人 | 児童数 延1,393人 | 児童数 延1,350人 | △ 3.1% |
| 新 吉 〃 | 80 | 960 | 832 | 817 | △ 1.8 |
| 牛川東 〃 | 170 | 2,040 | 1,988 | 1,907 | △ 4.1 |
| くるみ 〃 | 140 | 1,680 | 1,708 | 1,700 | △ 0.5 |
| こじかこども園 | 165 | 1,980 | 1,931 | 1,964 | 1.7 |
| 計 | 675 | 8,100 | 7,852 | 7,738 | △ 1.5 |

[特別支援保育事業]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-------|-------|-------|
| 施 設 数 | 4園 | 4園 | 0.0% |
| 利 用 人 員 | 48人 | 43人 | △10.4 |

[施設整備費]

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---|---|
| | 2階幼児用シャワー室修繕(牛川東) 正門・東門扉取替・電気錠設置(くるみ) 硝子シート張替修繕(新吉) | 厨房用エアコン設置(津田、新吉、くるみ) 開閉式遮光メッシュシート設置(津田) 遊具・保育室等補修・塗装修繕(牛川東) |

(イ) 延長保育事業費

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|----------|----------|-------|
| 施 設 数 | 5園 | 5園 | 0.0% |
| 利 用 人 員 | 延 1,684人 | 延 1,435人 | △14.8 |

(ウ) 一時預かり事業費

[一般型]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|----------|--------|---------|
| 施 設 数 | 2施設 | 1施設 | △ 50.0% |
| 利 用 人 員 | 延 1,340人 | 延 785人 | △ 41.4 |

※令和元年度はこども未来館一時預かりルーム「たんぽぽ」を含む。令和2年度は「たんぽぽ」をこども未来館に移管

[幼稚園型]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-------|--------|------|
| 施 設 数 | 1園 | 1園 | 0.0% |
| 利 用 人 員 | 延 66人 | 延 339人 | 5.1倍 |

(エ) 子育て支援事業費

| 施 設 数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------|-------|-------|------|
| | 5園 | 5園 | 0.0% |

(オ) 地域子育て支援センター事業費

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|----------|----------|-------|
| 施 設 数 | 1園 | 1園 | 0.0% |
| 利 用 組 数 | 延 3,907組 | 延 2,371組 | △39.3 |

(カ) 休日保育事業費

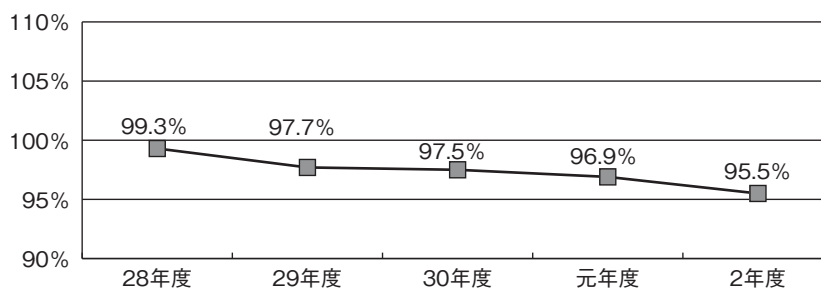
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|--------|--------|------|
| 施 設 数 | 2園 | 2園 | 0.0% |
| 利 用 人 員 | 延 409人 | 延 415人 | 1.5 |

(キ) 病児保育事業費

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-------|-------|-------|
| 施 設 数 | 1園 | 1園 | 0.0% |
| 利 用 人 員 | 延 88人 | 延 16人 | △81.8 |

[指 標]

指 標 名：公立保育所等児童数充足率
 指標説明：延利用児童数／延定員



2 子ども・子育て給付事業費 8,398,386,612 円（保育課）

[総括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、保育所、認定こども園、幼稚園に対する施設型給付費等の給付を実施し、教育・保育の提供を行った。また、国が実施する幼児教育・保育の無償化に加えて、市独自の保育料等の軽減を行うことで、子育て世帯への経済的支援を拡充した。令和2年度は、「豊橋市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、幼稚園から1園が幼保連携型認定こども園へ移行した。また、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中、登園自粛した児童に対し、昼食費支援特別給付金を支給するなど新型コロナウイルス感染症対策に努めた。

今後も、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを支えるために、幼児期の教育・保育サービスを安定的に提供し、子どもの発達段階に応じて必要な時期に質の高い教育・保育を受けられる環境を整えるよう努める。

[実績及び成果]

(1) 子ども・子育て給付事業費 8,398,386,612 円

(ア) 保育所運営委託料 4,156,789,240 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------|---------------|---------------|--------|
| 保育所 児童数 | 39園 延 69,862人 | 37園 延 64,093人 | △ 8.3% |
| 〃（広域利用） 〃 | 4 延 19 | 4 延 21 | — |

(イ) 施設型給付費 3,409,226,431 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|------------|---------------|---------------|-------|
| 認定こども園 児童数 | 18園 延 41,457人 | 21園 延 47,633人 | 14.9% |
| 〃（広域利用） 〃 | 6 延 34 | 8 延 54 | — |
| 幼稚園 〃 | — | 1 延 1,594 | 皆増 |
| 〃（広域利用） 〃 | — | 2 延 4 | — |

(ウ) 子育てのための施設等利用給付費 799,430,125 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|----------|---------------|---------------|-------|
| 幼稚園 児童数 | 28園 延 18,115人 | 24園 延 29,665人 | 63.8% |
| 届出保育施設 〃 | 15 延 970 | 17 延 1,950 | 2.0倍 |

(エ) 私立幼稚園副食費補足給付補助金 10,491,816 円

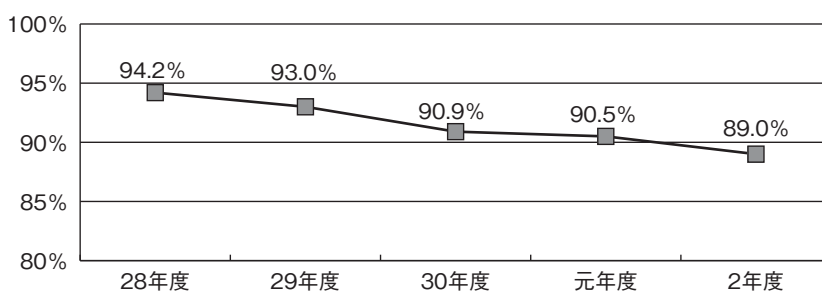
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|--------------|--------------|-------|
| 幼稚園 児童数 | 22園 延 2,762人 | 20園 延 4,294人 | 55.5% |

(オ) 昼食費支援特別給付金 22,449,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|----------|-------|------------|-----|
| 保育所 児童数 | — | 41園 1,614人 | 皆増 |
| 認定こども園 〃 | — | 22 957 | 皆増 |
| 幼稚園 〃 | — | 20 636 | 皆増 |

[指標]

指標名：法人保育所等児童数充足率
 指標説明：延利用児童数／延定員



※施設型給付を行う認定こども園及び幼稚園を含む

3 法人保育所・認定こども園運営支援事業費 2,909,234,094 円（保育課）

[総括]

令和2年度は、老朽化した園舎の大規模改修・増改築を行う3園及び幼稚園から認定こども園へ移行するための増改築を行う1園に対して整備費の助成を行った。また、認定こども園及び認定こども園への移行予定の園に勤める保育教諭・幼稚園教諭を対象とした幼稚園教諭免許状更新講習を実施した。さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、感染予防にかかる緊急的な安全対策に必要な経費に対する助成を行った。今後も、教育・保育内容の充実及び施設の運営改善を図るとともに、良好な教育・保育環境を整備し、将来を担う子どもの健全な育成を促進するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所・認定こども園通常保育事業費 1,860,846,094 円

(ア) 法人保育所・認定こども園運営費補助金 1,815,814,916 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------------------------|-------|----------------|-------|----------------|
| | 園数 | 金額 | 園数 | 金額 |
| 人件費（特別支援保育含む） | 56園 | 1,527,329,769円 | 58園 | 1,651,528,668円 |
| 管理費（特別支援保育含む） | 47 | 16,052,000 | 47 | 16,401,000 |
| 施設補修工事費 | 6 | 30,939,000 | 6 | 24,945,000 |
| 元利償還金 | 7 | 13,892,600 | 5 | 9,173,150 |
| 土地賃借料 | 17 | 30,008,911 | 17 | 29,906,883 |
| 職員研修事業費 | 57 | 3,200,000 | 58 | 3,200,000 |
| 資格取得支援事業費 | 4 | 201,000 | 0 | 0 |
| 保育体制強化事業費 | 20 | 16,426,876 | 18 | 20,028,215 |
| ※新型コロナウイルス感染症対策環境整備費（安全対策事業費） | 36 | 7,434,000 | 83 | 58,221,000 |
| 保育士支援システム導入費補助金 | — | — | 3 | 2,179,000 |
| 翻訳機等導入費補助金 | — | — | 3 | 232,000 |
| 計 | — | 1,645,484,156 | — | 1,815,814,916 |

※新型コロナウイルス感染症対策環境整備費については、届出保育施設への補助金を含む

（令和元年度：10施設分 1,290,000円、令和2年度：25施設分 9,743,000円）

(イ) 副食費給付費 44,536,725 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|--------------|--------------|-------|
| 保育所 児童数 | 39園 延 3,122人 | 37園 延 5,856人 | 87.6% |
| 認定こども園 | 19 延 1,809 | 22 延 4,098 | 2.3倍 |
| 幼稚園 | — | 1 延 159 | 皆増 |

※広域利用を含む

(ウ) 幼稚園教諭免許状更新講習事業費等 494,453 円

| 受 講 者 数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-------|-------|--------|
| | 43人 | 39人 | △ 9.3% |

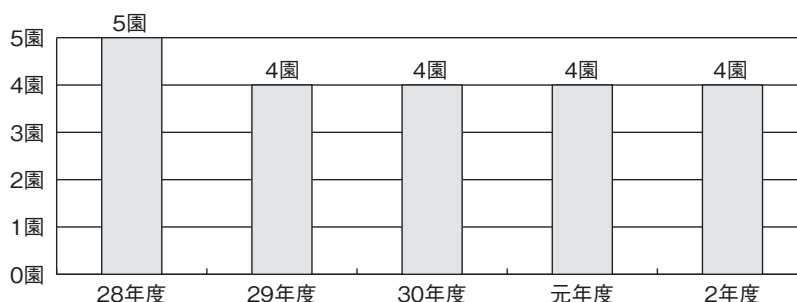
(2) 法人保育所・認定こども園整備費補助金 1,048,388,000 円

(ア) 建設費 1,048,388,000 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|---|
| | 飽海保育園 増改築 定員 65人 鉄骨造 2階建 塩満保育園 大規模改修 定員200人 鉄筋コンクリート造 3階建 昭和保育園 大規模改修 (30年度～令和元年度 2 か年事業) 定員220人 鉄筋コンクリート造 3階建 悟真寺幼稚園 認定こども園新設 園舎改築 定員215人 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 2階建 | 東山保育園 大規模改修・一部増築 定員190人 鉄筋コンクリート造 2階建・木造 1階建 松葉保育園 大規模改修・一部増築 定員115人 鉄筋コンクリート・鉄骨造 2階建 認定こども園円通寺保育園 増改築 定員195人 鉄筋コンクリート造 2階建 こぼと幼稚園 認定こども園新設 園舎増改築 定員240人 鉄骨造 3階建 |

[指 標]

指 標 名：法人保育所・認定こども園大規模改修等実施園数
 指標説明：〃



4 私立幼稚園運営事業費 31,139,716 円 (保育課)

[総 括]

私立幼稚園運営費補助金について、施設の補修費のほか幼稚園における教育環境の向上を図るため、園庭遊具や教材の購入費等の助成を行った。また、園児の健康維持を図るため、園児の健康診断に対する助成を行った。今後も保育所・認定こども園と併せ、幼稚園の子育てに関する専門的機能の活用と幼児教育環境の向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 私立幼稚園運営費補助金 31,139,716 円

[私立幼稚園運営費補助金]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-------------|-------------|--------|
| 施 設 数 | 21園 | 20園 | △ 4.8% |
| 利 用 人 員 | 2,745人 | 2,481人 | △ 9.6 |
| 補 助 額 | 23,333,250円 | 22,010,634円 | △ 5.7 |

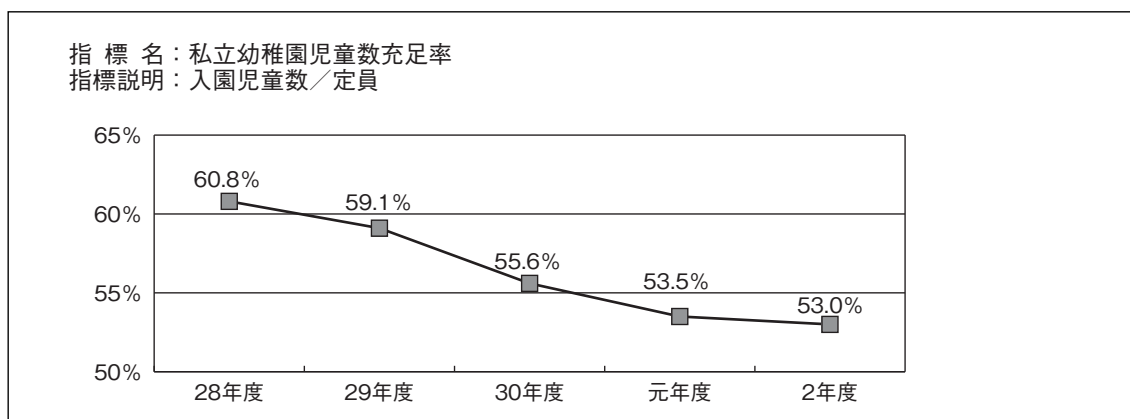
[園児健康診断補助金]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|------------|------------|--------|
| 施 設 数 | 19園 | 17園 | △10.5% |
| 実 施 人 員 | 内 科 | 2,314人 | △10.6 |
| | 歯 科 | 2,215 | △14.6 |
| 補 助 額 | 2,526,490円 | 2,209,767円 | △12.5 |

[副食費補助金]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|------------|------------|--------|
| 施 設 数 | 21園 | 19園 | △ 9.5% |
| 利 用 人 員 | 1,635人 | 2,699人 | 65.1 |
| 補 助 額 | 3,702,870円 | 6,919,315円 | 86.9 |

[指 標]



5 保育総合支援事業費 21,560,899 円（保育課）

[総 括]

仕事と子育てが両立しやすい環境づくりに取り組むため、待機児童対策の一環として、保育コンシェルジュが、新たに、こども未来館や交通児童館などでの出張相談を行うなど、保育園等に入園する前から入園に至るまでの保護者への継続的な支援の充実に取り組んだ。

また、保育士・保育所支援窓口においては、専任の法人保育所園長職経験者を配置し、SNSを用いた広報活動の拡大や、愛知県との就職支援研修会の共同実施などにより、就労希望者と保育所等のマッチングを図った。

今後も女性の就労増加に伴い、保育ニーズの増加が見込まれるため、保護者に対する両立支援体制の充実を図るとともに、保育士資格を有する未就労者への就労支援を強化していく。

[実績及び成果]

(1) 利用者支援事業費 3,409,565 円

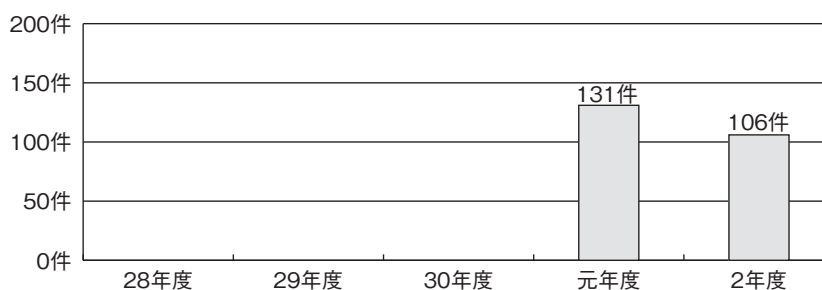
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|------------------------------|-------|-------|-------|
| 保育コンシェルジュが対応した 保護者からの相談件数 | 579件 | 676件 | 16.8% |

(2) 子育て環境総合支援事業費 18,151,334 円

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|------------------|-------|-------|--------|
| 支援窓口における 求職者数 | 215件 | 186件 | △13.5% |

[指 標]

指 標 名：支援窓口における就労マッチング数
 指標説明：
 //



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5目 地域子育て支援費 <地域における子育て支援の充実> | 663,735,324 | 352,333,600 | 0 | 8,116,800 | 303,284,924 |

1 交通児童館運営事業費 31,084,928円 (こども未来館)

[総括]

指定管理者による安全・安心な施設運営のもと、コロナ禍においても子どもたちが楽しめる独自の企画や行事を行うことで、下半期は例年と同程度の利用者数を維持することができた。また、中高生向けプログラムや情報発信を積極的に行い、中高生の利用促進に繋げることができた。今後も乳幼児から中高生まで幅広い年齢層に利用され、健康でゆたかな情操を育む魅力ある遊び場となるよう、行事や施設の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 31,084,928円

[施設利用者]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|--------------|---------------|
| 開 館 日 数 | 316日 | 279日 |
| 個 人 利 用 者 | 延 235,575人 | 延 165,454人 |
| 団 体 利 用 者 | 92団体 延 2,725 | 105団体 延 2,215 |
| 計 | 延 238,300 | 延 167,669 |

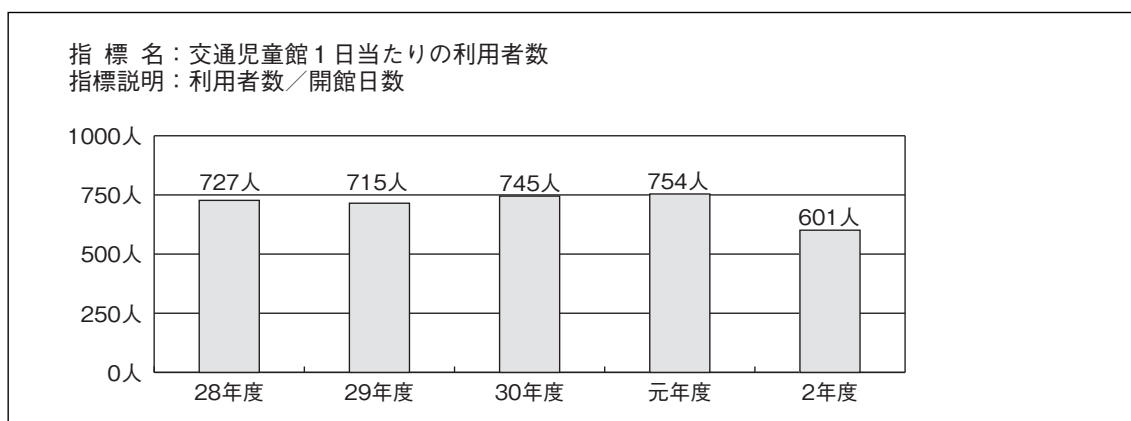
[遊具利用者]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------|-----------|-----------|
| バ ッ テ リ ー カ ー | 延 26,285人 | 延 16,160人 |
| 自 転 車 | 延 29,638 | 延 13,714 |
| 一 輪 車 | 延 3,066 | 延 1,349 |

[行事参加者]

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | 実施回数 | 延参加者数 | 実施回数 | 延参加者数 |
| お や こ の 広 場 | 11回 | 403人 | 8回 | 270人 |
| リトミックあそび | 11 | 200 | 8 | 95 |
| おやこ造形あそび | 11 | 205 | 8 | 81 |
| 親子ふれあい体操 | 11 | 154 | 8 | 63 |
| めざせ!わっぱなし | 10 | 108 | 7 | 73 |
| 運 動 あ そ び | 22 | 748 | 16 | 323 |
| 交 通 安 全 教 室 | 35 | 1,683 | 26 | 1,209 |
| つ ど い の 広 場 | 140 | 7,379 | 126 | 6,486 |

[指標]



2 こども未来館管理運営事業費 238,562,220 円（こども未来館）

[総括]

子どもを中心として様々な世代の人々がふれあう場及び機会を提供し、子どもの健やかな成長及び市民の交流を目的に、多彩なイベントを開催しており、行政が子育てプラザの運営と市民協働の推進、指定管理者が体験・発見プラザと集いプラザの運営及び施設全体の維持管理と特性を活かした効率的な運営を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら施設運営や様々なイベントを実施したほか、子育て支援の拠点施設として一時預かりを子育てプラザの事業として実施するとともに、地域の子育て支援機能との連携を強化し、相談支援体制の充実を図った。

今後も引き続き、地域と連携したイベントの企画・実施及び市民協働による運営を推進するとともに、新たな利用者及びリピーターの確保に努めていく。

[実績及び成果]

[主なイベント開催状況]

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|---|
| | 「つながるーぶ」であそんでアートしよう! おやさいつくり隊 eスポーツの世界 おはなしおばさんのゆかいな世界展 ここにおばけ学校 来館者延べ700万人イベント ここにこ社会見学 ここにこ宇宙展～東三河から宇宙へ!～ こども未来館相撲大会 | ここにこ芝生シアター～星空映画会～ ここにこ人形劇 BRIO展～BRIOで遊ぼう～ ここにこ こども夜店 もくもくひろば おかし研究所 大野萌葉美作品展 ダンボール女子の世界 ミニブーケ作りに挑戦しよう 第13回ここにこ手づくり市 |

(1) 施設管理事業費 139,877,135 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 | |
|----------|----------|----------|---------|-------|
| 開 館 日 数 | 318日 | 283日 | △11.0% | |
| 延利用者数 | 子育てプラザ | 132,066人 | 73,041人 | △44.7 |
| | 体験・発見プラザ | 266,409 | 114,825 | △56.9 |
| | 集いプラザ | 219,048 | 66,907 | △69.5 |
| | 計 | 617,523 | 254,773 | △58.7 |
| 1日平均利用者数 | 1,942 | 900 | △53.7 | |

※子育てプラザは、令和元年度は314日、令和2年度は276日の開館

(2) 子育てプラザ活動事業費 33,691,949 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 子育てプラザ開催講座 | 66回 | 参加者 延 1,367人 | 50回 | 参加者 延 844人 |
| 子育てサポーター養成講座 | 10 | 参加者 238 | 3 | 参加者 59 |
| チャイルドサポートプラン説明会 | 76 | 参加者 650 | 72 | 参加者 417 |
| ここにこサークル | 38か所 | 参加者 延 8,943 | 38か所 | 参加者 延 1,997 |
| 一時預かり事業 | — | | 利用人員 延 629 | |
| 妊娠・出産・子育て総合相談窓口 | 651 | | 494 | |
| 母子健康手帳の交付 | 559 563冊 | | 554 555冊 | |

※一時預かり事業は、令和2年度に保育課より移管

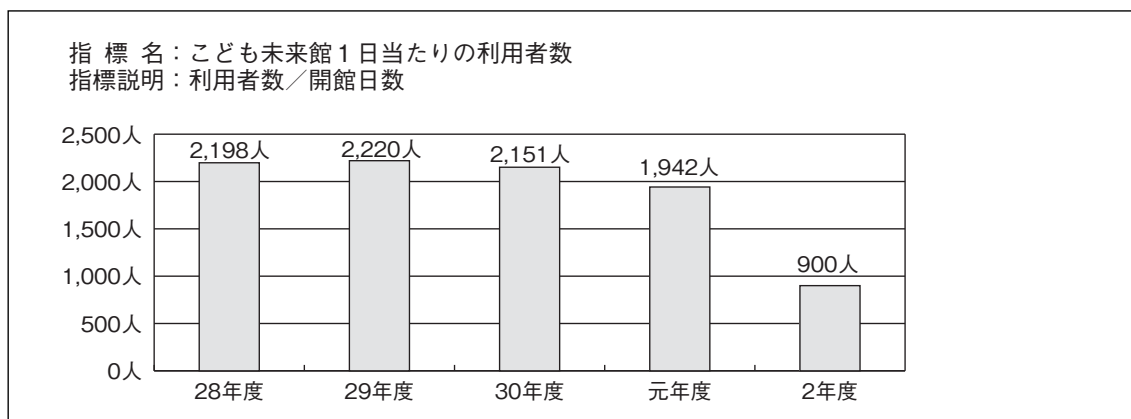
(3) 体験・発見プラザ活動事業費 2,154,421 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|----------|--------|------------|--------|----------|
| 体験セット貸出数 | 155セット | 97,666件 | 141セット | 34,306件 |
| 体験プログラム | 121回 | 参加者 2,030人 | 74回 | 参加者 716人 |

(4) 企画活動事業費 3,428,599 円

| 実行委員会開催イベント | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|-------|-------------|-------|-------------|
| | 17回 | 参加者 25,243人 | 15回 | 参加者 15,896人 |

[指 標]



3 ミラまちこども館管理運営事業費 6,894,728 円 (こども未来館・保育課)

[総 括]

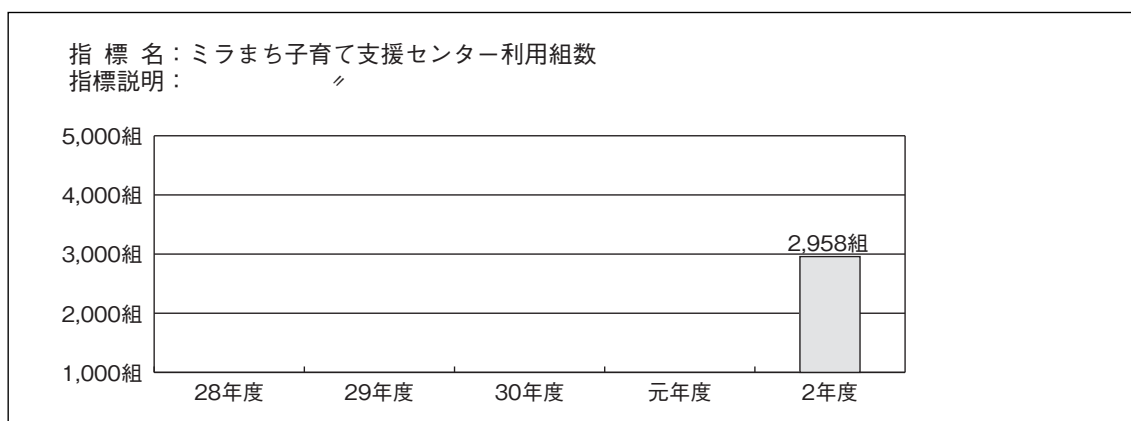
本市の子育て施策の充実を図るため、地域子育て支援センターと児童クラブの機能を併せ持つ「ミラまちこども館」を令和2年度に開設した。ミラまち子育て支援センターでは、子育て親子が気軽にかつ自由に交流できる場を提供するとともに、育児相談や親子講座などを開催し、子育てに不安や悩みを持つ家庭に対する支援を行った。今後も地域や関係機関と連携を進め、施設の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 地域子育て支援センター事業費 6,714,671 円

| ミラまち子育て支援センター利用組数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------------------|-------|----------|-----|
| | — | 延 2,958組 | 皆増 |

[指標]



4 児童育成事業費 55,898,534 円（子育て支援課・こども未来館）

[総括]

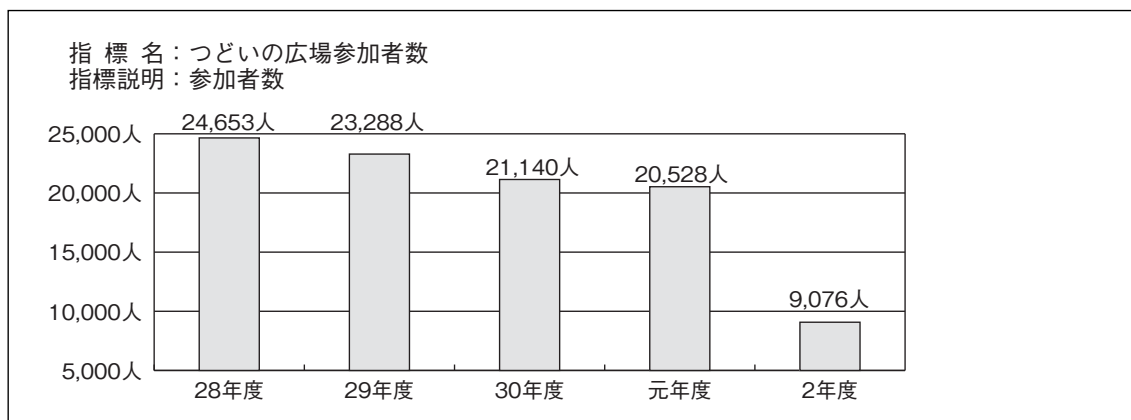
核家族化や共働きなどにより子育てに不安や負担を抱える家庭を支援するため、つどいの広場の開催やファミリーサポートセンター事業を実施したほか、親子のふれあいの充実をめざした幼児ふれあい教室や父親参加型のパパママ子育て講座を開催した。また、ひとり親世帯等や多子世帯を対象にファミリーサポートセンター利用料の助成を行ったほか、新たに多胎児世帯を対象とした補助制度を創設し、支援を拡充した。今後も子育てしやすい環境づくりのため、多様な子育てニーズに対応できるよう、各事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 児童育成事業費 55,898,534 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------------|---------|-------------|---------|-------------|
| つどいの広場開催委託 | 3か所423回 | 参加者延20,528人 | 3か所374回 | 参加者延 9,076人 |
| ファミリーサポートセンター事業 | 会員数 | 2,077 | 会員数 | 2,047 |
| | 活動回数 | 4,955回 | 活動回数 | 4,265回 |
| 幼児ふれあい教室開催事業 | 31講座 | 参加者 3,136人 | 20講座 | 参加者 1,838人 |
| パパママ子育て講座開催事業 | 5 | 参加者 212 | 3 | 参加者 114 |
| 赤ちゃんの駅登録施設数 | 245施設 | | 261施設 | |

[指標]



5 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 92,607,176 円（こども未来館・保育課）

[総括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、核家族化、就労形態の多様化、共働き家庭の一般化などによる様々な子育てニーズに応えるため、令和元年度から開始した幼稚園における2歳児の一時預かり事業を始め、延長保育事業や地域子育て支援拠点事業等の様々な子育て支援策を実施した。今後も地域の実情に応じ、多様な子育てニーズを的確に把握し、児童の健やかな成長のため、教育・保育施設等が持つ専門的機能を活用した子育て支援事業の拡充に努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 92,607,176 円

(ア) 延長保育事業費補助金 5,305,000 円

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|-----------|----------|-------|
| 施設数 | 13園 | 12園 | △7.7% |
| 利用人員 | 延 10,160人 | 延 8,376人 | △17.6 |

(イ) 一時預かり事業費補助金 40,434,830 円

[一般型]

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|----------|----------|-------|
| 施設数 | 3園 | 3園 | 0.0% |
| 利用人員 | 延 1,773人 | 延 1,448人 | △18.3 |

[幼稚園型]

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|-----------|-----------|------|
| 施設数 | 19園 | 20園 | 5.3% |
| 利用人員 | 延 10,604人 | 延 17,462人 | 64.7 |

(ウ) 地域子育て支援センター事業委託料 34,608,000 円

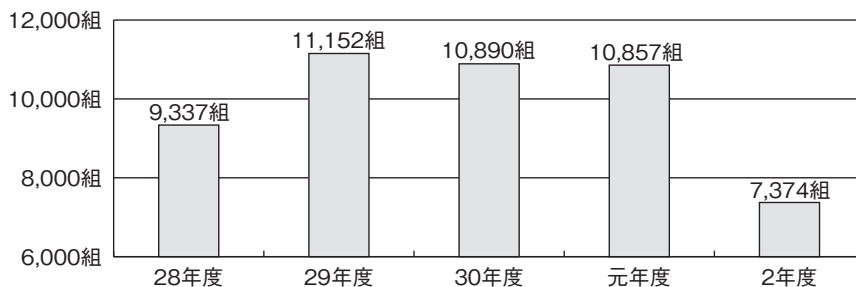
| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|-----------|----------|-------|
| 施設数 | 4施設 | 4施設 | 0.0% |
| 利用組数 | 延 10,857組 | 延 7,374組 | △32.1 |

(エ) 病児保育事業委託料 12,259,346 円

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較 |
|------|--------|-------|-------|
| 施設数 | 2施設 | 2施設 | 0.0% |
| 利用人員 | 延 464人 | 延 80人 | △82.8 |

[指標]

指標名：地域子育て支援センター利用組数
 指標説明：〃



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------|-----------------|-------------|-------|------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 6目 放課後児童対策費 <放課後児童対策の充実> | 839,432,448 | 530,088,000 | 0 | 99,464,850 | 209,879,598 |

1 放課後児童対策事業費 839,432,448円 (生涯学習課)

[総括]

放課後児童クラブの利用者ニーズに応えるため、公営児童クラブを新たに2か所増設したほか、民営児童クラブ2か所の増設に対する支援を行うとともに、夏休み期間の利用に限定した児童クラブを1か所開設した。また、新たに障害児受入強化推進事業補助金の交付を行い、民営児童クラブへの運営支援の拡充を図った。放課後子ども教室では、地域スタッフの協力を得ながら、地域の実情に合わせた運営を行った。今後も学校や地域との連携を図りながら、放課後児童対策の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 公営児童クラブ運営事業費 397,804,924円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 事 業 費 | 53クラブ | 351,491,937円 | 55クラブ | 397,804,924円 |
| 年 間 利 用 者 数 | 延19,101人 | | 延18,916人 | |

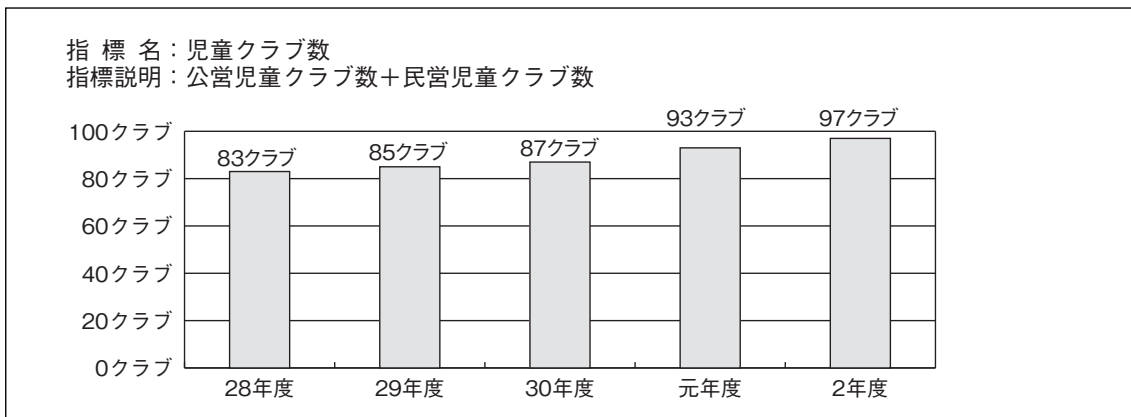
(2) 民営児童クラブ運営事業費 431,604,288円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------------|--------|--------------|--------|--------------|
| 民営児童クラブ運営費補助金 | 40クラブ | 339,115,000円 | 42クラブ | 420,347,600円 |
| 民営児童クラブ施設整備費補助金 | 1 | 18,101,000 | 1 | 100,000 |
| 民営児童クラブ利用料助成費 | 延 585人 | 9,508,250 | 延 657人 | 10,256,688 |
| 児童福祉施設等職員応援金 | — | | 180 | 900,000 |

(3) 放課後子ども教室運営事業費 10,023,236円

| 内 容 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----|--------|--|-------|--------|
| | 6教室の開設 | | | 6教室の開設 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------|-------|--------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 7目 ひとり親家庭等支援費 <ひとり親家庭等の自立支援> | 1,833,810,564 | 911,344,529 | 0 | 96,600 | 922,369,435 |

1 ひとり親家庭等支援事業費 1,619,488,290円 (子育て支援課)

[総括]

援護の必要な母子家庭について施設入所など必要な措置を行うとともに、ひとり親家庭の就業支援のため、知識及び技能の習得に対し支援を行ったほか、ひとり親家庭等への経済的支援のため、国の制度である児童扶養手当や市の制度である母子父子福祉手当を年6回支給した。また、新型コロナウイルス感染症の影響による負担の軽減のため、ひとり親世帯臨時特別給付金を支給したほか、母子生活支援施設における感染症拡大防止対策への支援を行った。今後も支援を必要とするひとり親家庭等の生活の安定を図り、自立に向けた支援の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) ひとり親家庭等自立支援事業費 32,180,635円

(ア) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業費 21,339,000円

| 支給人数 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------|-------|-----|-------|-----|
| | 延人数 | 支給額 | 延人数 | 支給額 |
| | 14人 | | 17人 | |

(2) 児童扶養手当給付事業費 1,110,821,876円

(ア) 手当費 1,108,902,130円

| 区分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|--------|---------|---------------|---------|---------------|
| | 延人数 | 支給額 | 延人数 | 支給額 |
| 全部支給 | 20,296人 | 868,626,680円 | 15,071人 | 650,283,700円 |
| 一部支給 | 15,394 | 441,552,790 | 11,834 | 339,778,580 |
| 加算額 | | | | |
| 2子加算 | 13,665 | 129,295,690 | 10,490 | 99,513,330 |
| 3子以降加算 | 3,889 | 22,722,620 | 3,277 | 19,326,520 |
| 計 | — | 1,462,197,780 | — | 1,108,902,130 |

(3) 母子父子福祉手当給付事業費 46,538,741円

(ア) 手当費 46,237,300円

| 対象児童数 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|--|--------|--|--------|
| | 支給開始 1～3年目 月額2,300円 4～5年目 月額1,200円 | 2,023人 | 支給開始 1～3年目 月額2,300円 4～5年目 月額1,200円 | 1,936人 |
| | | | | |

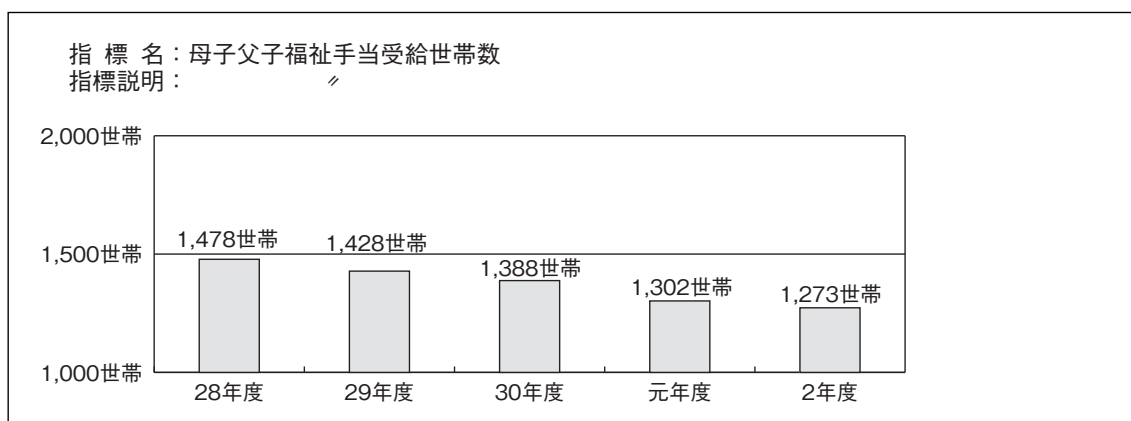
(4) 母子生活支援施設入所事業費 24,926,547円

| 利用世帯数 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|------------|--|------------|--|
| | 6施設 延 59世帯 | | 7施設 延 69世帯 | |
| | | | | |

(5) 助産施設入所事業費 953,440円

| 利用人数 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------|-------|--|-------|--|
| | 4人 | | 3人 | |
| | | | | |

[指 標]



2 母子父子家庭等医療費助成事業費 214,322,274 円（国保年金課・子育て支援課）

[総 括]

18歳に達した日の属する年度の末日までの子どもを扶養しているひとり親家庭の医療費について、保険診療分の自己負担額を助成することにより、経済的な負担の軽減及び生活の安定に寄与した。今後も適正な医療費の助成を行い、ひとり親家庭に対する福祉の向上を図る。

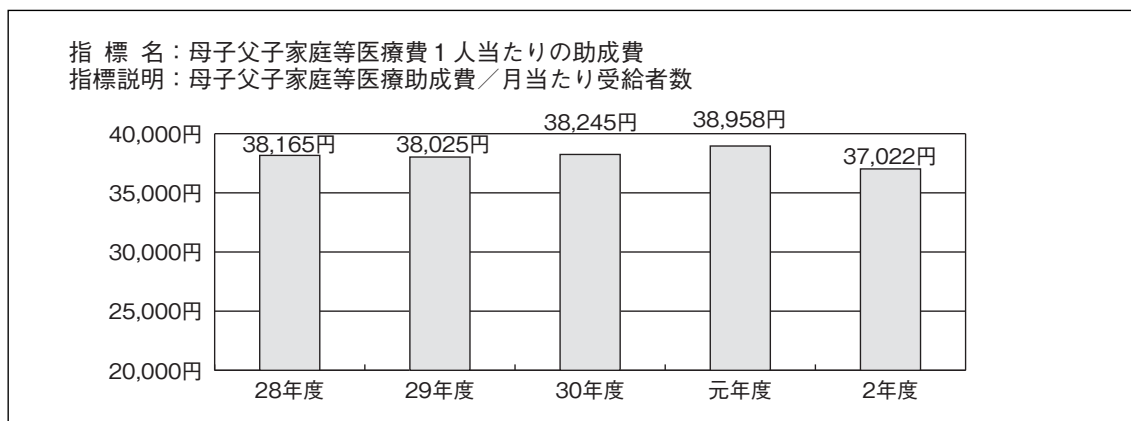
[実績及び成果]

(1) 母子父子家庭等医療費助成事業費 214,322,274 円

(ア) 医療助成費 211,284,877 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 受 給 者 数 | 延 72,675人 | 延 68,478人 | △ 5.8% |
| 受 診 件 数 | 延 83,315件 | 延 71,775件 | △13.9 |
| 受 診 率 | 114.6% | 104.8% | △ 9.8ポイント |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-------|-------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 8日 療 育 支 援 費 <療育支援の推進> | 606,821,851 | 5,897,000 | 0 | 205,423,916 | 395,500,935 |

1 高山学園運営事業費 153,755,549円 (保育課)

[総括]

児童発達支援センターとして、心身の発達促進と障害の軽減のための療育を実施するとともに、保護者への養育援助を行った。令和2年度は、感覚運動器具を購入し、児童の療育環境の向上を図るとともに、除菌ボックス等を購入し、新型コロナウイルス感染症対策に努めた。今後も良好な環境のもとで児童の成長を促すよう療育体制の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 33,836,224円

[児童数]

| 通 園 児 童 数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------|-------|--------|--------|
| | | 延 466人 | 延 475人 |

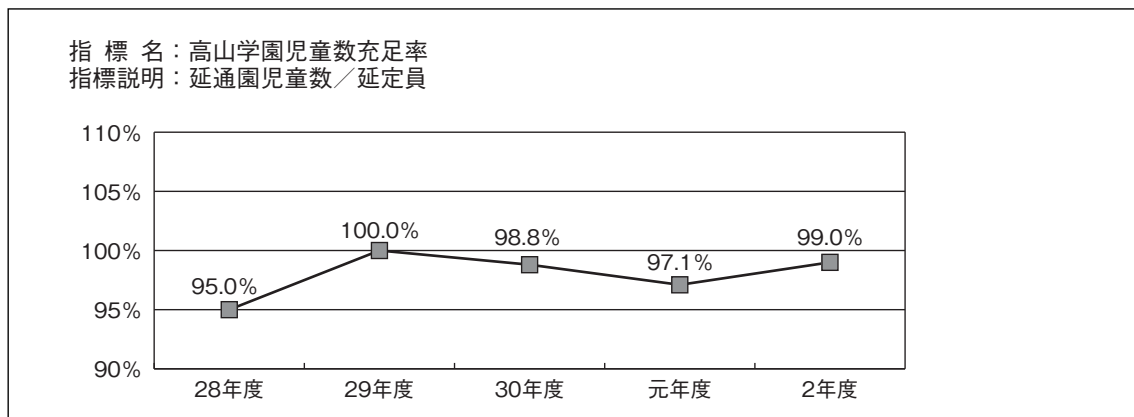
[相談支援数]

| 相 談 支 援 数 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------|-------|--------|--------|
| | | 延 296人 | 延 248人 |

[施設整備費]

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|-------------------------|
| | | 園庭南側ネットフェンス取替 門扉塗装修繕 |

[指 標]



2 こども発達センター管理運営事業費 453,066,302円 (こども発達センター)

[総括]

児童精神科医師をはじめとした専門スタッフを配置し、相談・診療・通園の各種事業を実施した。令和2年度から相談が多いことばの遅れについて早期に対応できるよう相談部門に言語聴覚士を配置し、相談部門の充実を図った。また、講演会・研修会を実施するなど、障害児支援につながる取組みを行った。今後も、保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携しながら、総合的な療育支援を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 129,479,444 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|------------|----------|----------|--------|
| 開 館 日 数 | 248日 | 246日 | △ 0.8% |
| 相 談 件 数 | 延 1,457件 | 延 1,572件 | 7.9 |
| 診 療・リハビリ人数 | 延19,621人 | 延19,138人 | △ 2.5 |
| 通園事業利用者数 | 5,765 | 5,131 | △11.0 |

(2) 相談事業費 23,661,940 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------|----------------|--------------|
| 障害児等療育支援事業 | 3 施設 延1,729件 | 3 施設 延1,336件 |
| 講演会・研修会 | 49件 参加者 1,430人 | 37件 参加者 790人 |
| プレイルーム支援事業 | 延5,690 | 延2,501 |

(3) 診療事業費 108,670,619 円

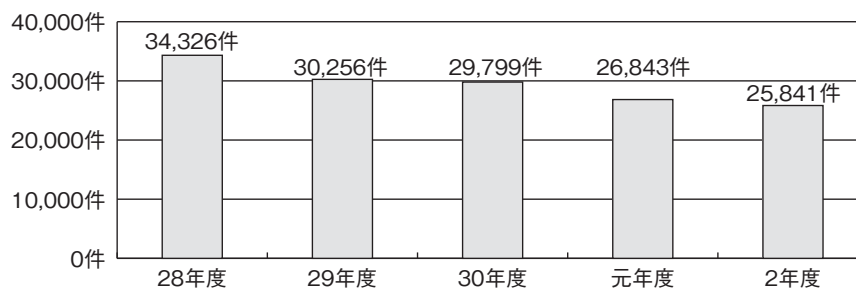
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|----------------|---------|---------|-------|
| 小 児 科 | 延2,713人 | 延2,780人 | 2.5% |
| 児 童 精 神 科 | 6,493 | 6,528 | 0.5 |
| 整形外科（水曜日） | 438 | 425 | △ 3.0 |
| 耳鼻いんこう科（火・金曜日） | 814 | 692 | △15.0 |
| 歯 科（木曜日午前） | 641 | 599 | △ 6.6 |
| リハビリテーション | 8,522 | 8,114 | △ 4.8 |

(4) 通園事業費 32,120,406 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|--------------------|---------|---------|--------|
| 外来グループ療育事業 | 延5,179人 | 延4,201人 | △18.9% |
| 重症心身障害児通園事業 | 153 | 643 | 4.2倍 |
| 居宅訪問型児童発達支援事業 | 31 | 36 | 16.1% |
| 重症心身障害児(者)日中一時支援事業 | 402 | 251 | △37.6 |

[指 標]

指 標 名：こども発達センター利用件数
 指標説明：相談件数＋診療・リハビリ人数＋通園事業利用者数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 9目 青少年健全育成費 ＜子ども・若者の健全育成活動の推進＞ | 11,605,820 | 0 | 0 | 0 | 11,605,820 |

1 子ども・若者健全育成事業費 3,487,460円 (子育て支援課・子ども若者総合相談支援センター)

[総括]

青少年の非行・被害防止に取り組む市民運動をはじめとした啓発活動や、各小中学校区青少年健全育成会への支援を通じ、小中学生への健全育成活動を積極的に実施した。今後も青少年健全育成のつどいや明るい家庭づくり推進大会の開催のほか、青少年だより「ちぎりの子ども」を発行し、地域で活躍する青少年や青少年育成団体の紹介を行うなど健全育成に対する意識啓発を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 子ども・若者育成事業費 827,460円

(ア) 青少年問題協議会委員 81,000円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------|-------|-------|
| 青少年問題協議会開催数 | 1回 | 1回 |

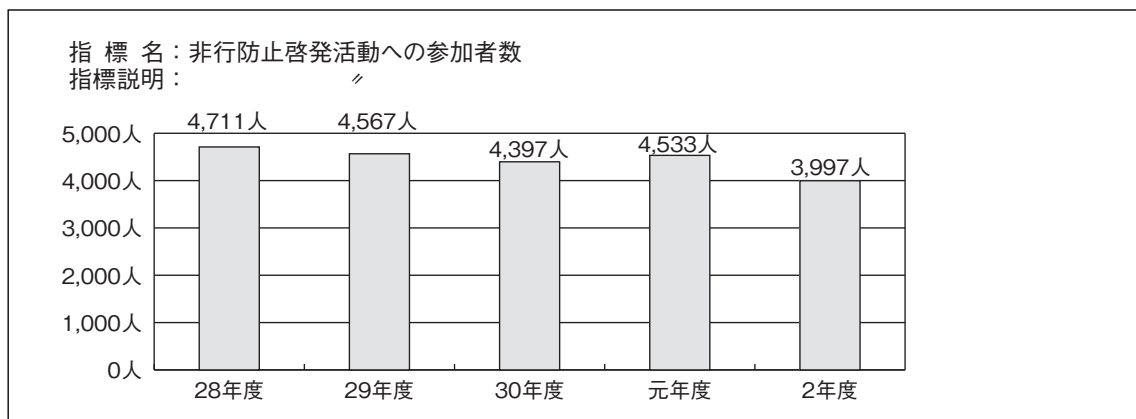
(イ) 子ども・若者健全育成啓発費 746,460円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------|---------|---------|
| 青少年だより「ちぎりの子ども」発行部数 | 31,000部 | 31,000部 |

(2) 青少年健全育成事業補助金 2,660,000円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------|------------------|------------------|
| 青少年健全育成会 | 22中学校区 52小学校区 | 22中学校区 52小学校区 |
| 補助金 | 2,660,000円 | 2,660,000円 |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 10目 子ども・若者自立支援費 <困難を抱える子ども・若者への支援の充実> | 18,444,380 | 4,380,000 | 0 | 2,325,000 | 11,739,380 |

1 子ども・若者自立支援事業費 18,444,380円 (こども若者総合相談支援センター)

[総括]

民間の支援団体に子ども・若者総合相談窓口の運営を委託し、子ども・若者及びその家族を対象に不登校、ひきこもりなどの相談・支援を行った。また、定時制・通信制高等学校合同説明会では、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、夏休み前には、保護者会で活用できるよう開催に代えて資料を中学校に配布し、10月には、参加者が密にならないよう配慮しながら合同説明会を開催することで、不登校やひきこもりなどの理由から進路に悩む中高生への進路選択の支援を行った。今後も関係機関と連携し、一人ひとりの困りごとに寄り添った支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 子ども・若者自立支援事業費 18,444,380円

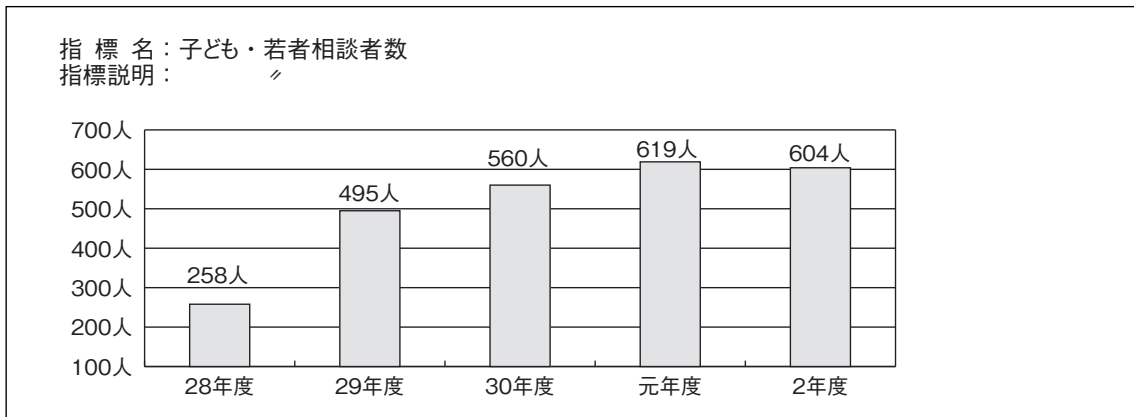
(ア) 子ども・若者総合相談窓口運営事業費 18,401,000円

| 子ども・若者相談者数 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------|-------|-------|
| | | 619人 |

(イ) 子ども・若者支援地域協議会運営費 43,380円

| 定時制・通信制高等学校 合同説明会参加者数 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------------------|-------|-------|
| | | 420人 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------------------|-----------------|---------------|-------|------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4項 生活保護費 | 3,822,198,672 | 2,676,056,615 | 0 | 66,970,081 | 1,079,171,976 |
| 2目 生活保護者等自立支援費 <生活保護者への継続的な自立支援> | 3,540,012,919 | 2,605,876,542 | 0 | 66,970,081 | 867,166,296 |

1 生活保護者等援護事業費 3,534,987,919円 (生活福祉課)

[総括]

生活保護法に基づき、最低限度の生活を保障し、自立助長を図るため世帯の状況に合わせ、就労が可能な受給者にはハローワークと連携した就労支援を、就労に向けた準備が整っていない者には就労準備支援を行った。また、健康管理及び生活習慣病予防として、チェックリストを活用した健診受診勧奨に加え、保健指導による健康管理支援を実施した。今後も生活保護受給者の経済的自立のみならず生活的自立など多面的・包括的な支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生活保護扶助事業費 3,533,565,490円

| 区 分 | 令和元年度 | | | 令和2年度 | | |
|---------|---------|--------|----------------|---------|--------|----------------|
| | 世 帯 | 人 員 | 金 額 | 世 帯 | 人 員 | 金 額 |
| 生活扶助 | 1,473世帯 | 1,768人 | 1,012,924,006円 | 1,467世帯 | 1,776人 | 1,013,286,132円 |
| 住宅扶助 | 1,475 | 1,742 | 523,214,720 | 1,493 | 1,782 | 530,490,370 |
| 教育扶助 | 49 | 83 | 7,731,742 | 53 | 97 | 9,333,847 |
| 介護扶助 | 394 | 408 | 98,495,357 | 407 | 419 | 101,584,164 |
| 医療扶助 | 1,514 | 1,765 | 1,859,121,164 | 1,505 | 1,766 | 1,824,156,572 |
| 出産扶助 | 年間0 | 0 | 0 | 年間0 | 0 | 0 |
| 生業扶助 | 年間25 | 28 | 2,850,231 | 年間31 | 34 | 2,897,662 |
| 葬祭扶助 | 年間42 | 42 | 3,887,548 | 年間63 | 63 | 5,477,127 |
| 保護施設事務費 | 月平均5 | 5 | 9,038,190 | 月平均6 | 6 | 9,943,637 |
| 就労自立給付金 | 年間16 | 16 | 711,088 | 年間13 | 16 | 452,079 |
| 進学準備給付金 | 年間4 | 4 | 800,000 | 年間0 | 0 | 0 |
| 計 | — | — | 3,518,774,046 | — | — | 3,497,621,590 |

※「世帯」、「人員」の実績は当該年度末現在の数値とする。(「出産扶助」、「葬祭扶助」、「保護施設事務費」、「就労自立給付金」及び「進学準備給付金」は除く)

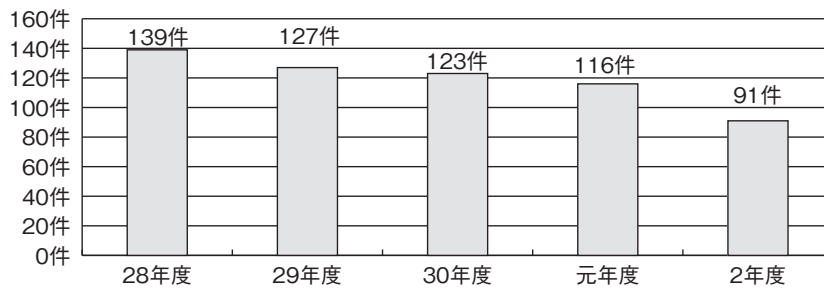
(2) 中国残留邦人生活支援事業費 1,422,429円

| 受 給 世 帯 数 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 比 較 |
|-----------|-------|----|-------|----|------|
| | 1世帯 | 2人 | 1世帯 | 2人 | |
| | | | | | 0.0% |

[指 標]

指 標 名：自立件数

指標説明：保護廃止世帯数－死亡・失踪による廃止世帯数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--------------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3目 生活困窮者等自立支援費 〈生活困窮者に対する支援体制の整備〉 | 73,111,824 | 70,180,073 | 0 | 0 | 2,931,751 |

1 生活困窮者等援護事業費 73,111,824 円 (生活福祉課)

[総括]

生活困窮者自立支援法に基づき、個々の世帯状況に応じた就労支援や生活支援を実施した。特に新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少等を要因とした住居確保給付金の相談・申請が急増したため、通訳を加配するなど体制強化を行い困窮世帯への支援を行った。また、派遣会社を退職となるなど、職と住まいを同時に失った方に対しては、一時生活支援事業により緊急的な宿泊場所を提供するとともに就労支援等を行うことで、早期に居宅生活への移行を図った。さらに、学習・生活支援事業では、タブレット端末を導入し、会場間をリモートでつなぐことにより、コロナ禍における課外活動自粛による学生講師の不足を補うことができた。今後も新型コロナウイルス感染拡大により増加が見込まれる生活困窮者に対し、関係機関と連携し、迅速に支援を行っていく。

[実績及び成果]

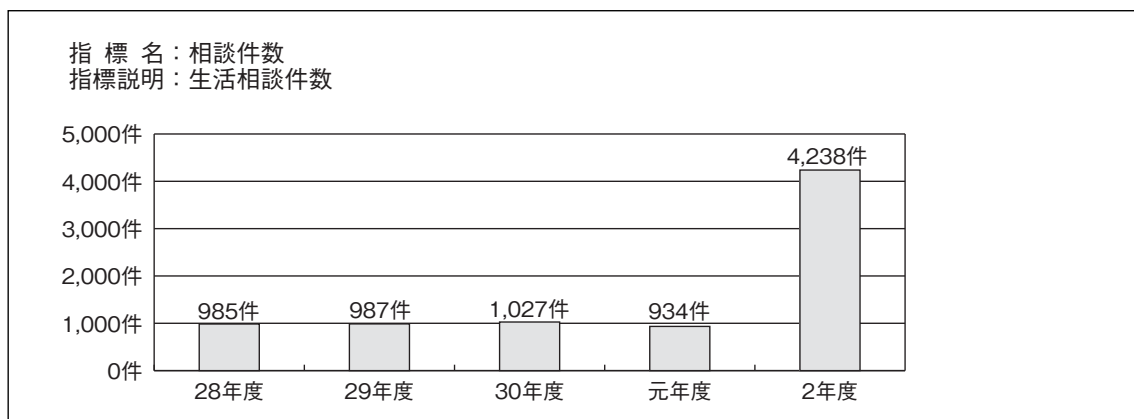
(1) 生活困窮者自立支援事業費 70,180,073 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---------|-------|-------------|-------|-------------|
| | 人 員 | 金 額 | 人 員 | 金 額 |
| 自立相談支援 | 96人 | 22,792,766円 | 197人 | 26,017,303円 |
| 住居確保給付金 | 0 | 0 | 230 | 38,567,593 |
| 一時生活支援 | 49 | 1,212,038 | 74 | 1,679,290 |
| 学習・生活支援 | 130 | 763,430 | 93 | 754,921 |
| 就労準備支援 | 10 | 2,760,999 | 8 | 3,160,966 |

(2) 旅費欠乏者移送費等事業費 2,931,751 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------|-------|-------|------|
| 移送人数 | 76人 | 78人 | 2.6% |
| 行旅死亡人 | 3 | 5 | 66.7 |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------|---------------|---------------|----------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4 款 衛 生 費 | 16,093,399,272 | 637,859,891 | 2,158,700,000 | 1,178,549,617 | 12,118,289,764 |
| 1 項 保 健 衛 生 費 | 7,251,177,060 | 581,771,891 | 2,064,300,000 | 337,877,435 | 4,267,227,734 |
| 2 目 健 康 づ くり 費 <健康を支える環境づくり> | 473,515,419 | 2,707,816 | 0 | 39,013,108 | 431,794,495 |

1 保健所・保健センター管理運営事業費 239,217,530 円 (健康政策課)

[総括]

保健・医療・福祉の総合拠点「ほいっふ」の中核施設として、こども発達センターや休日夜間急病診療所を含め、PFI事業契約に基づき施設の維持管理・運営を行った。今後も市民の健康と安全を守るため、施設の適正な維持管理・運営に努めるとともに、医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連携強化を図りながら、機能の充実と施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

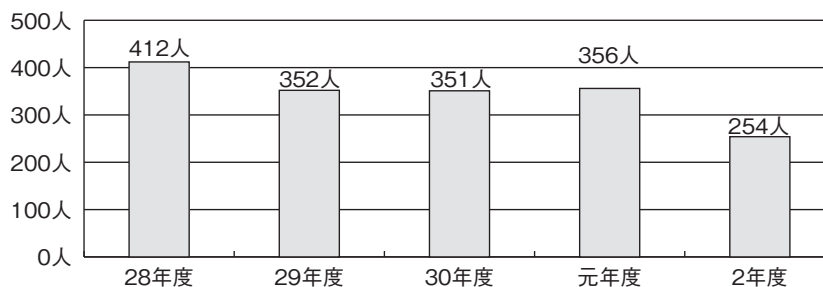
(1) 保健所・保健センター管理運営事業費 239,217,530 円

[利用状況]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-----------|-----------|--------|
| 開 館 日 数 | 240日 | 242日 | 2日 |
| 利 用 者 数 | 延 85,490人 | 延 61,395人 | △28.2% |

[指 標]

指 標 名：保健所・保健センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 健康なまちづくり事業費

6,555,843 円（健康政策課）

〔総括〕

新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型のウォーキングイベントや健康セミナーの開催が難しい中、とよはし健康マイレージアプリのGPS機能を活用した非集合型のウォーキングイベントや、参加人数を抑えた会場開催とオンライン同時配信を組み合わせたハイブリッド方式による健康セミナーを、専門家を招いて開催した。

健康経営推進事業では、健康経営に積極的に取り組む事業所のうち、他の模範となる取組みを行った事業所を表彰し、市内事業所における健康経営の気運醸成を図った。また、健康経営取組み事例集の作成・配布を行い、健康経営を実践する事業所の優れた事例を広く紹介することができた。今後も、健康増進に関する協定締結企業など関係機関と連携し、市民の健康づくりの推進を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 健康なまちづくり推進事業費 342,999 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------------|---------|--------|
| 豊橋市健康づくり推進プロジェクト講演会 | 1回 260人 | 1回 67人 |
| スマートウェルネスシティ首長研究会参加回数 | 2回 | 2回 |

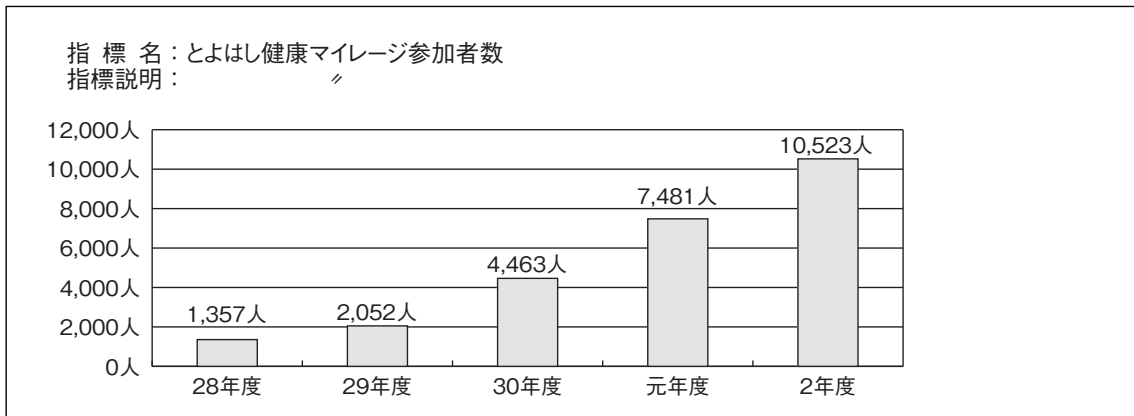
(2) 健康マイレージ推進事業費 5,719,899 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------|---------|---------|
| とよはし健康マイレージ参加者数 | 7,481人 | 10,523人 |
| ウォーキングイベント | 1回 300人 | 2回 249人 |

(3) 健康経営推進事業費 492,945 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------|--------|--------|
| とよはし健康宣言事業所 | 130事業所 | 125事業所 |

〔指標〕



3 たばこ対策事業費

4,039,962 円（健康政策課）

[総括]

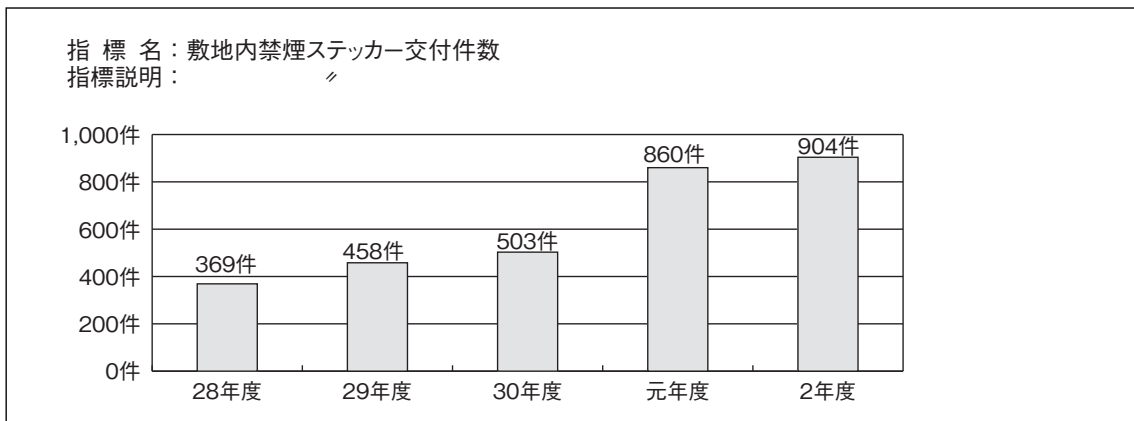
平成 31 年より段階的に施行されていた「改正健康増進法」及び「豊橋市受動喫煙防止条例」が令和 2 年に全面施行されたことにより、新規開設飲食店等を対象とした受動喫煙防止に関する説明会の実施や、市民及び施設管理者等向けリーフレットやステッカーなどを作成し、受動喫煙対策に関する知識の普及や啓発に努めた。また、受動喫煙防止対策に取り組む小規模飲食店に対して喫煙専用室設置費等の助成を行った。今後も受動喫煙の防止対策を推進し、望まない受動喫煙が生じない環境づくりをめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 受動喫煙防止対策事業費 3,767,040 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|-----|--|---|
| | 豊橋市受動喫煙防止条例の段階的な施行 受動喫煙防止に関する説明会等の開催 リーフレットやステッカーの作成、配布 受動喫煙防止対策を行う小規模飲食店への助成 施設管理者等への相談支援 | 豊橋市受動喫煙防止条例の全面施行 新規開設飲食店等へ受動喫煙防止に関する説明の実施 リーフレットやステッカーの作成、配布 事業所等への受動喫煙に関する啓発 受動喫煙防止対策を行う小規模飲食店への助成 |

[指標]



4 健康づくり事業費

849,694 円（健康増進課・こども保健課）

[総括]

市民が健康の大切さに気づき、日常生活に健康づくりを取り入れることができるよう、地域主体の健康づくり活動の支援、健康に関する啓発などを行った。今後も新型コロナウイルス感染症対策を行い、市民への健康に関する動機づけとなるような取組みを進めていく。

[実績及び成果]

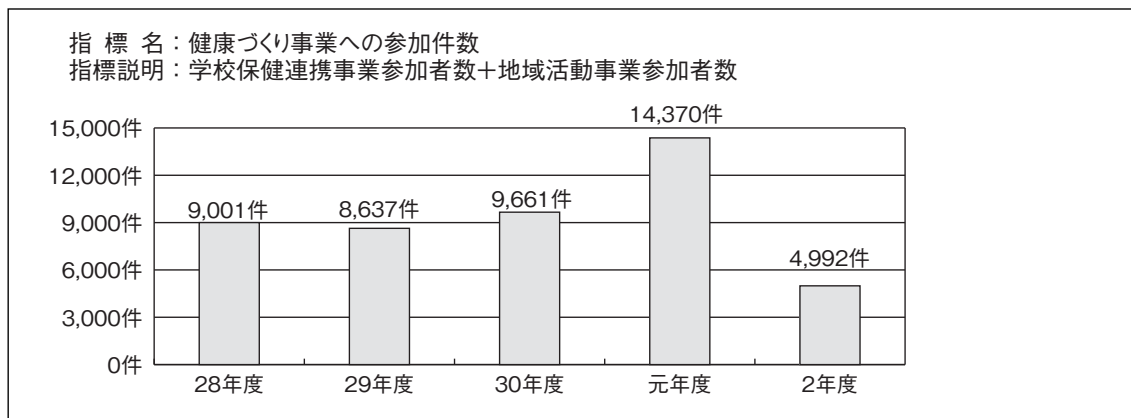
(1) 学校保健連携事業費 62,206 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|-----------------------|-------------|-----------|
| 学 校 保 健 委 員 会 参 加 者 数 | 6,968人 | 2,954人 |
| 訪 問 授 業 参 加 者 数 | 2,330 | 1,133 |
| 食生活について考えよう受講者数 | 373 | 0 |
| 赤ちゃんふれあい体験 | 11校 参加者 770 | 1校 参加者 95 |

(2) 地域活動事業費 787,488 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------------|--------|-------|
| 健康な地域づくり事業などの参加者数 | 1,302人 | 810人 |
| イベントで啓発を受けた人数 | 2,627 | — |

[指 標]



5 余熱利用施設管理運営事業費 220,284,910 円（健康増進課）

[総 括]

健康増進と交流促進の場として幅広い市民の利用に供するとともに、省資源・省エネルギーに対する市民意識の向上を促すため、PFI事業契約に基づき、資源化センターの余熱利用施設（りすば豊橋）の維持管理・運営を行った。今後も施設の適正な維持管理・運営に努め、利用者の増加を図っていく。

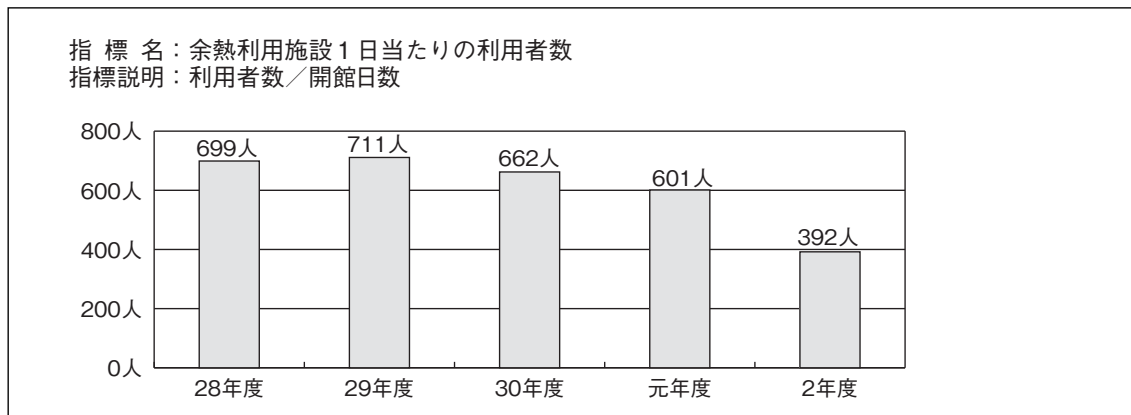
[実績及び成果]

(1) 余熱利用施設管理運営事業費 220,284,910 円

[利用状況]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------------|-----------|-----------|
| 温 水 プ ー ル | 延 62,208人 | 延 36,429人 |
| ト レ ー ニ ン グ ル ー ム | 延 44,613 | 延 20,720 |
| 浴 場 | 延 68,829 | 延 42,643 |
| 無 料 開 放 ス ペ ー ス | 延 1,723 | 延 632 |
| 計 | 延 177,373 | 延 100,424 |

[指 標]



6 歯科口腔保健推進事業費

592,628 円（健康増進課）

[総括]

「豊橋市歯科口腔保健推進計画」に基づき、若い世代の意識の向上、生涯を通じた歯と口の健康のために、定期的な歯科検診の受診とかかりつけ医を推奨し、口腔保健推進のため歯科医療関係者等に対する情報提供、研修を実施した。今後も関係機関と連携し、市民が生涯にわたり、自分の歯で何でもおいしく食べることができるような歯科保健施策を推進していく。

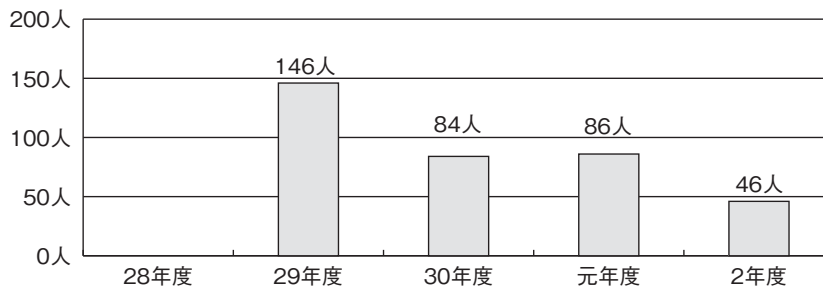
[実績及び成果]

(1) 口腔保健支援センター運営事業費 592,628 円

| 内 容 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---------|--------|---------|--------|----|
| | 研修会の開催 | 2回 | 研修会の開催 | 1回 |
| 運営会議の開催 | 2回 | 運営会議の開催 | 2回 | |

[指 標]

指 標 名：豊橋市口腔保健支援センター研修会参加者数
 指標説明：〃



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3日 疾 病 対 策 費 < 疾 病 対 策 の 推 進 > | 396,472,967 | 13,793,808 | 0 | 7,817,450 | 374,861,709 |

1 成人保健予防事業費 346,600,813 円 (健康増進課)

[総括]

生活習慣病を早期に発見し、健康寿命の延伸を図るため、各種がん検診と骨粗しょう症検診・歯周病検診等を実施した。がん検診は特定健康診査と同時に実施するなど、利便性を高めることで受診率の向上に努めた。また、子宮がん検診では、検診票を持っていない対象者でも迅速に受診できるよう体制整備を行った。今後も新型コロナウイルス感染症対策を行い、検診体制の充実や検診の精度管理に努め、病気の早期発見や生活習慣の改善を目指して保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 生活習慣病予防事業費 35,247,833 円

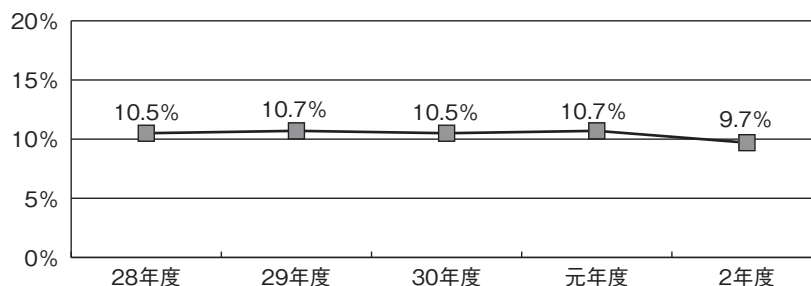
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------------|-------|-------|
| 健康診査(生活保護受給者等) | 126人 | 173人 |
| 骨粗しょう症検診 | 1,865 | 1,371 |
| 歯周病検診 | 2,164 | 2,148 |
| 眼科検診 | 1,418 | 1,267 |
| 肝炎ウイルス検査 | 1,233 | 804 |
| 集団健康教育 | 8コース | 5コース |

(2) がん予防事業費 311,352,980 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------|-------------------|-------------------|
| 胃がん検診 (内：胃内視鏡検診) | 8,910人 (3,859) | 7,190人 (3,339) |
| 大腸がん検診 | 21,273 | 19,390 |
| 肺検診(結核・肺がん) | 24,496 | 22,350 |
| 子宮頸がん検診 | 8,263 | 8,602 |
| 子宮頸・体がん検診 | 978 | 885 |
| 乳がん検診 | 8,311 | 7,456 |
| 前立腺がん検診 | 1,367 | 1,148 |
| がんセット検診(再掲) | 18日間 1,226 | 3日間 176 |

[指標]

指標名：がん検診受診率(肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診分)
 指標説明：がん検診受診者数/検診対象者



2 精神保健対策事業費

1,933,481 円（健康増進課）

[総括]

市民や地域の支援者への研修会を実施し、精神障害に対する理解を深めた。また、こころの不調で悩んでいる方とその家族が地域で安定した生活を送ることができるように、医師や保健師等による相談や教室を実施した。さらに「豊橋市自殺対策計画」に基づき、ゲートキーパー研修や自殺対策の周知、啓発等を実施した。今後も関係機関と連携し、相談体制の充実と自殺対策の推進を図っていく。

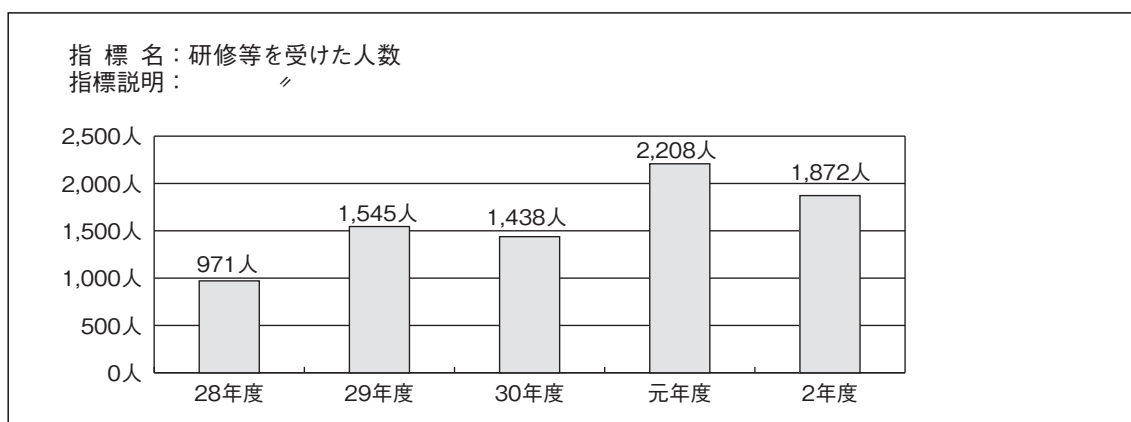
[実績及び成果]

(1) 精神保健対策事業費

1,933,481 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------|--------|--------|
| 研修等を実施した回数 | 82回 | 55回 |
| 研修等を受けた人数 | 2,208人 | 1,872人 |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 感染症対策費 <感染症対策の推進> | 1,466,500,405 | 310,633,384 | 0 | 2,500,800 | 1,153,366,221 |

1 予防接種事業費 1,251,021,915 円 (健康政策課・感染症対策室)

[総括]

感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の防止による公衆衛生の向上を図るため、予防接種未接種者への個別通知を行うなど、接種を勧奨し、抗体保有率(接種率)の向上に努めた。また、ロタウイルスワクチンが10月より定期予防接種となったほか、市独自の事業としておたふくかぜワクチン2回目接種の費用助成や、こどものインフルエンザ予防接種の費用助成を行った。また、新型コロナウイルスワクチン接種の準備を行った。今後も予防接種法の改正や感染症の動向に的確かつ迅速に対応するとともに、周知を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 予防接種事業費 1,251,021,915 円

(ア) 予防接種委託料等 1,239,777,395 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------------|-----------------------|---------------|-----------|--------|
| | 接 種 人 員 | | 接 種 人 員 | |
| 定 期 類 | 4 種 混 合 | 延 11,189人 | 延 10,849人 | |
| | D P T (3種混合) | 延 0 | 延 0 | |
| | D T 2 期 | 3,148 | 3,140 | |
| | 不 活 化 ポ リ オ | 延 6 | 延 2 | |
| | 麻 し ん ・ 風 し ん 混 合 | 6,064 | 5,862 | |
| | 日 本 脳 炎 | 延 13,962 | 延 13,112 | |
| | B C G | 2,779 | 2,639 | |
| | ヒ ブ | 延 10,669 | 延 11,217 | |
| | 小 児 用 肺 炎 球 菌 | 延 11,220 | 延 10,728 | |
| | 子 宮 頸 が ん | 延 73 | 延 1,044 | |
| | 水 痘 | 延 5,742 | 延 5,616 | |
| | B 型 肝 炎 | 延 8,084 | 延 8,045 | |
| | 風 し ん (追 加 対 策) | 1,247 | 1,738 | |
| | ロ タ ウ イ ル ス | — | 延 2,778 | |
| | B 類 | イ ン フ ル エ ン ザ | 60,354 | 71,543 |
| 高 齢 者 用 肺 炎 球 菌 | | 2,936 | 3,409 | |
| 任 意 | ロ タ ウ イ ル ス | 延 6,350 | 延 3,762 | |
| | お た ふ く か ぜ | 2,728 | 5,071 | |
| | 風 し ん (成 人) | 647 | 583 | |
| | 麻 し ん (追 加 対 策) | 241 | 140 | |
| | イ ン フ ル エ ン ザ (こ ど も) | — | 26,235 | |

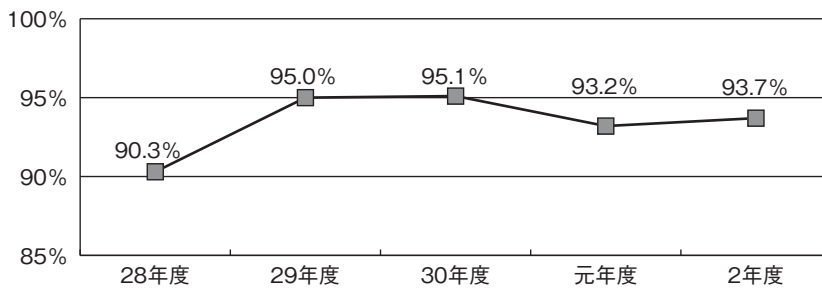
(イ) 特別の理由による任意予防接種費補助金 67,320 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|------|---------|------|
| | | 延10人 | 99,412円 | 延 9人 |

(ウ) 新型コロナウイルスワクチン接種準備費 11,177,200 円

[指 標]

指 標 名：定期A類(20歳未満)予防接種率
指 標 説 明：接種人員／接種対象者数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|-------|---------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5目 母子保健推進費 <母子保健の推進> | 720,402,013 | 149,657,250 | 0 | 350,600 | 570,394,163 |

1 母子保健対策事業費 600,026,092 円 (こども保健課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症のため、妊娠・出産・育児等に不安を抱える妊産婦を対象とした分娩前ウイルス検査事業や里帰り困難妊産婦育児等支援事業等を実施し、安心して出産・育児等ができるよう負担の軽減を図った。また、産後うつの早期発見のための産婦健康診査の助成を2回に増加したほか、産後ケア事業訪問（アウトリーチ）型を開始し、出産後の支援を充実した。さらに、不妊治療に向き合う夫婦のため特定不妊治療費補助金の増額、所得制限の撤廃や対象を事実婚の夫婦にも拡大するなど、経済的な負担の軽減を図った。今後も、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりのため、母子保健事業の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 妊産婦保健事業費 345,273,165 円

| 区 分 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------------|--------|----------|---------|----------|---------|
| 母子健康手帳の交付 | | 3,203冊 | | 2,771冊 | |
| 妊婦健康診査 | | 延33,992人 | | 延32,460人 | |
| 妊産婦歯科健康診査 | | 1,410 | | 1,257 | |
| 産婦健康診査 | | 2,560 | | 延 4,846 | |
| 女性の健康支援事業 | | 23回 | 延 2,704 | 10回 | 延 1,132 |
| 特定妊婦産科受診支援事業 | | — | | 2 | |
| 産前・産後サポート | パートナー型 | 延 466 | | 延 374 | |
| | 参加型 | 10回 | 延 158件 | 7回 | 延 81件 |
| 妊娠・出産・子育て総合相談窓口 | | 延 3,711 | | 延 3,920 | |
| 不妊・不育専門相談センター | | 延 44 | | 延 65 | |
| 産後ケア事業 | | 延 380日 | | 延 595日 | |
| 里帰り困難妊産婦育児等支援事業 | | — | | 延 167 | |
| 感染者寄り添い型支援事業 | | — | | 0人 | |
| 分娩前ウイルス検査事業 | | — | | 33 | |
| 産後ケア施設支援事業 | | — | | 11施設 | |

(2) 乳幼児保健事業費

123,432,105 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---------------------|----------|--------|----------|--------|
| 乳 児 健 康 診 査 | 延 5,315人 | | 延 5,149人 | |
| 新 生 児 聴 覚 検 査 | 2,009 | | 2,408 | |
| 4 か 月 児 健 康 診 査 | 45回 | 2,701 | 45回 | 2,701 |
| 1 歳 6 か 月 児 健 康 診 査 | 46 | 3,085 | 41 | 2,819 |
| 3 歳 児 健 康 診 査 | 46 | 3,128 | 40 | 2,959 |
| 2 歳 児 歯 科 健 康 診 査 | 1,682 | | 1,623 | |
| 未熟児・ハイリスク児等訪問指導 | 延 4,894 | | 延 4,882 | |
| 養 育 支 援 訪 問 指 導 | 延 1,202 | | 延 1,051 | |
| 産 婦 ・ 新 生 児 訪 問 指 導 | 76件 | | 76件 | |
| 乳 児 家 庭 全 戸 訪 問 | 1,856 | | 1,812 | |
| 乳幼児健康診査事後相談 | 50回 | 延 833 | 42回 | 延 623 |
| 乳幼児健康診査事後教室 | 40 | 延 645 | 30 | 延 459 |
| 離 乳 食 講 習 会 | 47 | 延 684人 | 40 | 延 372人 |
| 乳幼児期からの食育活動 | 2 | 14 | 0 | 0 |
| 小児慢性特定疾病児童等自立支援員 | 1 | | 1 | |

(3) 不妊治療費補助金

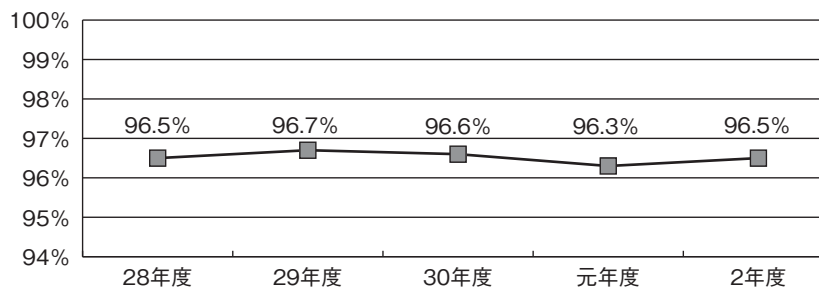
131,320,822 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------------|--------|-------------|--------|--------------|
| 特定不妊治療費補助金 | 延 400件 | 67,335,340円 | 延 496件 | 128,994,282円 |
| 一般不妊治療費補助金 | 延 96 | 2,377,118 | 延 103 | 2,326,540 |

[指 標]

指 標 名：健診受診率

指 標 説 明：4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の受診者数／4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の対象者数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-------|-------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 6目 地域医療体制費 <地域医療体制の充実> | 755,372,769 | 77,645,100 | 0 | 139,949,106 | 537,778,563 |

1 看護専門学校事業費 277,351,884 円 (健康政策課)

[総括]

地域医療サービスを推進するため、看護師の養成を目的に学生指導の充実に努めた。また令和2年度は、新型コロナウイルス感染症等の理由によるオンライン授業の実施に備え、校内ネットワークを敷設するとともに、学生及び講師用にタブレットパソコンを購入した。今後も地域医療の推進のため、看護師資格取得者数の増加をめざす。

[実績及び成果]

(1) 看護専門学校管理運営事業費 60,909,871 円

[運営状況]

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|---------|---------------|---------------|
| 看護第1科 | 学 生 数 | 123人 (定員120人) | 115人 (定員120人) |
| | 課 程 | 3年課程全日制 | 3年課程全日制 |
| | 修 業 年 限 | 3年 | 3年 |
| 看護第2科 | 学 生 数 | 118人 (定員120人) | 113人 (定員120人) |
| | 課 程 | 2年課程定時制 | 2年課程定時制 |
| | 修 業 年 限 | 3年 | 3年 |

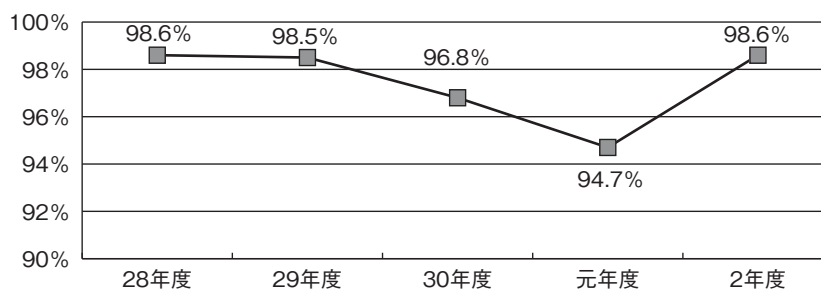
(ア) 非常勤講師報酬 4,923,000 円

(イ) 管理運営費 55,986,871 円

[指 標]

指 標 名：看護師国家試験合格率

指標説明：資格取得者数／看護第1科・看護第2科の受験者数



2 地域医療対策事業費 75,685,000 円（健康政策課）

[総括]

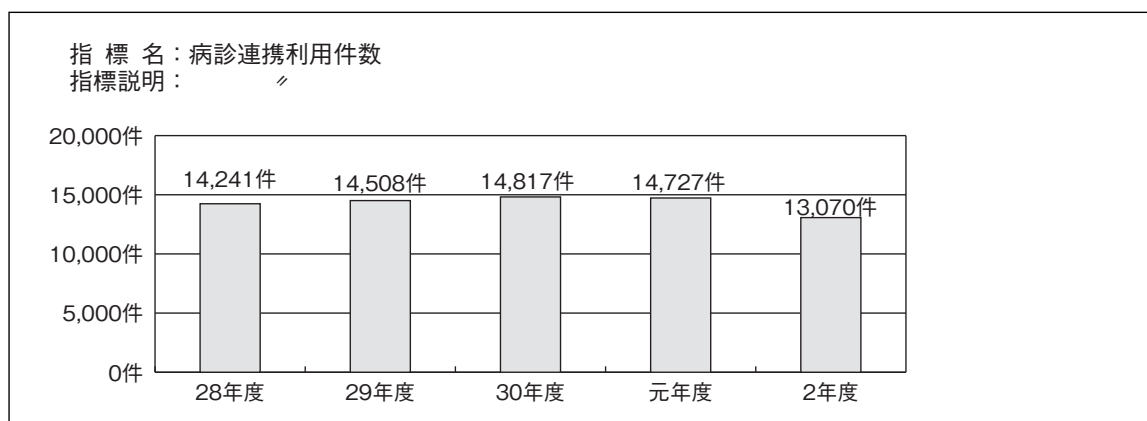
病院と診療所の機能分担を考慮した迅速かつ適切な医療サービスの提供を図るため、医師会の事業に対し助成を行った。今後も医師会と基幹病院との連携を深め地域医療体制の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 地域医療対策事業補助金 3,000,000 円

| 補助金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------------|-------------|
| | 3,000,000 円 | 3,000,000 円 |

[指標]



3 休日夜間診療対策事業費 394,620,529 円（健康政策課）

[総括]

第1次救急医療として、休日夜間急病診療所及び、休日夜間・障害者歯科診療所で初期医療等に対応するとともに、医師会等に助成することにより在宅輪番による緊急医制度を実施した。また、第2次救急医療として、東三河平坦部（4市）の病院群輪番により重症患者を受け入れた。さらに、休日・夜間における急病等に対応できるよう救急医療情報の照会、医療の確保に努めた。今後も第1次及び第2次救急医療体制を確保するため、医療機関との連携強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 休日夜間急病診療所管理運営事業費 310,159,132 円

[診療状況]

| 区分 | | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-----|---------|--------|
| 患者数 | | 18,024人 | 6,246人 |
| 内訳 | 内科 | 8,764 | 3,674 |
| | 小児科 | 9,260 | 2,572 |

〔時間帯別診療状況〕

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|-----------|---------|--------|
| 昼 (休日) | 診 療 日 数 | 74日 | 71日 |
| | 患 者 数 | 7,450人 | 2,253人 |
| | 1日当たりの患者数 | 101 | 32 |
| 夜 (毎日) | 診 療 日 数 | 365日 | 365日 |
| | 患 者 数 | 10,574人 | 3,993人 |
| | 1日当たりの患者数 | 29 | 11 |

- (ア) 指定管理料 307,912,930 円
 (イ) 施設管理費 2,246,202 円
 (2) 休日夜間・障害者歯科診療所管理運営事業費 37,279,775 円

〔診療状況〕

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-----------|--------|--------|
| 休日・夜間 | 診 療 日 数 | 365日 | 365日 |
| | 患 者 数 | 1,452人 | 1,051人 |
| | 1日当たりの患者数 | 4 | 3 |
| 障害者 | 診 療 日 数 | 50日 | 49日 |
| | 患 者 数 | 533人 | 381人 |
| | 1日当たりの患者数 | 11 | 8 |

- (ア) 指定管理料 36,437,315 円
 (イ) 施設管理費 842,460 円
 (3) 休日夜間診療対策事業費 9,464,000 円
 (ア) 休日夜間診療対策推進費補助金 9,419,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|---------|------------|---------|------------|
| | 患者数 | 補助金 | 患者数 | 補助金 |
| 医 師 会 | 29,162人 | 9,790,600円 | 12,905人 | 9,281,000円 |
| 柔 道 整 復 師 会 | 234 | 148,000 | 184 | 138,000 |
| 計 | 29,396 | 9,938,600 | 13,089 | 9,419,000 |

- (イ) 休日夜間診療対策事務費 45,000 円
 (4) 愛知県救急医療情報システム運営事業費 106,082 円

| 運 営 費 負 担 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------|----------|----------|
| | 104,926円 | 106,082円 |

- (5) 救急医療第2次病院運営事業費 37,489,540 円

〔救急医療第2次病院の診療状況〕

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|--------|--------|
| 医 療 機 関 数 | 8機関 | 7機関 |
| 回 数 | 442回 | 437回 |
| 患 者 数 | 6,090人 | 3,340人 |
| 1回当たりの患者数 | 14 | 8 |

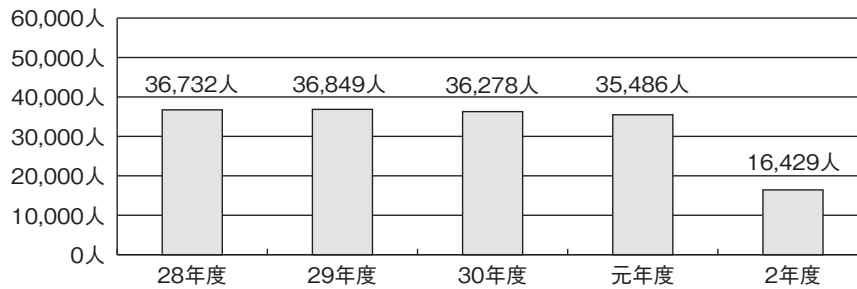
(6) 適正受診普及啓発事業費

122,000 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---|-------|
| | まちづくり出前講座の開催 6回 啓発グッズ（小児救急ガイドブック） の作成 | |

[指 標]

指 標 名：第1次・第2次救急医療利用者数
指 標 説 明：第1次救急医療患者数 + 第2次救急医療患者数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 7目 災害時医療体制費 <災害時医療体制の充実> | 2,194,309 | 0 | 0 | 0 | 2,194,309 |

1 医療救護活動事業費 2,194,309円 (健康政策課)

[総括]

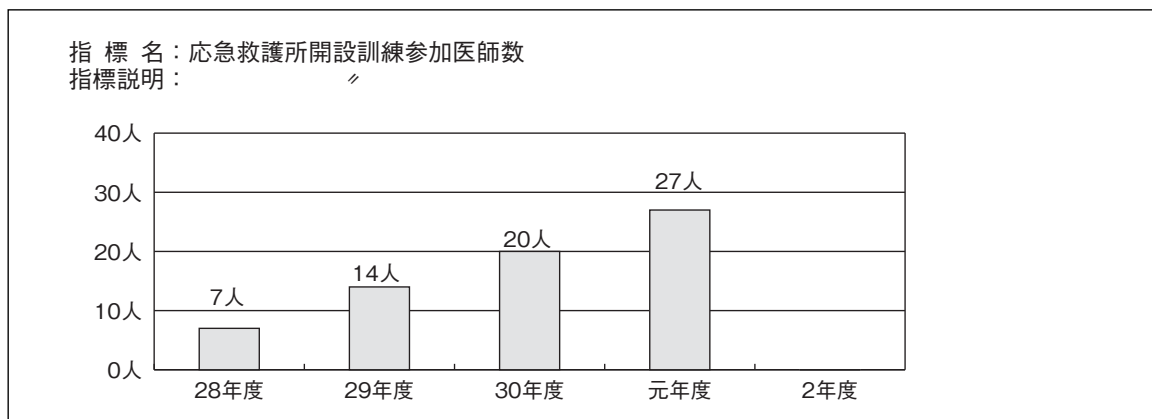
大規模災害時に迅速な医療救護活動を行うため、医師会、歯科医師会及び薬剤師会を始めとした関係機関との連携・協力のもと、住民参加の応急救護所開設訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から開催を見合わせた。一方、避難所における感染症対策のため、感染症を考慮した避難所開設訓練への参加を行い、感染症対策の視点について、住民、各機関との共有を行った。また、災害時の医療提供体制の整備として、各機関との情報連携を強化するため、LINEWORKSを導入した。今後も大規模災害時の初動体制の確立のため、情報収集と連絡体制の強化に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 医療救護活動事業費 2,194,309円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|--|
| | 応急救護所開設訓練の実施 5回 校区防災訓練等での啓発 1回 後方収容病院との情報連絡訓練 1回 明海地区産業基地応急救護所の設置及び開設訓練の実施 県と合同の総合防災訓練の実施 臨時救護基幹センター通信設備強化 保健医療衛生班検討会議及び多職種ワーキンググループ実施 | 校区防災訓練等での啓発 2回 ※うち1回は、感染症を考慮した避難所開設訓練 LINEWORKSの導入 |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 8目 生活衛生費 <生活衛生対策の推進> | 14,433,535 | 1,209,700 | 0 | 0 | 13,223,835 |

1 環境衛生指導事業費 9,314,935 円 (生活衛生課)

[総括]

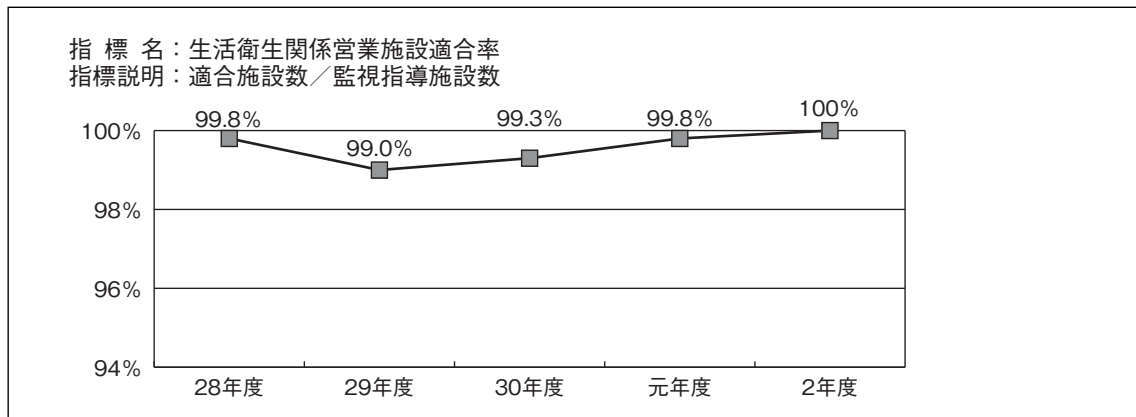
新型コロナウイルス感染症の影響により、生活衛生関係営業施設への立入検査が困難であったため、書面等を活用した監視指導を実施した。従前より事業者における自主管理体制の推進を行っていることもあり、高い施設適合率を確保できた。今後も、「豊橋市環境衛生監視指導計画」に基づき集客施設の衛生対策に努める。

[実績及び成果]

(1) 営業施設等指導事業費 9,314,935 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|-------|-------|
| 監視指導施設数 | 596件 | 387件 |
| 施設適合率 | 99.8% | 100% |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|---------------|------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 9日 斎 場 費 <斎場の利用環境向上> | 2,221,173,845 | 0 | 2,064,300,000 | 35,759,597 | 121,114,248 |

1 斎場事業費 2,221,173,845 円 (福祉政策課)

[総括]

火葬の需要に応えるため、施設の適正な維持管理に努めた。また、PFI手法により新たな斎場を建設し、令和3年4月よりPFI豊橋市斎場株式会社を指定管理者として供用を開始した。新たな斎場においても、施設の適切な維持管理を行い、市民の火葬需要に安定的に応えられるよう、業務モニタリングを行う。

[実績及び成果]

(1) 斎場管理運営事業費 57,923,465 円

[斎場使用状況]

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|---------|--------|--------|
| 火 葬 | 大 人 | 3,671体 | 3,732体 |
| | 小 人 | 12 | 6 |
| | 計 | 3,683 | 3,738 |
| | 死 産 児 | 61 | 48 |
| | 愛 玩 動 物 | 1,705件 | 1,588件 |
| 葬 儀 場 | 市 内 | 0 | 0 |
| | 市 外 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 |
| 遺 体 安 置 室 | 市 内 | 0 | 0 |
| | 市 外 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 |
| 白 ヶ 池 会 館 | 市 内 | 0 | 0 |
| | 市 外 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 |

[施設整備]

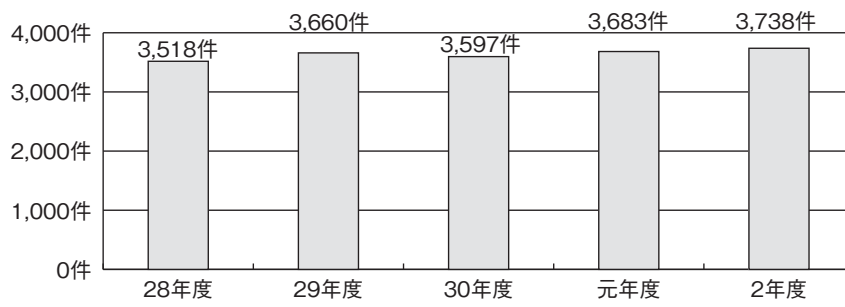
| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-----------|-----------|
| | 主燃室耐火物等補修 | 主燃室耐火物等補修 |

(2) 斎場整備事業費 2,134,317,561 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|------------------|--------------------|
| | 金融機関との直接協定締結支援業務 | 斎場建設工事 指定管理者の指定 |

[指 標]

指 標 名：斎場火葬件数
指標説明：大人及び小人の火葬件数の合計



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------------------|-----------------|-------------|-------|--------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 10目 墓 苑 費 <墓苑の安定確保> | 34,290,227 | 0 | 0 | 21,634 | 34,268,593 |

1 墓苑事業費 34,290,227 円 (福祉政策課)

[総括]

向山霊苑をはじめ市営墓地5か所の適正な維持管理に努めた。今後も墓地需要の把握と、利用者が快適に使用できるよう適正な維持管理に努めていく。

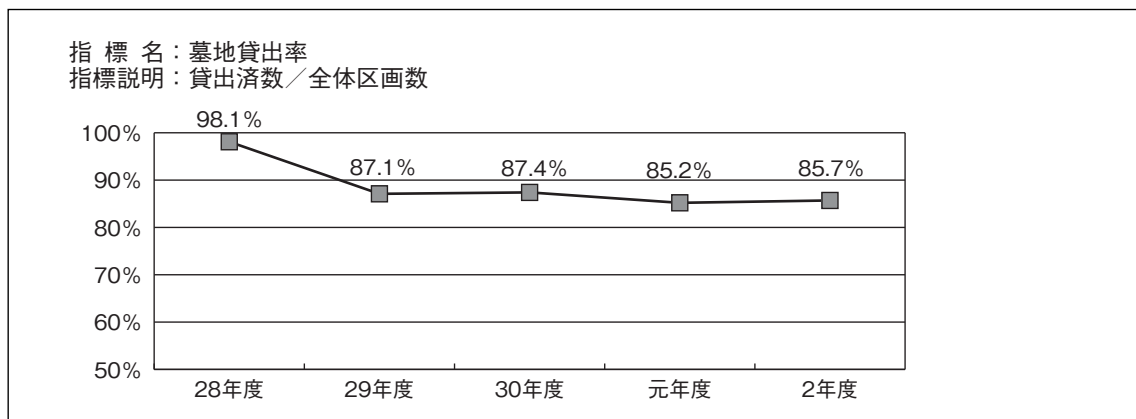
[実績及び成果]

(1) 市営墓地管理運営事業費 (墓地区画数 12,423 区画) 34,290,227 円

[墓地使用許可状況]

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|------------|-------|-------|
| 向山霊苑 | 普通墓地 (再貸出) | 73区画 | 45区画 |
| 梅田川霊苑 | 普通墓地 | 29 | 36 |
| 飯村墓地 | 普通墓地 (再貸出) | 38 | 22 |
| | 修景墓地 (再貸出) | 0 | 2 |
| | 納骨堂 | 1年許可 | 19室 |
| 3年許可 | | 13 | 17 |
| 野依台墓地 | 普通墓地 (再貸出) | 3区画 | 0区画 |
| 東細谷墓地 | 普通墓地 (再貸出) | 0 | 3 |

[指標]



※令和元年度に返還区画の再整備を実施したため、91区画増加

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------------------------|-----------------|-------------|-------|---------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 11日 動物愛護費 ＜ペットの愛護管理対策の推進＞ | 28,858,867 | 0 | 0 | 145,400 | 28,713,467 |

1 動物管理指導事業費 28,858,867円 (生活衛生課)

[総括]

「豊橋市動物愛護管理推進計画」に基づき、狂犬病の発生防止対策や動物の愛護管理に関する普及啓発を図った。また、飼い主のいない猫の増加を抑制する不妊去勢手術に対する助成及び処分される動物の減少を目指す収容動物の譲渡推進などの事業を実施した。今後も計画目標達成のため総合的な事業実施を進めていく。

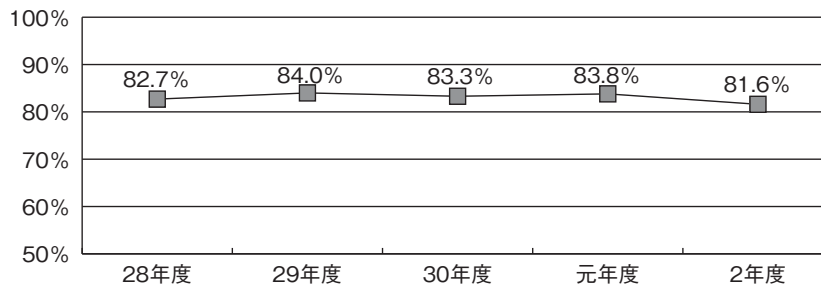
[実績及び成果]

(1) 動物管理指導事業費 28,858,867円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|--------------|---------|----------|---------|----------|
| 犬 登 録 頭 数 | 23,232頭 | | 23,400頭 | |
| 狂犬病予防注射実施頭数 | 集合注射 | 1,595 | 366 | |
| | 診療施設 | 17,865 | 18,725 | |
| | 計 | 19,460 | 19,091 | |
| 狂犬病予防注射実施率 | 83.8% | | 81.6% | |
| 地域猫不妊去勢手術補助金 | 70頭 | 600,000円 | 102頭 | 840,000円 |
| 譲 渡 率 | 犬 | 96.8% | | 70.6% |
| | 猫 | 52.9 | | 58.8 |

[指標]

指標名：狂犬病予防注射実施率
 指標説明：狂犬病予防注射実施頭数／犬登録頭数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 12目 食品衛生費 <食品の安全対策の推進> | 53,688,802 | 0 | 0 | 0 | 53,688,802 |

1 食品衛生指導事業費 12,087,311 円 (生活衛生課)

[総括]

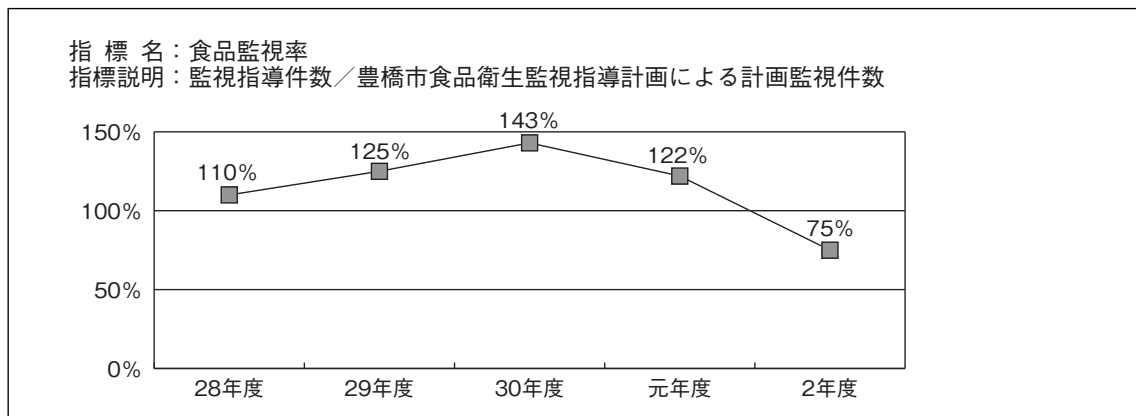
新型コロナウイルス感染症の影響により食品等事業者に対しての監視指導件数が低下したものの、豊橋市ええじゃないか HACCP 推進事業の継続実施により、事業者の自主衛生管理の導入を支援し、食中毒や異物混入等の食品事故の防止を図った。今後も「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づく各種施策を実施し、食品衛生の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 食品衛生指導事業費 12,087,311 円

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------------------|---------|-------|-------|
| 食 中 毒 発 生 件 数 | | 1件 | 2件 |
| 監 視 指 導 件 数 | | 4,393 | 3,301 |
| 食 品 監 視 率 | | 122% | 75% |
| 豊橋市ええじゃないか HACCP 推進事業 | 講習会開催数 | 3回 | 3回 |
| | 講習会受講者数 | 78人 | 41人 |
| | 導入確認施設数 | 4施設 | 5施設 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|----------------------------|-----------------|-------------|-------|------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 13日 食肉検査費 <食肉衛生検査体制の充実> | 193,470,623 | 264,000 | 0 | 74,659,140 | 118,547,483 |

1 食肉衛生検査指導事業費 181,471,045 円 (食肉衛生検査所)

[総括]

株式会社東三河食肉流通センターに搬入される獣畜のと畜検査、食肉中の残留動物用医薬品検査を実施した。また、健康な家畜生産のため、と畜検査情報の生産現場への還元に努めた。今後も検査体制の充実を図るとともに、HACCP方式に基づく高度な自主衛生管理を実施するために必要なサポートを行うことで、と畜場内の衛生水準を高め、市民が安心して消費することができる安全で衛生的な食肉の供給を図る。

[実績及び成果]

(1) 食肉安全管理事業費 54,137,049 円

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | |
|------------|------|----------|----------|---------|
| と畜検査 | 検査頭数 | 186,232頭 | 178,316頭 | |
| | 内訳 | 牛 | 8,110 | 7,908 |
| | | 馬 | 0 | 0 |
| | | 豚 | 178,121 | 170,405 |
| | | めん羊 | 0 | 0 |
| | | 山羊 | 1 | 3 |
| 残留動物用医薬品検査 | 検査件数 | 12,581件 | 11,053件 | |

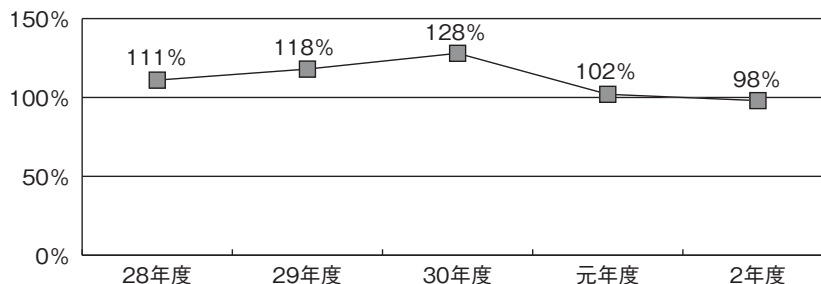
(2) と畜場衛生指導事業費 1,389,470 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|-------|-------|
| 微生物等検査件数 | 893件 | 816件 |
| と畜場衛生監視回数 | 242回 | 245回 |

[指標]

指標名：豊橋市食品衛生監視指導計画達成率(食肉衛生検査所分)

指標説明：豊橋市食品衛生監視指導計画に基づく実施件数/同計画件数(食肉衛生検査所分)



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------|-----------------|-------------|------------|-------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 2項 環 境 費 | 5,983,574,909 | 38,088,000 | 94,400,000 | 840,672,182 | 5,010,414,727 |
| 1目 環境対策総務費 | 1,264,310,069 | 0 | 0 | 782,615 | 1,263,527,454 |

1 環境基本計画推進事業費 13,110,535 円 (環境政策課)

[総括]

環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、本市の環境政策の現状と課題を整理し、国内外の情勢等に対応した中長期的な目標・取組みを示す「第3次豊橋市環境基本計画」を策定した。今後も人と自然が共生する持続可能な環境を将来の世代に継承できるよう、計画の推進を図る必要がある。

[実績及び成果]

(1) 環境基本計画策定事業費 13,110,535 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|------------------------------------|-------|
| | 市民・事業者アンケートの実施 第3次豊橋市環境基本計画策定委託 | |

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|----------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 2目 省エネルギー推進費 <節電・省エネの実践行動の推進> | 38,201,209 | 0 | 0 | 2,982,100 | 35,219,109 |

1 地球温暖化対策推進事業費 38,197,584 円 (再生可能エネルギーのまち推進課)

[総括]

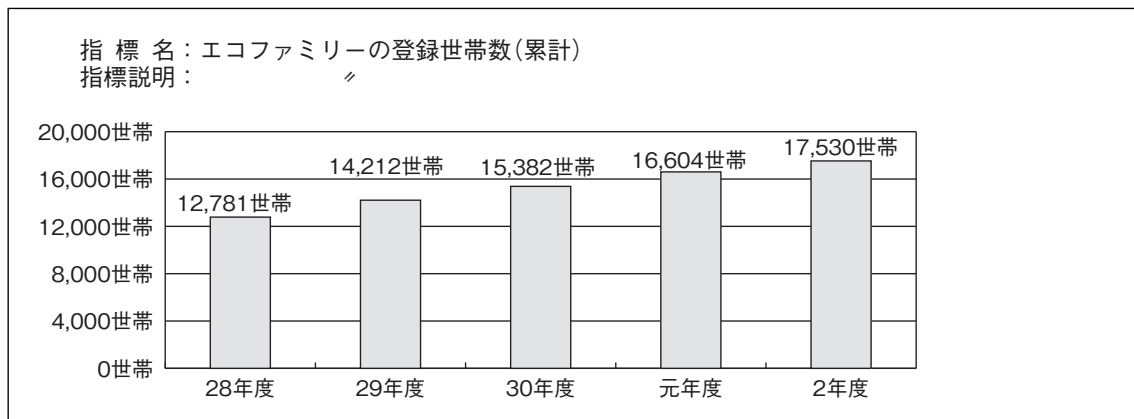
地球温暖化対策推進のため、エコファミリー制度による節電・省エネ実践行動への支援や、「とよはし版クールチョイス」の普及啓発による市民・事業者の省エネ意識の向上を図るとともに、公共施設においても緑のカーテンの設置など節電・省エネ対策に取り組んだ。また、エネルギーの地産地消を推進していくため、パンフレットやポスターによる普及啓発を図るとともに、民間企業との共同出資による地域新電力会社「穂の国とよはし電力株式会社」を設立し、市域の再生可能エネルギーを公共施設に供給するエネルギーの地産地消事業を開始した。

[実績及び成果]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------------------------|---------|-------|
| エコファミリー登録世帯数 | 1,222世帯 | 926世帯 |
| 節電・省エネチャレンジ キャンペーン参加件数 | 500件 | 478件 |
| 公共施設における緑の カーテンの設置箇所数 | 130施設 | 119施設 |

- (1) 地球温暖化対策管理事務費 13,885,808 円
- (2) 地球温暖化対策活動事業費 7,343,926 円
- (3) エネルギー地産地消推進事業費 16,967,850 円

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|--|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3目 新エネルギー等利活用推進費 ＜再生可能エネルギーの利活用の推進＞ | 46,815,110 | 8,755,000 | 0 | 0 | 38,060,110 |

1 新エネルギー導入促進事業費 40,085,000円 (再生可能エネルギーのまち推進課)

[総括]

環境負荷の少ない循環型社会の構築に向けて、創エネ・蓄エネ・省エネの積極的な導入を促進するため、太陽光発電システム、燃料電池、リチウムイオン蓄電池、ペレットストーブ、太陽熱利用設備、地中熱利用設備、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH)、一体的導入の設置者に対する助成を実施した。

[実績及び成果]

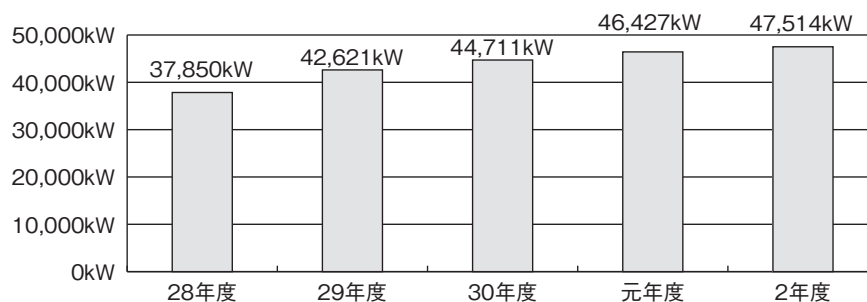
(1) 家庭用エネルギー設備等導入費補助金 40,085,000円

| 区 分 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------------------------|-------|-------|-------------|-------|------------|
| 太陽光発電システム | | 292件 | 16,762,000円 | 45件 | 2,483,000円 |
| 燃 料 電 池 | | 170 | 6,800,000 | 143 | 5,720,000 |
| リチウムイオン蓄電池 | | 228 | 11,280,000 | 177 | 10,482,000 |
| ペレットストーブ | | 4 | 200,000 | 0 | 0 |
| 太陽熱利用設備 | 自然循環型 | 17 | 340,000 | 13 | 260,000 |
| | 強制循環型 | 4 | 120,000 | 2 | 60,000 |
| 地中熱利用設備 | 掘削型 | 0 | 0 | — | |
| | 熱伝導型 | 8 | 800,000 | 2 | 200,000 |
| ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) | | 45 | 9,000,000 | 50 | 10,000,000 |
| 一 体 的 導 入 | | 54 | 8,640,000 | 68 | 10,880,000 |

[指 標]

指 標 名：太陽光発電システム設置kW(累計)

指標説明：一般住宅及び公共施設等における太陽光発電システムの設置整備容量の合計



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 次世代自動車利用促進費 <次世代自動車の利用促進> | 9,970,000 | 50,000 | 0 | 0 | 9,920,000 |

1 次世代自動車等普及促進事業費 9,970,000円 (再生可能エネルギーのまち推進課)

[総括]

次世代自動車等の普及を促進するため、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、電動バイク、電動アシスト自転車等の購入に対して助成を実施した。

[実績及び成果]

(1) 次世代自動車購入等補助金 2,770,000円

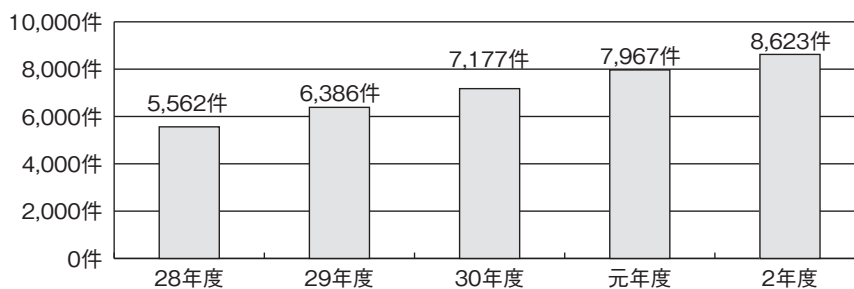
| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------------|-------|------------|-------|----------|
| 電 気 自 動 車 | 36件 | 2,160,000円 | 12件 | 720,000円 |
| プラグインハイブリッド自動車 | 37 | 1,110,000 | 31 | 930,000 |
| 燃 料 電 池 自 動 車 | 2 | 400,000 | 3 | 600,000 |
| 住 宅 用 充 給 電 設 備 | 3 | 300,000 | 4 | 400,000 |
| 外部給電装置同時購入加算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 太 陽 光 設 置 加 算 | 9 | 180,000 | 3 | 60,000 |
| 電 動 バ イ ク | 3 | 60,000 | 3 | 60,000 |

(2) 電動アシスト自転車購入補助金 7,200,000円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|------|------------|------|
| | | 700件 | 8,400,000円 | 600件 |

[指 標]

指 標 名：電気自動車、電動バイク、電動アシスト自転車購入等への助成件数(累計)
 指標説明：〃



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5目 生物多様性保全費 <生物多様性の保全> | 3,544,410 | 0 | 0 | 0 | 3,544,410 |

1 自然環境保全対策事業費 3,544,410円 (環境保全課)

[総括]

表浜海岸に上陸・産卵するアカウミガメの実態調査を継続するとともに、表浜自然観察会などの保護啓発事業を実施した。また、自然環境啓発冊子の頒布やとよはしネイチャースポット保全マニュアルによる情報発信、広報とよはしへの記事掲載など自然環境保全の啓発を行ったほか、アルゼンチンアリ等の外来種駆除活動を行った。汐川干潟の保全に関しては、田原市と連絡会や自然観察会を開催したほか、地元中学校・自然保護団体などとともに、汐川干潟の保全実践活動を実施した。今後も効果的な啓発を行い、自然環境の保全に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 自然環境保全推進事業費 3,544,410円

(ア) アカウミガメ保護対策等事業費 819,694円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------|--|---|
| アカウミガメ実態調査 | 上陸期間 5.23～7.29 上陸回数 32回 産卵巣数(産卵成功率) 11巣(34%) | 上陸期間 6.3～8.28 上陸回数 47回 産卵巣数(産卵成功率) 12巣(26%) |
| 表浜自然観察会 | 開催3回 参加者数161人 | 開催1回 参加者数 49人 |
| 竜宮探検 | 1回 9人 | 1回 15人 |

(イ) 生態系ネットワーク推進事業費 99,000円

| 生態系ネットワークづくり懇話会 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------|-------|-------|
| | 開催2回 | 開催2回 |

(ウ) 鳥獣保護管理事業費 128,310円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------|-------|-------|
| 有害鳥獣捕獲許可 | 74件 | 102件 |
| 愛がん飼養登録 | 1 | 0 |

(エ) 汐川干潟保全実践事業費 78,287円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 汐川干潟自然観察会 | 開催2回 参加者数 90人 | 開催1回 参加者数 46人 |
| 汐川干潟保全連絡会 | 1回 | 1回 |
| 汐川干潟保全実践活動 | 地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート | 地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート |

(オ) 自然環境保全啓発等事業費 24,799円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|--|
| | 自然環境啓発冊子頒布、とよはしネイチャースポット保全マニュアルによる情報発信 | 自然環境啓発冊子頒布、とよはしネイチャースポット保全マニュアルによる情報発信 |

(カ) 外来種駆除対策

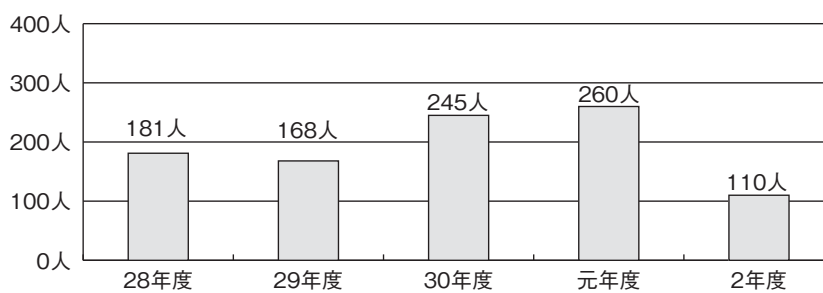
2,394,320 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-----------------|-----------------|
| | アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除 | アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除 |

[指 標]

指 標 名：自然環境保全啓発活動参加者数

指標説明：汐川干潟自然観察会参加者数＋表浜自然観察会参加者数＋竜宮探検参加者数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-----------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 6目 環境汚染対策費 <環境汚染防止対策の推進> | 61,725,698 | 2,341,000 | 0 | 0 | 59,384,698 |

1 発生源対策推進事業費 7,189,381 円 (環境保全課)

[総括]

大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に基づく規制対象工場・事業場に対し立入検査を実施し、規制基準の遵守状況の確認と基準超過の工場・事業場への指導を行った。今後も工場・事業場に対し、規制基準を遵守するよう指導・啓発を行っていく。

[実績及び成果]

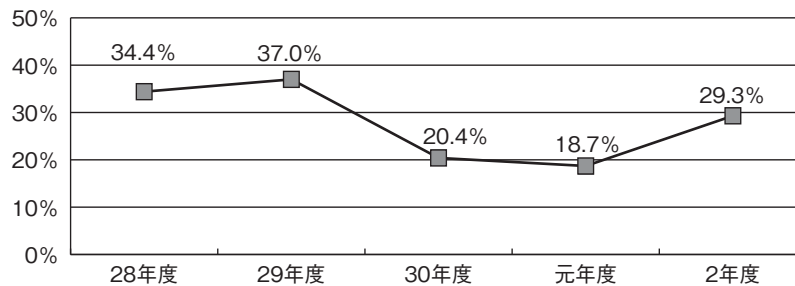
(1) 事業場監視指導事業費 7,189,381 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---------|---------|-----|---------|-----|
| 立 入 件 数 | 大気関係 | 42件 | 大気関係 | 94件 |
| | 悪臭関係 | 34 | 悪臭関係 | 23 |
| | 騒音・振動関係 | 55 | 騒音・振動関係 | 40 |
| | 水質関係 | 116 | 水質関係 | 233 |
| | 土壌関係 | 2 | 土壌関係 | 9 |

[指 標]

指 標 名：立入検査実施率

指標説明：立入検査実施工場・事業場数／前年度末の大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の届出工場・事業場件数



2 環境調査事業費

51,745,317 円（環境保全課）

〔総括〕

生活環境の保全と健康の保護を図るため、環境汚染物質の調査測定を実施した。今後も複雑、多様化する環境汚染物質への対応を図るとともに、環境監視体制を精査し、効率的かつ効果的な調査測定に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 大気環境調査事業費

26,983,624 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|-------------------|--|-------------------|--|
| | 調査場所 | 調査項目 | 調査場所 | 調査項目 |
| 大気汚染常時監視測定 | 今橋町 始め6か所 | 二酸化硫黄(3か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(6か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(6か所)、微小粒子状物質(5か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等 | 今橋町 始め6か所 | 二酸化硫黄(3か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(6か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(6か所)、微小粒子状物質(5か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等 |
| 有害大気汚染物質調査 | 今橋町 大崎町 大岩町 | ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等 | 今橋町 大崎町 大岩町 | ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等 |
| ダイオキシン類環境調査 | 今橋町 大崎町 原町 | ダイオキシン類 | 今橋町 大崎町 原町 | ダイオキシン類 |

| 備品購入 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------|--------------|----------------|
| | 微風向風速計発信器 1台 | エアサンプリングポンプ 6台 |

(2) 水環境調査事業費

20,581,693 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------------|----------------|---------------|----------------|---------------|
| | 調査場所 | 調査項目 | 調査場所 | 調査項目 |
| 河 川 | 28 河川 33 か所 | pH、DO、BOD、SS等 | 28 河川 33 か所 | pH、DO、BOD、SS等 |
| 海 域 | 新西浜沖 始め4か所 | pH、DO、COD等 | 新西浜沖 始め4か所 | pH、DO、COD等 |
| 地 下 水 | 向山大池町 始め6か所 | カドミウム、全シアン等 | 向山大池町 始め6か所 | カドミウム、全シアン等 |
| ダイオキシン類環境調査 | 水質6か所 土壌2か所 | ダイオキシン類 | 水質6か所 土壌2か所 | ダイオキシン類 |

| 備品購入 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------|--------|-------------|
| | 水位計 一式 | 光学式溶存酸素計 1台 |

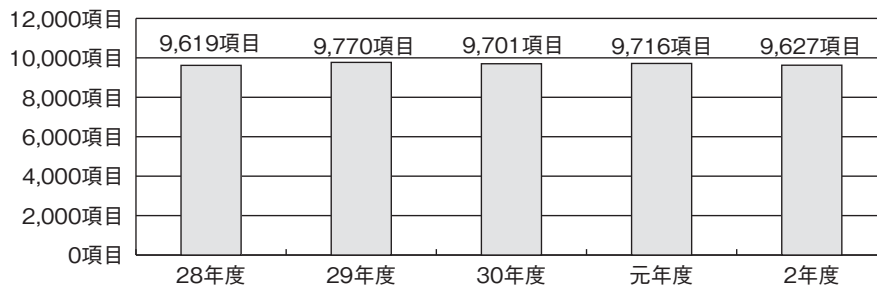
(3) 生活環境調査事業費 4,180,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|----------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|
| | 調 査 場 所 | 調 査 項 目 | 調 査 場 所 | 調 査 項 目 |
| 自動車騒音 等 測 定 | 環境基準の調査8か所 要請限度の調査4か所 | 自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等 | 環境基準の調査9か所 要請限度の調査4か所 | 自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等 |

[指 標]

指 標 名：環境調査延項目数

指標説明：大気、水質、騒音・振動に係る延項目数(地点数×測定回数×項目数)



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 7目 環境保全費 <環境保全実践行動の促進> | 4,787,882 | 0 | 0 | 0 | 4,787,882 |

1 環境保全推進事業費 788,258 円 (環境保全課)

[総括]

大気環境の保全のため、市民や協定締結事業者等に対し、エコドライブなどの大気汚染防止啓発を行った。また、三河湾を含めた水環境を保全するために、環境イベント等において、日常生活における排水対策の必要性を啓発した。今後も市民や企業などが、主体的に環境保全対策に取り組み、大気・水質浄化意識がより浸透するよう事業を推進していく。

[実績及び成果]

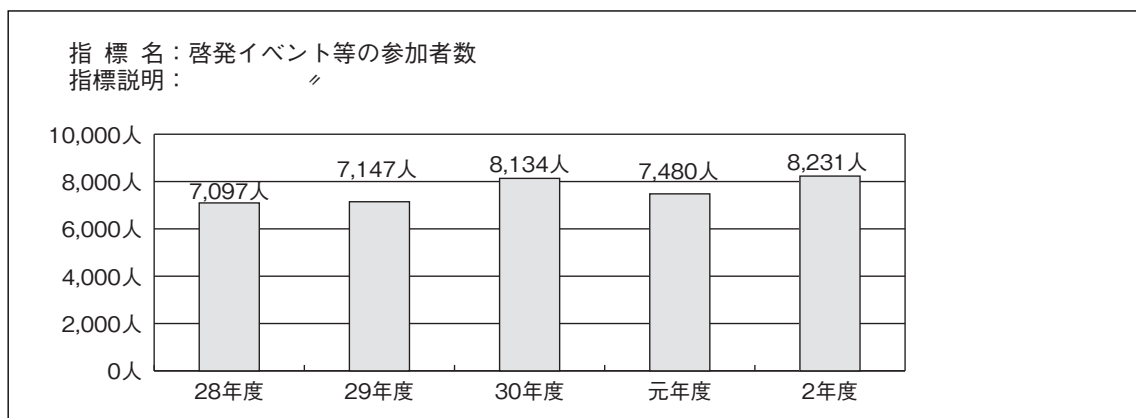
(1) 大気環境保全啓発事業費 19,800 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|---|
| | エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 121事業所 ・530のまち環境フェスタ内での啓発 | エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 123事業所 ・公用車へ啓発用マグネット貼付242台 |

(2) 水環境保全啓発事業費 768,458 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|---|
| | 啓発イベント等の参加者数 7,480 人 ・みなとフェスティバル ・530のまち環境フェスタ ・その他講習会ほか | 啓発イベント等の参加者数 8,231 人 ・豊橋まつり ・豊橋カーフリーデー2020 ・その他講習会・イベント |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|----------------------------|-----------------|-------------|-------|---------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 8目 浄化槽対策推進費 <生活排水対策の推進> | 21,012,352 | 11,353,000 | 0 | 356,000 | 9,303,352 |

1 浄化槽対策事業費 21,012,352円 (廃棄物対策課)

[総括]

水環境の保全の観点から生活排水の適正処理を図るため、単独処理浄化槽及び汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換者に対して設置費の一部を助成した。また、法定検査受検率等の向上を図るなど浄化槽の適正な維持管理を推進するため、関係事業者と連携し、市民への周知、個別訪問、文書指導等の取組みを行った。

[実績及び成果]

(1) 浄化槽指導事業費 2,308,352円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-------|-------|------|
| 浄化槽設置届等 | 592件 | 599件 | 1.2% |
| 法定検査指導 | 300 | 300 | 0.0 |

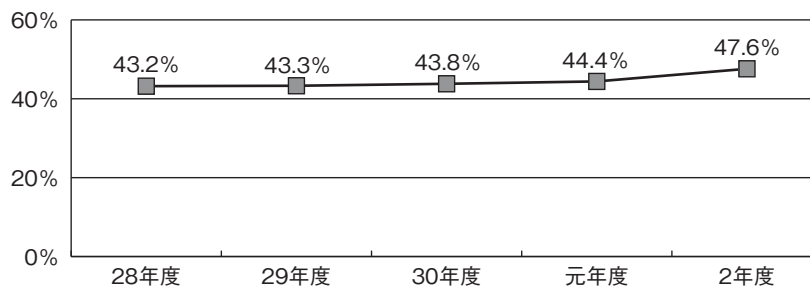
(2) 浄化槽設置費補助金 18,704,000円

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------|----|-------------|-------------|
| 浄化槽設置費補助 | 基数 | 43基 | 39基 |
| | 金額 | 18,076,000円 | 16,904,000円 |
| 単独処理浄化槽撤去費補助 | 基数 | 8基 | 20基 |
| | 金額 | 720,000円 | 1,800,000円 |

[指 標]

指 標 名：浄化槽適正管理率

指標説明：(清掃実施基数+保守点検実施基数+法定検査実施基数) / (設置基数×3)



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 9目 ごみ減量推進費 <ごみ減量・リサイクルの推進> | 55,586,434 | 0 | 0 | 7,524,486 | 48,061,948 |

1 ごみ減量推進事業費 55,586,434円 (環境政策課)

[総括]

使い捨てプラスチック削減のため、とよはしオリジナルマイボトルを製作・販売し、市役所庁舎1階に無料給水スポットを設置するとともに、マイボトル等に対応した店舗のマップを公開したほか、庁内会議でペットボトル飲料の提供を自粛するなど、マイボトル・マイカップの利用促進に取り組んだ。また、市のごみ出しルール周知のため、転入者に指定ごみ袋のセットを配布し、適切な分別に向けた啓発に取り組んだ。さらに、530運動環境協議会では食品ロスゼロ標語コンクールを実施したほか、エフエム豊橋で環境に関する情報を発信するなど、幅広い層の人に環境啓発を行うことができた。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による地域資源回収の活動自粛や各種イベントの中止により、古紙の回収量やごみ減量啓発事業への参加者は減少した。今後もごみ減量及び資源化を推進し、循環型社会の構築をめざす。

[実績及び成果]

(1) 地域資源回収事業費 43,947,156円

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------------------------|------|---------|---------|--------|
| 地域資源回収団体奨励金 | 実施団体 | 327団体 | 307団体 | △ 6.1% |
| | 実施回数 | 2,502回 | 2,308回 | △ 7.8 |
| | 回収量 | 6,759 t | 4,683 t | △30.7 |
| リサイクルステーション | 回収量 | 681 | 804 | 18.1 |
| 雑がみグランプリ実施期間中 (7～12月)の雑誌・雑がみ | 回収量 | 755 | 604 | △20.0 |

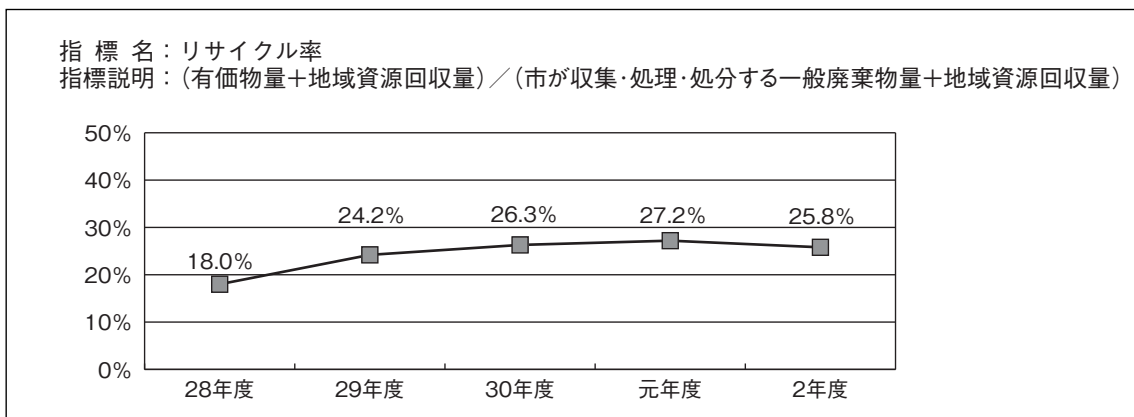
(2) ごみ減量啓発事業費 8,555,537円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------|--------|-------|
| 啓発事業への参加者数 | 1,976人 | 591人 |

(3) 530運動環境協議会補助金 3,083,741円

| 補 助 金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|------------|------------|
| | 5,000,000円 | 3,083,741円 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------------------------|-----------------|-------------|------------|------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 10目 ごみ収集費 <効率的なごみ収集体系の充実> | 531,297,470 | 0 | 23,000,000 | 13,876,020 | 494,421,450 |

1 家庭廃棄物収集事業費 531,297,470円 (収集業務課)

[総括]

地域環境の保全及び資源の有効利用を図るため、飛散防止ネットや生ごみ用コンテナの貸与などによりごみステーションの適正管理に努めるとともに、不適切なごみの持ち出しを防止するため、啓発チラシを作成し自治会を通じて市内全域に周知を行ったほか、資源物の持ち去り行為に対しては巡回パトロールを行った。

今後ごみの分別精度を高めるための指導・啓発や問題の多いごみステーションなどの適正化を進め、効果的かつ効果的な家庭ごみ収集体制の確保に努めていく。

[実績及び成果]

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 | 備 考 |
|-------------|------------|----------|----------|-------|-----------|
| 家庭ごみ 収集量 | も や す ご み | 46,631 t | 47,426 t | 1.7% | 週 2 回 収 集 |
| | 生 ご み | 14,728 | 14,149 | △ 3.9 | 週 2 回 収 集 |
| | プラマークごみ | 4,129 | 4,370 | 5.8 | 週 1 回 収 集 |
| | こ わ す ご み | 4,113 | 4,485 | 9.0 | 4 週 毎 収 集 |
| | 危 険 ご み | 178 | 202 | 13.5 | 4 週 毎 収 集 |
| | う め る ご み | 905 | 1,012 | 11.8 | 8 週 毎 収 集 |
| | 大 き な ご み | 269 | 297 | 10.4 | 戸 別 収 集 |
| | 資源 (びん・カン) | 3,418 | 3,389 | △ 0.8 | 週 1 回 収 集 |
| | 〃 (ペットボトル) | 532 | 524 | △ 1.5 | 週 1 回 収 集 |
| | 〃 (布類) | 1,023 | 1,126 | 10.1 | 8 週 毎 収 集 |
| | 計 | 75,925 | 76,979 | 1.4 | |
| ステーション数 | | 5,282か所 | 5,314か所 | 0.6 | |
| 死体処理数 | 犬 | 87匹 | 84匹 | △ 3.4 | |
| | 猫 等 | 2,077 | 2,145 | 3.3 | |
| | 計 | 2,164 | 2,229 | 3.0 | |
| ふれあい収集実施世帯数 | | 441世帯 | 450世帯 | 2.0 | |

(1) ごみ収集事業費 515,378,452円

- (ア) 収集業務費 445,760,688円
- (イ) 施設整備費 3,924,944円
- (ウ) 車両管理費 65,692,820円

| 車 両 購 入 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|----------|--------------------------------------|
| | ごみ収集車 3台 | ごみ収集車 3台 普通貨物自動車 1台 小型貨物自動車 1台 |

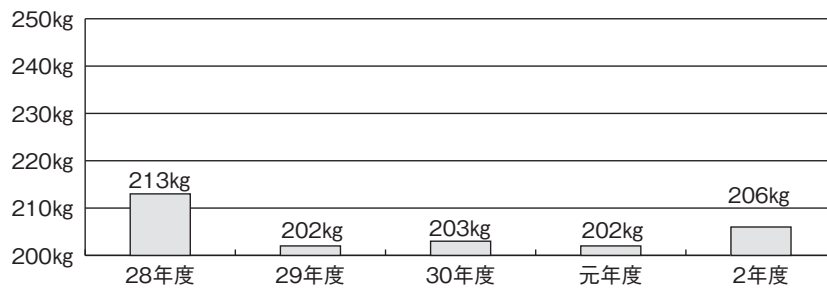
(2) ごみ収集指導啓発事業費 8,253,451円

(3) 大きなごみ戸別収集事業費 7,665,567円

[指 標]

指 標 名：1人当たりの家庭ごみ収集量

指標説明：家庭ごみ収集量／年度末豊橋市人口



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---|-----------------|-------------|------------|-------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 11目 廃棄物処理処分費 〈安全で安定した廃棄物処理施設等の整備・運営〉 | 3,897,440,669 | 9,589,000 | 71,400,000 | 810,343,155 | 3,006,108,514 |

1 資源化センター事業費 3,179,904,875 円 (資源化センター)

[総括]

市民から排出された「もやすごみ、こわすごみ、大きなごみ、びん・カン、ペットボトル、プラマークごみ、危険ごみ」及び市内業者より排出された「紙くず、木くず、繊維くず」等を適正に処理した。また、最終処分場で掘り起こした「仮埋立ごみ」を適正に焼却処理した。今後もリサイクルや溶融スラグ等の利用を促進し、ごみの安定処理に努めていく。

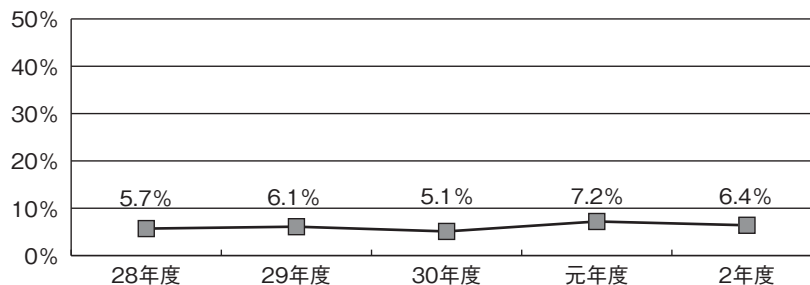
[実績及び成果]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---|--------------------------|--------------------------|----------------------------|
| ごみ焼却処理量 (内：最終処理場掘起しごみ量) | 115,592 t (5,714) | 112,625 t (7,302) | △ 2.6% (27.8) |
| ごみ再利用処理量 (内：危険ごみ処理量) (内：剪定枝チップ等生産量) | 13,930 (178) (999) | 13,664 (202) (798) | △ 1.9 (13.5) (△20.1) |
| こわすごみ(西部)処理量 | 4,108 | 4,261 | 3.7 |
| びん・カン等処理量 | 3,418 | 3,389 | △ 0.8 |
| ペットボトル処理量 | 532 | 524 | △ 1.5 |
| プラマークごみ処理量 | 4,129 | 4,370 | 5.8 |

- (1) ごみ焼却処理事業費 2,189,818,228 円
- (2) ごみ再利用事業費 188,648,432 円
- (3) 資源ごみ処理事業費 104,302,346 円
- (4) プラスチックごみ処理事業費 118,817,143 円

[指標]

指標名：資源化センター施設の残さ率
 指標説明：埋立処理する焼却処理施設・再利用処理施設・資源リサイクルセンターの残さ率



2 資源化センター施設整備事業費 30,397,192 円（施設建設室）

[総括]

豊橋田原ごみ処理施設の整備に向けて、「豊橋田原ごみ処理施設整備計画（改訂版）」、「環境影響評価方法書（変更）」及び「都市計画（変更）の概略の案」を公表した。今後も新施設の整備事業を順次推進していく。

[実績及び成果]

(1) 資源化センター施設整備事業費 30,397,192 円

3 埋立処理事業費 151,128,851 円（埋立処理課）

[総括]

ごみ非常事態宣言により仮埋立されたもやすごみの掘起しを行ったほか、市民から日常生活に伴って排出される廃棄物について適正に処理した。また、分別精度の向上やスラグの有効利用等により、残容量率の減少抑制に努めた。仮埋立ごみの掘起し終了後は、既に埋め立てられた廃棄物を掘り起こして分別し、溶融や再埋立をするなど減容に取り組み、最終処分場の延命を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 埋立処理事業費 151,128,851 円

(ア) 埋立関連工事費 10,987,900 円

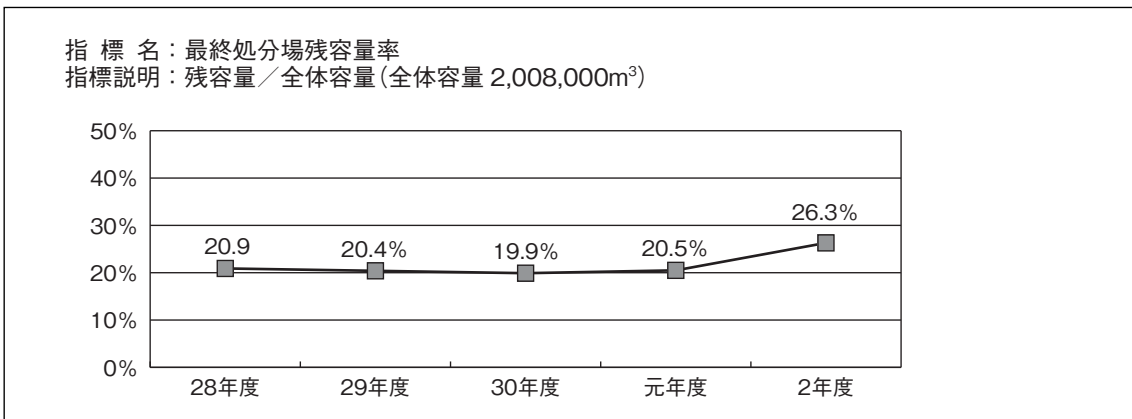
| 内 容 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|--------|--------|--------|--------|----|
| | 施設整備工事 | 4件 | 施設整備工事 | 2件 |
| 農地補修工事 | 1 | 農地補修工事 | 1 | |

(イ) 仮埋立ごみ掘起処理処分事業費 7,056,544 円

(ウ) 管理運営費 133,084,407 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------|
| 一般廃棄物処分量 | 11,592 t (8,352m ³) | 10,735 t (8,456m ³) | △ 7.4% (1.2%) |
| 産業廃棄物処分量(公共) | 319 (532) | 323 (538) | 1.3 (1.1) |
| 処分実績量(()内覆土含む) | 11,911 (9,298) | 11,058 (9,890) | △ 7.2 (6.4) |

[指 標]



※平成 28 年度、令和元年度の残容量率は、残容量を埋立容量の累計値から現況測定値に置き換えて算出

※令和 2 年度に埋立処分計画高を見直したことにより、全体容量を 1,850,000 m³から 2,008,000 m³に変更

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 12目 廃棄物適正処理対策費 <廃棄物の適正処理の促進> | 48,883,606 | 6,000,000 | 0 | 4,807,806 | 38,075,800 |

1 一般廃棄物対策事業費 13,040,305 円 (廃棄物対策課)

[総括]

一般廃棄物処理業の許可事務、廃棄物投入許可証の交付事務のほか、不法投棄対策や事業系ごみ対策を行った。不法投棄対策としては、監視カメラや看板の設置により未然防止を図るとともに、警備会社による市内全域の休日、夜間、早朝の監視を行い、早期発見・早期対応に努めた。事業系ごみ対策としては、市内の事業者向けに「事業系ごみ適正処理セミナー」の開催や、事業者を対象とした「事業系ごみ適正処理啓発事業」を実施するなど事業系ごみの処理方法等について周知した。また、「豊橋市不良な生活環境の解消に関する条例」の施行に伴い、いわゆる「ごみ屋敷」の原因者等に対する生活相談や見守り等の福祉的・社会的支援により、不良な生活環境の解消を図った。今後も一般廃棄物の適正処理推進に向けた取組みを進める。

[実績及び成果]

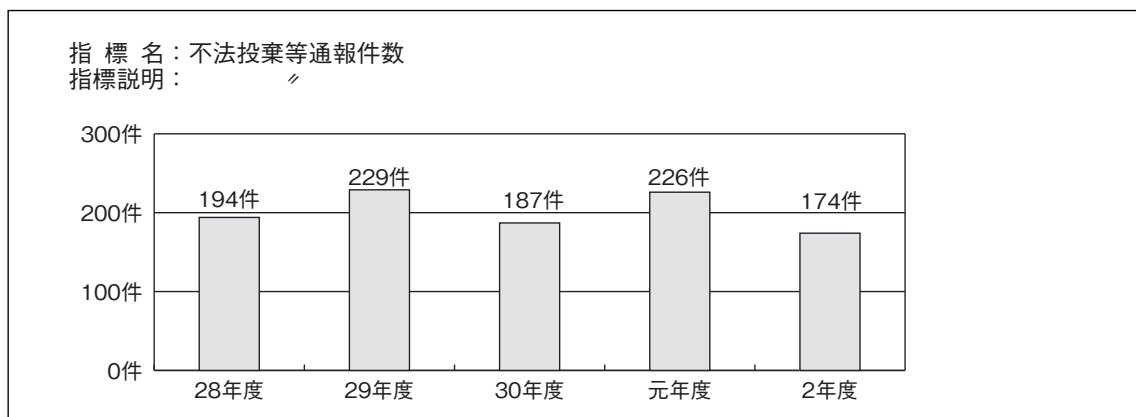
(1) 一般廃棄物指導監督事務費 12,888,465 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|--------------|-------|-------|--------|
| 不法投棄等通報 | 226件 | 174件 | △23.0% |
| 一般廃棄物収集運搬業許可 | 18 | 0 | 皆減 |
| 廃棄物投入許可 | 2,547 | 2,756 | 8.2 |
| 不良な生活環境相談件数 | — | 160 | 皆増 |

(2) し尿対策交付金 151,840 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------|----------|----------|
| 生活保護世帯等料金交付金 | 141,640円 | 151,840円 |
| 災害被災世帯料金交付金 | 0 | 0 |

[指 標]



2 産業廃棄物対策事業費

35,843,301 円（廃棄物対策課）

[総括]

産業廃棄物の適正処理を推進するため、苦情対応や立入記録を庁内型GISで管理し、効率的、統一的な指導・監視を強化するとともに、産業廃棄物処理施設について、職員による監視が困難な夜間の監視を警備会社に委託し、監視体制の強化を図った。また、廃棄物を多量に排出する事業者に対しても、重点的に立入調査を行い、廃棄物の適正処理の啓発を行った。「豊橋市産業廃棄物処理施設及び汚染土壌処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例」については、事業者の事業計画に係る手続きの進捗状況を市ホームページで公開し、広く情報提供を行うことにより、産業廃棄物処理施設等に対する住民理解の向上を図ることで紛争の予防に努めた。令和2年度は、平成28年8月から施行された改正PCB特別措置法を踏まえ、前年度に引き続きPCB含有機器等を所有する疑いのある事業所等への立入をさらに強化し、処理期限内の適正処理指導を実施した。

[実績及び成果]

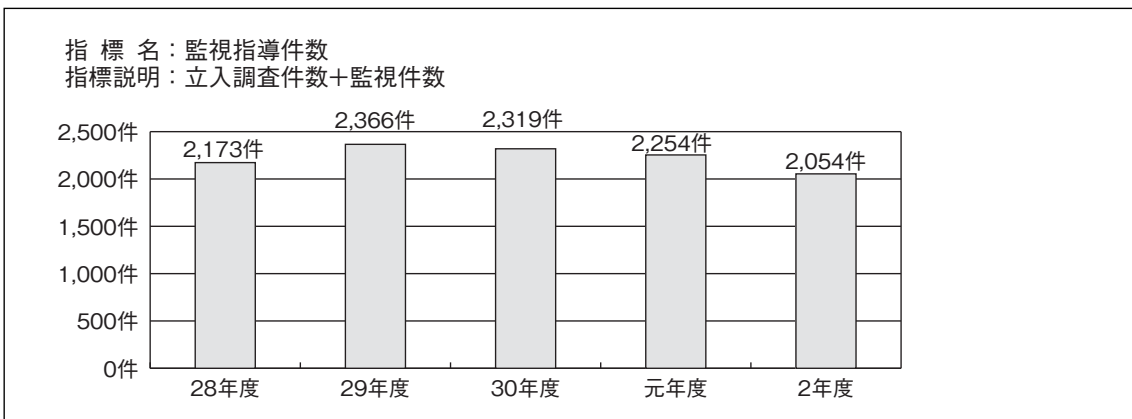
(1) 産業廃棄物処理等許可事務費 145,749 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|----------------|--------|--------|------|
| 産業廃棄物関係申請書等の受付 | 5,186件 | 5,187件 | 0.0% |

(2) 産業廃棄物指導監督事務費 35,697,552 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 監視指導件数 | 2,254件 | 2,054件 | △ 8.9% |
| 立 入 調 査 | 1,294 | 1,063 | △17.9 |
| 施 設 等 監 視 | 960 | 991 | 3.2 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5 款 労 働 費 | 272,100,038 | 55,136,426 | 0 | 151,724,720 | 65,238,892 |
| 1 項 労 働 費 | 272,100,038 | 55,136,426 | 0 | 151,724,720 | 65,238,892 |
| 2 目 就 業 促 進 費 < 就 業 の 促 進 支 援 > | 86,632,587 | 55,136,426 | 0 | 1,705,720 | 29,790,441 |

1 職業訓練センター事業費 5,441,613 円 (商工業振興課)

[総括]

職業訓練センターでは、円滑な職業訓練のため適正な運営管理を行った。今後も技能労働者の訓練の充実と利用者数の増加をめざしていく。令和2年度は、緊急事態宣言の発令に伴い、4月14日から5月24日まで休館にするなど国や愛知県の新型コロナウイルス感染症対策に合わせた運営を行った。

[実績及び成果]

(1) 職業訓練センター管理運営事業費 4,241,613 円

[施設利用者]

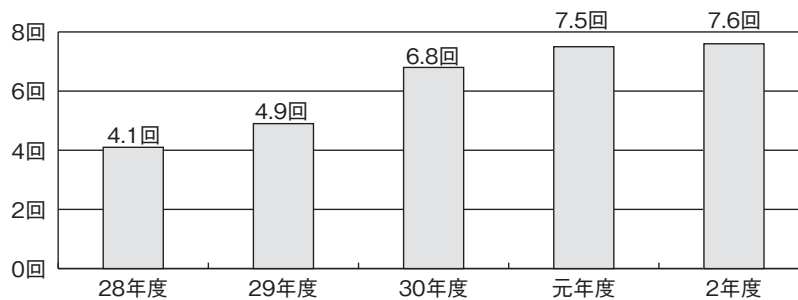
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-----------|-----------|-------|
| 開 館 日 数 | 301日 | 280日 | △7.0% |
| 利 用 者 数 | 延 25,713人 | 延 20,311人 | △21.0 |

[普通職業訓練の普通課程訓練生数]

| 内 容 | 科 目 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----|-----------|-----------|-------|-------|
| | | 木 造 建 築 科 | 4人 | 5人 |
| | 建 築 板 金 科 | 5 | 4 | △20.0 |
| | 造 園 科 | 6 | 4 | △33.3 |
| | 木 工 科 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 計 | 15 | 13 | △13.3 |

[指 標]

指 標 名：職業訓練センター1日当たりの教室利用回数
指 標 説 明：教室利用回数／開館日数



2 就業促進事業費

71,918,374 円（商工業振興課）

[総括]

新型コロナウイルスの感染拡大により就職活動の日程が後ろ倒しになった学生を支援するため、若者就職サポート塾で新規学卒者などへの就労支援を行ったほか、新規高卒者を対象とした企業説明会、市内高校生とその保護者を対象とした企業訪問を開催した。また、自動車運送業者を対象に従業員の大型運転免許等の取得費用を助成したほか、企業と一体となった奨学金返還支援、企業の働き方改革を推進するためのセミナー及び伴走支援の実施、企業と学生のマッチング機会の向上に対する支援を行った。さらに、女性の雇用・定着に必要な職場環境づくりを支援した。今後も若年者への就労支援及び企業の人材確保に向けた支援を効果的に行っていく。

[実績及び成果]

(1) 若年者就職支援事業費 23,234 円

| 内 容 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---|---|--|---------------------------------------|---|
| | 若者就職サポート塾in豊橋 第1回 4.19 第2回 5.17 第3回 6.26 第4回 9.3 第5回 2.14 第6回 中止 | | | 若者就職サポート塾in豊橋 第1回 7.16 第2回 9.2 第3回 2.8 第4回 3.18 |
| 高校生企業説明会 開催日 12.2、3 | | | 高校生企業説明会 開催日 12.4 | |
| 高校生企業訪問 新型コロナウイルス感染拡大により中止 参加延 538人 | | | 高校生企業訪問 開催日 3.24、25、26 参加延 618人 | |

(2) 雇用確保安定事業費 70,595,140 円

(ア) 大型運転免許等取得支援補助金 2,407,000 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|------|-------------|------|
| | | 24 件 | 2,009,000 円 | 28 件 |

(イ) U I J ターン就業促進補助金 0 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|-----|-----------|-----|
| | | 5 件 | 634,000 円 | 0 件 |

(ウ) 女性雇用環境整備事業費 6,154,000 円

[女性あんしん職場づくり補助金] 6,154,000 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|------|-------------|-----|
| | | 10 件 | 6,224,000 円 | 8 件 |

[女性スキルアップ支援補助金] 0 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|-----|-------|-----|
| | | 0 件 | 0 円 | 0 件 |

(エ) 若者を呼び込むための奨学金返還支援事業費 2,613,900 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|------|-------------|------|
| | | 15 件 | 1,785,000 円 | 17 件 |

(オ) 中小企業採用戦略支援事業費 926,240 円

〔ダイバーシティ雇用促進啓発事業費〕 50,000 円

| セミナー受講者数 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|----------|-------|------|-------|-------------|
| | | 42 人 | | WEBセミナー受講者数 |

〔働きやすい職場づくり啓発事業費〕 826,240 円

| 内 容 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----|---|--|--|--|
| | 働きやすい職場づくりセミナー 参加企業 延 42 社 第1回 9.11 第2回 10.8 第3回 11.12 | | 働きやすい職場づくりWEBセミナー 参加企業 延 29 社 第1回 6.16 第2回 7.14 第3回 11.18 コンサルタントによる伴走支援 参加企業 1 社 | |

〔インターンシップ支援補助金〕 0 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|-----|-----------|-----|
| | | 2 件 | 152,000 円 | 0 件 |

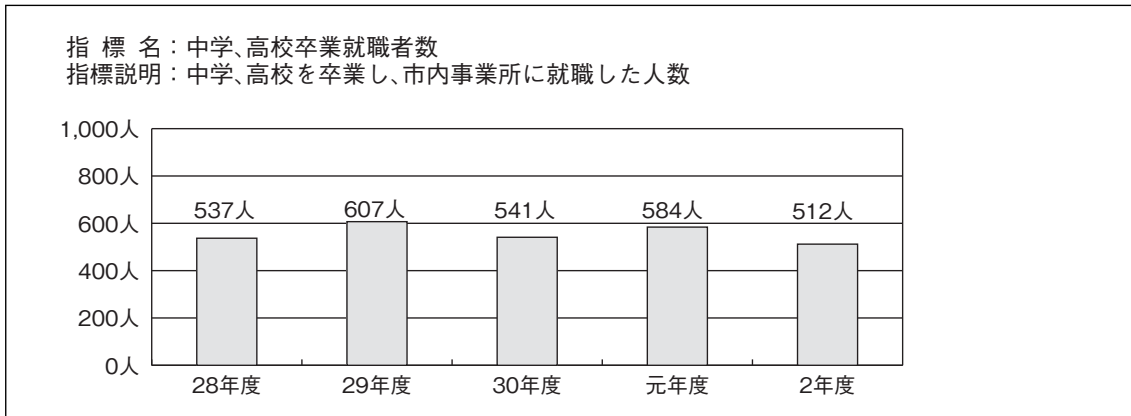
〔採用ホームページ改善補助金〕 50,000 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|-----|-----------|-----|
| | | 2 件 | 100,000 円 | 1 件 |

(カ) 移住支援事業費補助金 0 円

| 補 助 金 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------|-----|-------|-----|
| | | 0 件 | 0 円 | 0 件 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 3目 勤 労 者 福 祉 費 < 勤 労 者 福 祉 の 充 実 > | 159,384,715 | 0 | 0 | 150,019,000 | 9,365,715 |

1 勤労者会館管理運営事業費 608,553 円 (商工業振興課)

[総括]

勤労者の福祉の増進及び文化の向上並びに雇用の促進を図る施設として、適正な管理運営を行った。令和2年度は、緊急事態宣言の発令に伴い、4月14日から5月24日まで休館にするなど国や愛知県の新型コロナウイルス感染症対策に合わせた運営を行った。

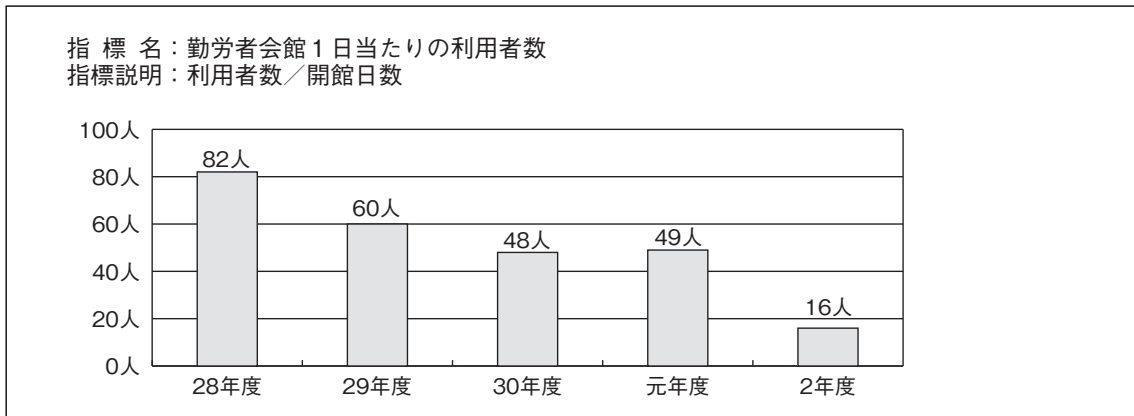
[実績及び成果]

(1) 勤労者会館管理運営事業費 608,553 円

[施設利用者]

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------|-----------|----------|--------|
| 開 館 日 数 | 348日 | 308日 | △11.5% |
| 利 用 者 数 | 延 16,896人 | 延 4,900人 | △71.0 |

[指 標]



※ 28年度及び29年度は勤労青少年ホームと労働会館の1日当たりの利用者数を足したもの

2 勤労者対策事業費

8,232,262 円（商工業振興課）

[総括]

勤労者が安心して働くための相談窓口の設置や、勤労者福祉を充実させるための活動に対し支援を行った。今後も勤労者福祉において有意義な事業を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 勤労者文化体育事業補助金 5,130,000 円

| 補助金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|------------|------------|
| | 5,130,000円 | 5,130,000円 |

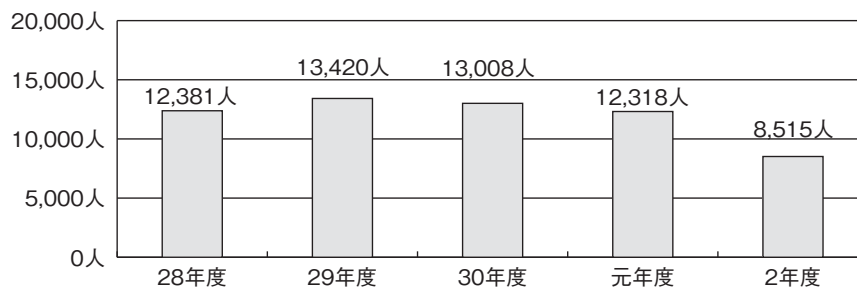
- (2) 勤労者福祉サービスセンター事業費補助金 1,977,500 円

| 補助金 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|------------|------------|
| | 1,987,400円 | 1,977,500円 |

[指標]

指標名：文化・体育事業等への参加延人数

指標説明：勤労者文化体育事業参加者延人数＋労働福祉団体事業参加者延人数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---|-----------------|-------------|-------------|------------|---------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 6 款 農 林 水 産 業 費 | 1,674,434,930 | 249,768,553 | 249,500,000 | 18,589,293 | 1,156,577,084 |
| 1 項 農 林 水 産 業 費 | 594,956,203 | 90,424,053 | 0 | 5,868,318 | 498,663,832 |
| 3 目 農 業 推 進 強 化 費 <農業者の確保・育成と経営力の強化> | 78,827,866 | 39,900,080 | 0 | 340,650 | 38,587,136 |

1 農業人材確保育成事業費 11,895,792 円 (農業企画課・農業支援課・農業委員会)

[総括]

農業人材の確保・育成を図るため、認定農業者や認定新規就農者制度の普及啓発を行うとともに、関係団体と連携して、女性農業者の活動支援に取り組んだ。また、農業者の経営安定及び農業後継者の就農を促進するため、各種の助成を行った。令和2年度は、新たな農業人材確保と障害者の個性を生かす場の創出を目指し、検討会議の開催や農業者と福祉事業所とのマッチングを実証するなど、農福連携を推進した。農業者の高齢化や農家数が減少する中、今後も中心経営体をはじめとした担い手の確保・育成と農地集積の推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 農業経営基盤強化促進対策事業費 448,966 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-----------------|---------|---------|------|
| 中心経営体への農地利用集積面積 | 1,293ha | 1,304ha | 0.9% |
| 中 心 経 営 体 数 | 414人 | 414人 | 0.0 |

(2) 研修事業費 0 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|-------------|-------|-------|-----|
| 研 修 受 講 者 数 | 92人 | 0人 | 皆減 |

(3) 女性農業者育成研修事業費 26,146 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比 較 |
|---------------|-------|-------|---------|
| 講演会や懇談会等の実施回数 | 13回 | 6回 | △ 53.8% |

(4) 農業後継者花嫁花婿対策推進事業補助金 213,180 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|------------------------|-----------|
| 内 容 | 結婚相談会、婚活セミナー、男女交流会等の開催 | 男女交流会等の開催 |
| 補 助 金 | 540,233円 | 213,180円 |

(5) 農業人材力強化総合支援事業費補助金 4,500,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|--------------------|--------------------|
| 内 容 | 経営開始直後の新規就農者に対する助成 | 経営開始直後の新規就農者に対する助成 |
| 補 助 金 | 9,506,963円 | 4,500,000円 |

(6) 大型特殊免許取得支援事業補助金 56,700 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|--|--|
| 内 容 | 認定農業者の家族や従業員、女性農業者が大型特殊免許を取得する際に要する経費の一部に対する助成 | 認定農業者の家族や従業員、女性農業者が大型特殊免許を取得する際に要する経費の一部に対する助成 |
| 補 助 金 | 16,300円 | 56,700円 |

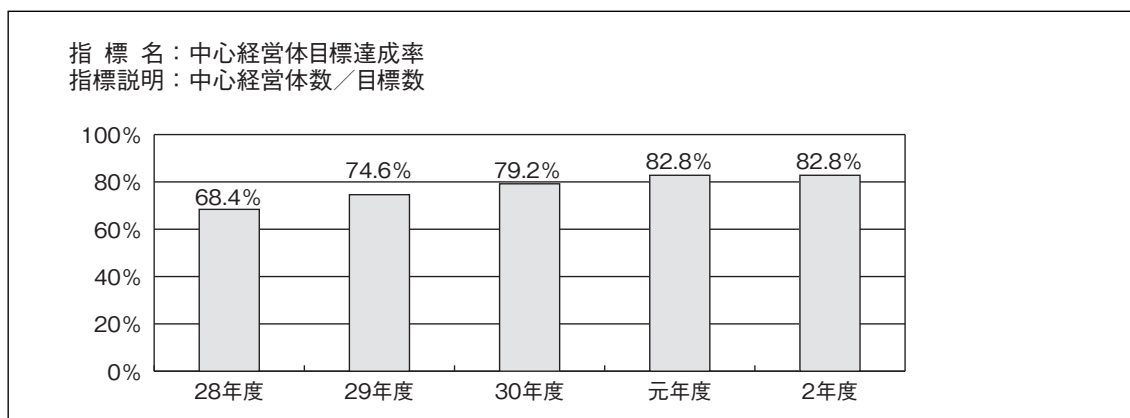
(7) 農業経営発展支援事業補助金 4,633,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 内 容 | 認定農業者の後継者が就農する際又は法人化する際の設備投資等に対する助成 | 認定農業者の後継者が就農する際又は法人化する際の設備投資等に対する助成 |
| 補 助 金 | 2,879,000円 | 4,633,000円 |

(8) 農福連携推進事業費 2,017,800 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|------------------|----------------------------|
| | 作業手順書の作成、検討会議の開催 | 農業者と福祉事務所とのマッチング実証、検討会議の開催 |

[指 標]



2 農業経営対策事業費 5,410,035 円（農業企画課）

[総 括]

令和2年7月の豪雨による災害支援のため、農業施設の再建や修繕等の助成を行った。

[実績及び成果]

(1) 強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金 2,898,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------------------|---------------|
| 内 容 | 199件 413,233,776円 | 4件 2,898,000円 |

3 農業生産流通事業費

17,461,162 円（農業支援課）

[総括]

有害鳥獣による農産物被害の拡大を防ぐため、地域住民が主体となった駆除団体の組織化を進め、適切で安全な駆除活動が実施できるよう支援を行った。また、農家の経営安定を図るため、各種の助成を行った。今後も、農家の健全な経営に資するよう支援に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 水田農業経営所得安定対策推進費補助金 3,478,000 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|------------------------------------|------------------------------------|
| 内 容 | 豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成 | 豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成 |
| 補 助 金 | 3,401,000円 | 3,478,000円 |

(2) 農作物鳥獣被害防止事業費 7,971,492 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------|-------|-------|
| 地域駆除団体数 | 8団体 | 8団体 |
| 安全講習会の開催 | 1回 | 1回 |

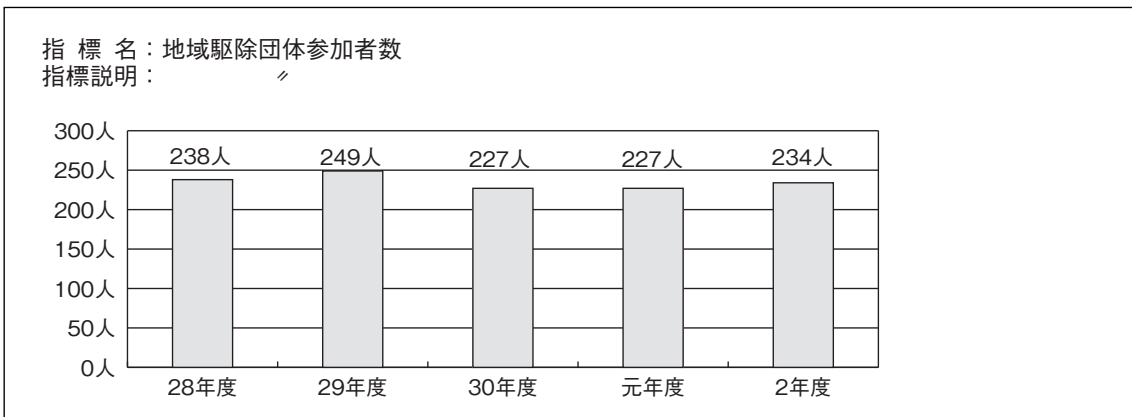
(3) 畜産共進会費 9,498 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------|-------|-------|
| 共進会の開催 | 1回 | 1回 |

(4) 鶏卵生産者経営安定対策事業補助金 6,002,172 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|---------------------|---------------------|
| 内 容 | 生産者が負担する経費の一部に対する助成 | 生産者が負担する経費の一部に対する助成 |
| 補 助 金 | 5,798,412円 | 6,002,172円 |

[指 標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---|-----------------|-------------|-------|-----------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 4目 農漁業発信力強化費 <とよはし農漁業の発信力強化と海外輸出の促進> | 51,482,266 | 8,134,790 | 0 | 1,505,972 | 41,841,504 |

1 農産物ブランド化推進事業費 6,712,644円 (農業企画課・農業支援課)

[総括]

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせた事業もあったが、手法を見直して首都圏においてPRを実施したほか、消費宣伝事業等に対する助成を行い、豊橋産農産物の需要や消費の拡大を図った。今後も本市農産物の長をわかりやすく消費者に伝えながら、より効果的なプロモーションを継続して行っていく。

[実績及び成果]

(1) 農産物プロモーション事業費 6,712,644円

(ア) 豊橋産農産物販売促進事業補助金 3,600,000円

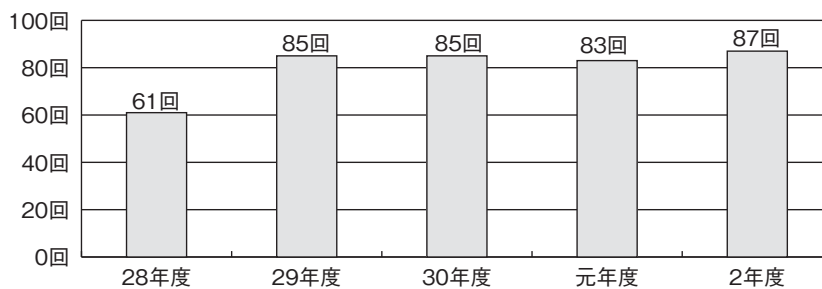
| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|
| 内 容 | 産地交流事業、販売促進事業、消費 宣伝事業、商品開発事業 | 産地交流事業、販売促進事業、消費 宣伝事業、商品開発事業 |
| 事 業 費 | 3,639,457円 | 7,527,268円 |
| 補 助 金 | 1,800,000 | 3,600,000 |

(イ) 豊橋産農産物PR事業費 3,112,644円

| | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|---|
| 内 容 | 首都圏における駅貼り広告やSNS での情報発信と連動した豊橋フェア の開催、交通会館マルシェの定期的 な実施、メルセデスマーレストラン でのPRなど | 首都圏におけるSNSでの情報発信 と連動した豊橋フェアの開催、J A 全農が運営するレストランでのPR |

[指 標]

指 標 名：豊橋産農産物販売促進活動実施回数
指標説明：〃



2 豊橋田原広域農業推進事業費 3,001,000 円（農業企画課）

〔総括〕

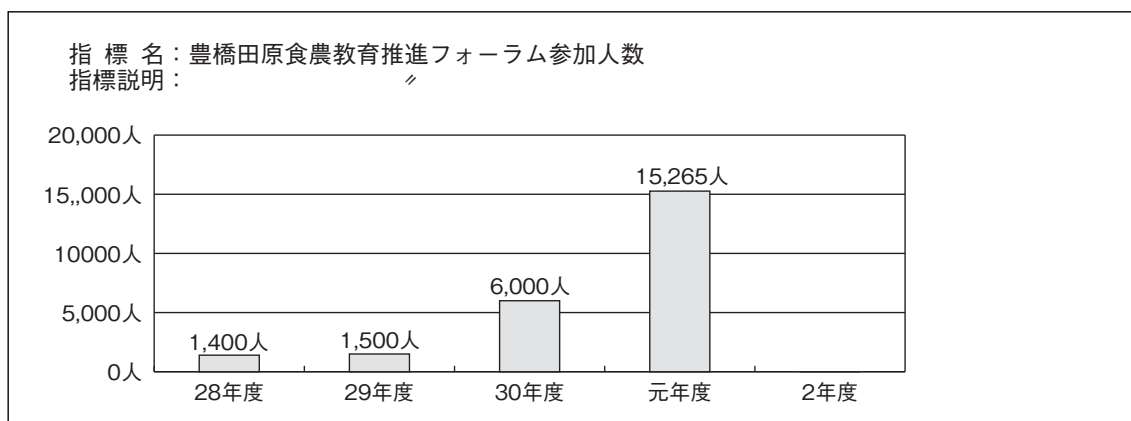
豊橋田原地域における農業の活性化を目的として、農産物輸出と食農教育を推進するとともに、ファーマーズマーケットの活動を推進した。新型コロナウイルス感染症の影響により、食農教育推進フォーラム等の一部事業は実施できなかったものの、農産物収穫体験、農産物PR動画の作成・配信、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証取得等を行った。今後も広域連携に基づく各種事業を継続的に実施することにより地域農業の活性化を推進していく。

〔実績及び成果〕

(1) 豊橋田原広域農業推進会議負担金 3,001,000 円

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------|--|---|
| 事業主体 | 豊橋田原広域農業推進会議 | 豊橋田原広域農業推進会議 |
| 内容 | 食育体験講座、花育講座の実施、食農教育推進フォーラムの開催、産直・農業体験スタンプラリーの開催、ファーマーズマーケットの活動推進、香港の常設店舗における販売促進活動、中部国際空港での試食販売、輸出のための国内商談及び情報収集など | 農産物収穫体験、産直デジタルスタンプラリーの開催、ファーマーズマーケットの活動推進のための三遠ネオフェニックスとのPR動画作成、香港の常設店舗における販売促進活動、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証及び残留農薬検査など |
| 事業費 | 9,577,830円 | 11,005,480円 |
| 負担金 | 3,001,000 | 3,001,000 |

〔指標〕



3 海外販路開拓推進事業費

15,003,690 円（産業政策課・農業企画課）

[総括]

加工食品や農産物の海外販路を開拓するため、海外ECサイトにおける販路開拓の取組みや常設店舗での販売を行った。また、前年度に引き続き、田原市、浜松市、飯田市の三遠南信連携によりマレーシアへ既存品目を継続して輸出するとともに、新たな品目の提案や販促資材を活用したPRを行った。海外販路の開拓には継続的な取組みが必要となるため、今後も引き続き効果的な事業の推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 海外販路拠点設置可能性調査事業費 8,118,050 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--------------------------|-----------------------------------|
| | 日本貿易振興機構クアラルンプール事務所派遣 1名 | 日本貿易振興機構クアラルンプール事務所及び名古屋事務所派遣 各1名 |

(2) 海外販路拠点設置事業費 2,150,000 円

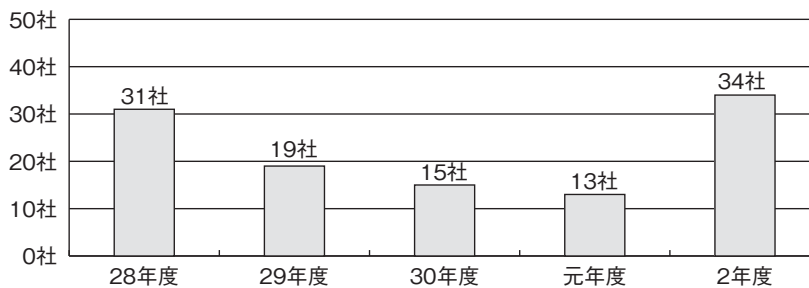
| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|---|
| | 香港「味の誘惑」及びシンガポール「CHOCO EXPRESS」における常設販売コーナーの設置 ・販売商品数 98点 ・販売企業数 13社 | 香港「味の誘惑」における常設販売コーナーの設置 ・販売商品数 64点 ・販売企業数 15社 |

(3) 豊橋産農産物海外販路開拓事業費 4,735,640 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---|--|
| | マレーシア、タイ、シンガポールの常設店舗における試食販売、マレーシアのバイヤー招へいのほか、鮮度保持実証試験の実施など | マレーシア、タイ、シンガポールの常設店舗への既存品目の輸出継続、新たな品目の提案、販促資材を活用したPR、鮮度保持実証試験の実施など |

[指標]

指標名：加工食品等の海外販路の開拓に取り組んだ企業数
 指標説明：海外販路拠点販売企業数＋海外ECサイト事業登録企業数



4 道の駅食農拠点推進事業費 14,716,676 円（農業企画課）

[総括]

開駅2年目となる道の駅「とよはし」では、農業者の6次産業化商品の開発支援・販売促進や地元農産物の購買促進のためSNSでの発信等を行ったことにより来場者数196万人を達成した。

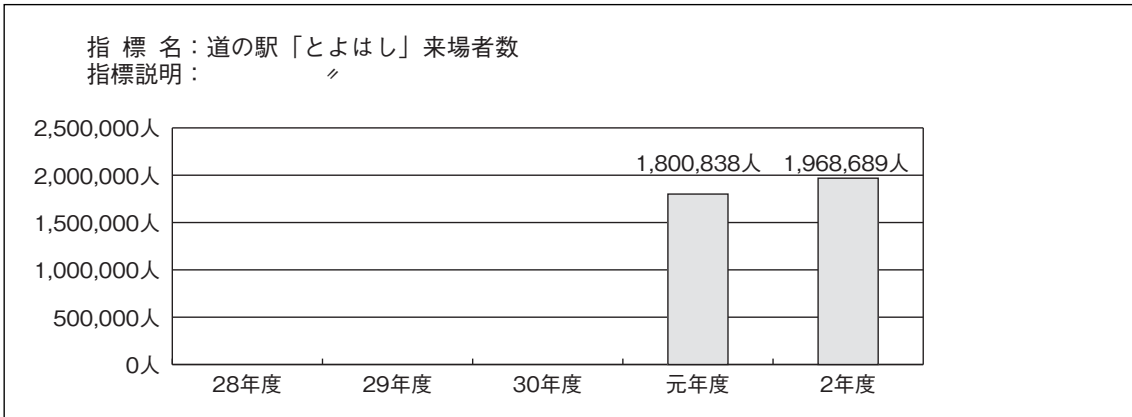
今後も食と農の拠点として、多様で魅力的なサービスの提供、市内外への情報発信を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 道の駅食農拠点推進事業費 14,716,676 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|--|-------|
| | 6次産業化のセミナー開催や商品開発、地元農産物を活用したライブキッチンの実施 | |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 5目 次世代農業推進費 ＜次世代農業の推進＞ | 57,668,531 | 28,531,000 | 0 | 0 | 29,137,531 |

1 農業経営高度化事業費 48,819,400円 (農業支援課)

[総括]

栽培技術の高度化と経営規模の拡大を促進することを目的に、次世代施設園芸愛知県拠点のほか、農業者が行う複合型環境制御機能を備えた園芸施設の整備や農業機械のリース導入等に対して支援した。今後も農業経営の近代化を促し、産地競争力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金 16,675,400円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------------------------|-------------------------|
| 内 容 | 次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成 | 次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成 |
| 補 助 金 | 16,675,400円 | 16,675,400円 |

(2) 先端農業技術普及支援事業補助金 3,613,000円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|----------------------------|----------------------------|
| 内 容 | 複合型環境制御機能を備えた園芸施設の整備に対する助成 | 複合型環境制御機能を備えた園芸施設の整備に対する助成 |
| 補 助 金 | 17,491,000円 | 3,613,000円 |

(3) 産地生産基盤パワーアップ事業補助金 28,531,000円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|----------------------|-------------------|
| 内 容 | 低コスト耐候性ハウスの整備等に対する助成 | 農業機械のリース導入等に対する助成 |
| 補 助 金 | 234,232,000円 | 28,531,000円 |

2 次世代農業推進事業費

8,757,999 円（地域イノベーション推進室・農業企画課）

[総括]

全国でも有数の先端施設園芸が集積する本地域における生産性の向上や農業後継者の育成等の課題に対処するため、地域農業の発展に資する栽培実証実験を行ったほか、植物工場の管理者等先端的な農業を担う次世代人材の育成に対し助成した。今後も、本市農業の持続と更なる発展のため、先端農業技術の普及促進に努めていく。

[実績及び成果]

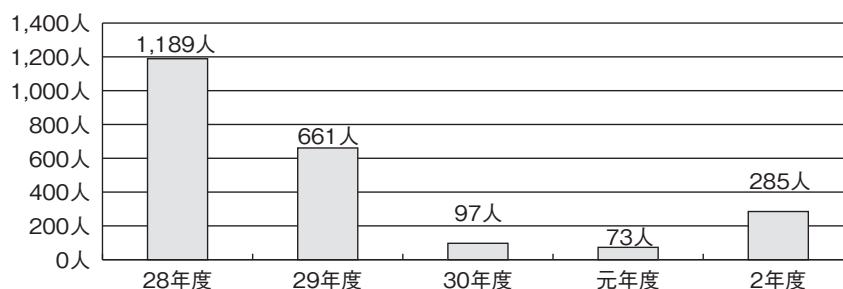
(1) 次世代「農力」UP アカデミー事業補助金 8,257,999 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|---|---|
| 内 容 | 全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び大学生等のインターンシップ受入れを実施 | 全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び小学生から大学生までを対象としたふるさと農業講座を実施 |
| 補 助 金 | 10,080,000円 | 8,257,999円 |

[指 標]

指 標 名：講座等参加者数

指標説明：IGHセミナー等参加者数(平成28・29年度)+次世代「農力」UP事業講座受講者数



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|-------|-----------|-----------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 6目 地産地消推進費 <地産地消の促進> | 4,954,216 | 0 | 0 | 2,343,316 | 2,610,900 |

1 都市農村交流促進事業費 4,508,549円 (農業支援課)

[総括]

市民が土に親しみ生産の喜びを体験することで農業への知識や理解を深める機会を提供するため、市民ふれあい農園の管理運営を行った。今後も市民の農業への理解及び関心を高めるための事業や農産物の消費拡大を図るための事業を行っていく。

[実績及び成果]

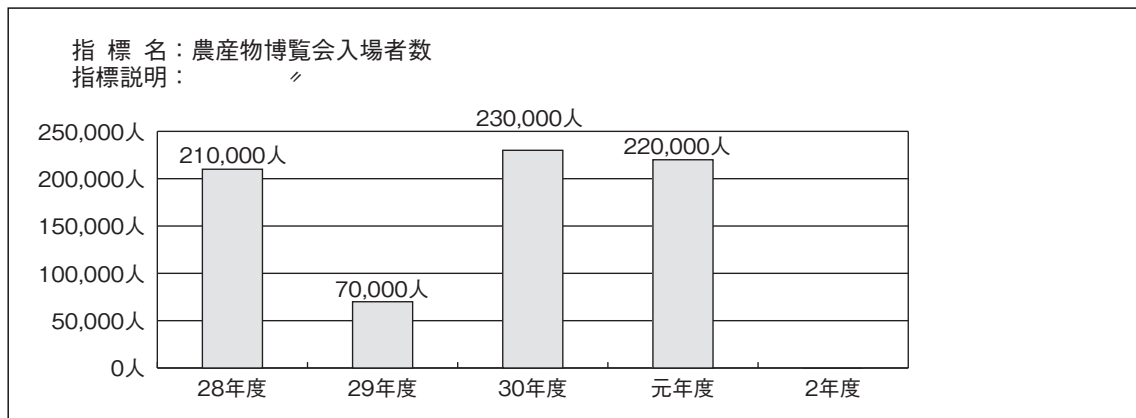
(1) 市民ふれあい農園事業費 4,508,549円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------|-------|-------|
| 農園利用者数 | 231人 | 234人 |
| 栽培講習会の開催 | 4回 | 3回 |

(2) 農産物博覧会振興補助金 0円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------|------------|-------|
| 開催期間 | 10.19~20 | — |
| 開催場所 | 豊橋公園 | — |
| 事業費 | 3,260,000円 | — |
| 補助金 | 3,000,000 | — |

[指標]



※平成29年度は、台風接近により、開催日数を縮減

2 地産地消活動推進事業費

445,667 円（農業企画課・農業支援課）

[総括]

地産地消を推進するため、三遠ネオフェニックスの協力の下、地産地消PR冊子を作成し、豊橋産農産物の地産地消活動を行った。今後も、多くの市民に豊橋産農畜産物へ関心を持ってもらい、また消費拡大を図るため引き続き事業推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) キッズ豊橋農業マイスター育成事業費 61,667 円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------------------|-------|-------|
| キッズ豊橋農業 マイスター認定者数 | 21人 | 0人 |

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|-------------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|---------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 7目 自然ふれあい費 <自然とのふれあいの場の確保> | 879,656 | 0 | 0 | 0 | 879,656 |

1 市民ふれあいの森管理事業費 879,656円 (農業支援課)

[総括]

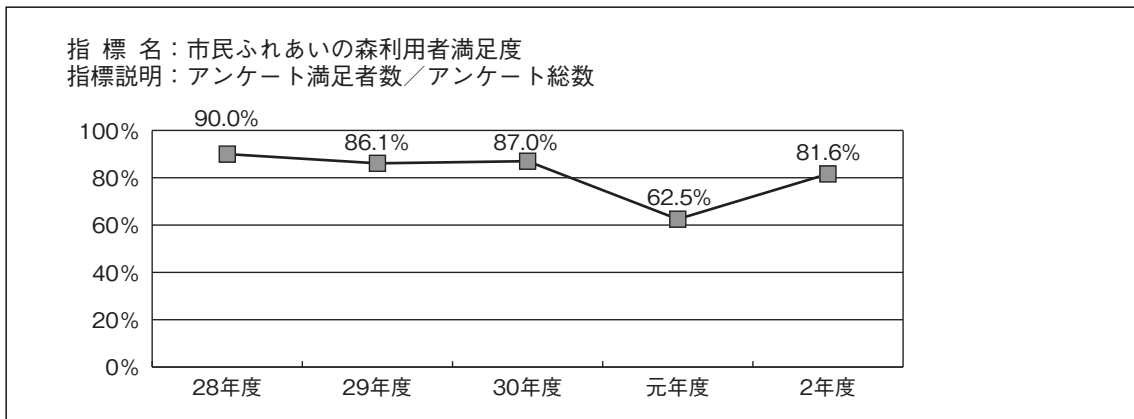
北部地域に位置する吉祥山を、登山や林業体験などの活動や森林浴など市民の憩いの場として利用できるよう施設の維持管理や登山道の整備を行った。今後とも、健康登山や植物観察など利用目的の多様化に応じた施設維持を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 市民ふれあいの森管理事業費 879,656円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|------------|
| | | 草刈、浄化槽保守管理 |

[指標]



| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|------------------------|-----------------|-------------|-------|-------|------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 9目 森林保全費 <森林の保全と育成> | 39,598,877 | 0 | 0 | 4,090 | 39,594,787 |

1 森林保育除間伐推進事業補助金 200,000円 (農業支援課)

[総括]

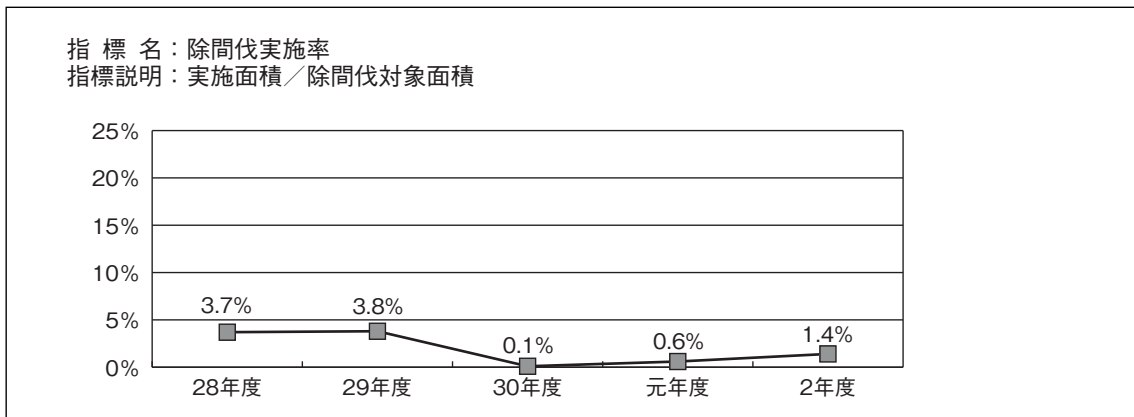
水源涵養など森林の公益的機能を保全し、良質な木材資源を確保するため、市内にある除間伐適期 457ha の森林のうち、令和2年度は森林所有者4戸の除間伐 2.0ha に対する助成を行った。今後も、山林所有者の高齢化や相続による不在地主の増加に対応した事業を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 森林保育除間伐推進事業補助金 200,000円

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|----------|----------|
| 除 間 伐 面 積 | 1.0ha | 2.0ha |
| 補 助 金 | 100,000円 | 200,000円 |

[指 標]



2 森林環境整備推進事業費 2,670,653円 (農業支援課)

[総括]

森林所有者の高齢化などにより、手入れの行き届かない人工林の把握および健全化を推進するため、対象地区の森林管理意向調査及び分析を行った。今後も、本市が主体となって人工林の適正管理に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 森林環境整備推進事業費 2,670,653円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|---------------------------|-------|
| | 森林所有者情報の整備および山主アンケート調査の実施 | |

| 科目 | 決算額等 決算額 (円) | 財 源 内 訳 (円) | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 2項 農地整備費 | 1,079,478,727 | 159,344,500 | 249,500,000 | 12,720,975 | 657,913,252 |
| 2目 農業生産基盤整備費 <農業生産を支える基盤の充実> | 928,402,501 | 159,344,500 | 249,500,000 | 12,600,000 | 506,958,001 |

1 かんがい排水整備事業費 125,127,640円 (農地整備課)

[総括]

農業用排水施設の機能を強化することにより、水資源の有効利用と農業経営の安定化を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

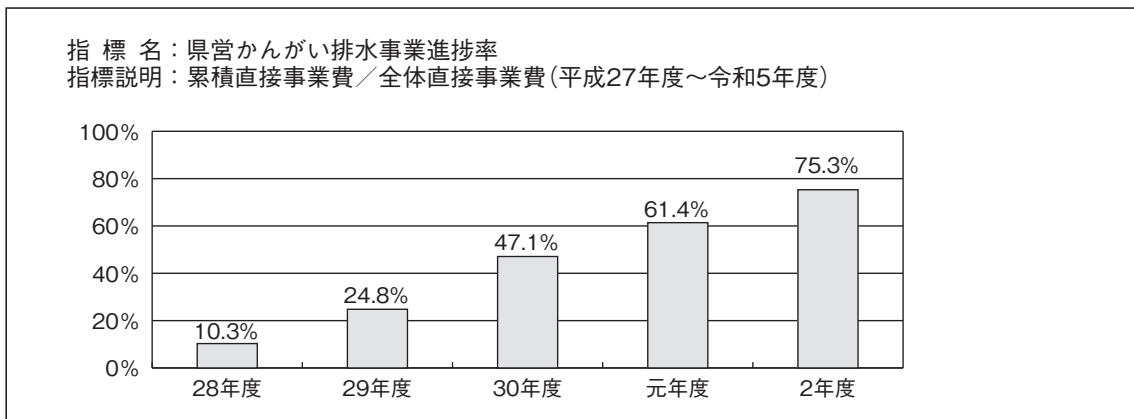
(1) 県営かんがい排水事業補助金 73,106,730円

| 区 分 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | 事業費 | 補助金 | 事業費 | 補助金 |
| 二 回 地 区 | 469,999,682円 | 78,079,539円 | 224,998,996円 | 28,521,859円 |
| 神野新田地区 | 225,999,011 | 22,584,039 | 446,749,419 | 44,584,871 |

(2) かんがい排水事業計画調査事業補助金 1,221,000円

| 区 分 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------------|-------|-----|-------------|------------|
| | 事業費 | 補助金 | 事業費 | 補助金 |
| 牟呂明治地区 | — | — | 12,210,000円 | 1,221,000円 |

[指標]



※二回地区、神野新田地区事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、28～元年度指標を再計算

(3) 単県土地改良事業補助金 43,331,510円

| 内 容 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | 事業費 | 補助金 | 事業費 | 補助金 |
| 土地改良区への補助 | 252,729,900円 | 43,186,760円 | 281,048,900円 | 43,331,510円 |

(4) 土地改良施設維持管理事業補助金 7,468,400円

| 内 容 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 事業費 | 補助金 | 事業費 | 補助金 |
| 用水機維持管理事業補助金 | 73,923,000円 | 7,392,300円 | 71,684,000円 | 7,168,400円 |
| 土地改良施設維持管理 適正化事業補助金 | — | — | 3,000,000 | 300,000 |

2 ため池等整備事業費 128,059,136 円（農地整備課）

[総括]

ため池の適切な状態を維持し安全対策と機能保持を図った。今後もため池施設の適正な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) ため池等維持管理適正化事業費 17,319,500 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|-------------|-------------|
| 工 事 費 | 29,304,000円 | 14,019,500円 |
| 負 担 金 | 3,847,500 | 3,300,000 |

(2) ため池維持補修事業費 74,823,269 円

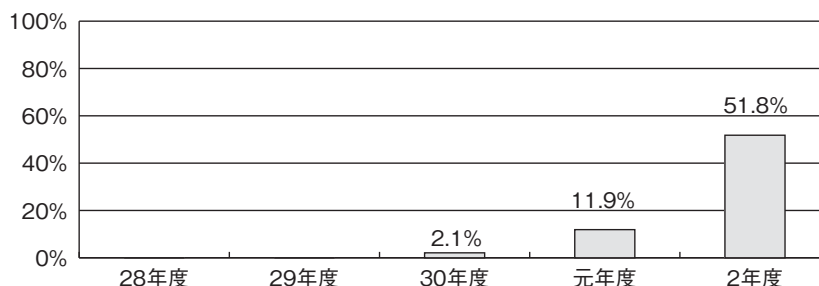
| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---------|----------|----------|
| 除 草 委 託 | 245,430㎡ | 256,050㎡ |

(3) 県営防災ダム事業負担金 19,256,479 円

| 区 分 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------------|-------------|------------|--------------|-------------|
| | 事 業 費 | 市 負 担 金 | 事 業 費 | 市 負 担 金 |
| 嵩 山 池 地 区 | 32,349,100円 | 3,558,401円 | 126,999,600円 | 13,969,956円 |
| 影 色 池 地 区 | 10,649,100 | 1,171,401 | 42,999,300 | 4,729,923 |
| ひょうたん池地区 | — | — | 5,060,000 | 556,600 |

[指標]

指標名：県営防災ダム事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和5年度）



※嵩山池地区、影色池地区事業費変更及びひょうたん池地区追加に伴う全体直接事業費見直しのため、30～元年度指標を再計算

(4) 県営湖岸堤防事業負担金 16,659,888 円

| 区 分 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------------|-------|---------|--------------|-------------|
| | 事 業 費 | 市 負 担 金 | 事 業 費 | 市 負 担 金 |
| 神野新田3期地区 | — | — | 118,999,200円 | 16,659,888円 |

3 ほ場整備事業費 112,512,836 円（農地整備課）

[総括]

ほ場整備により農地の集団化と利用集積を行い、農業生産性を高め農業経営の安定化を図った。今後もほ場整備事業推進のため、地元や関係機関とより連携して事業を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 県営ほ場整備事業補助金 29,487,975 円

| 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 事業費 | 補助金 | 事業費 | 補助金 |
| 五号地区 | 87,999,505円 | 18,716,742円 | 70,849,900円 | 16,177,975円 |
| 三郷地区 | — | — | 334,998,962 | 10,625,000 |
| 東細谷地区 | — | — | 249,999,800 | 2,685,000 |

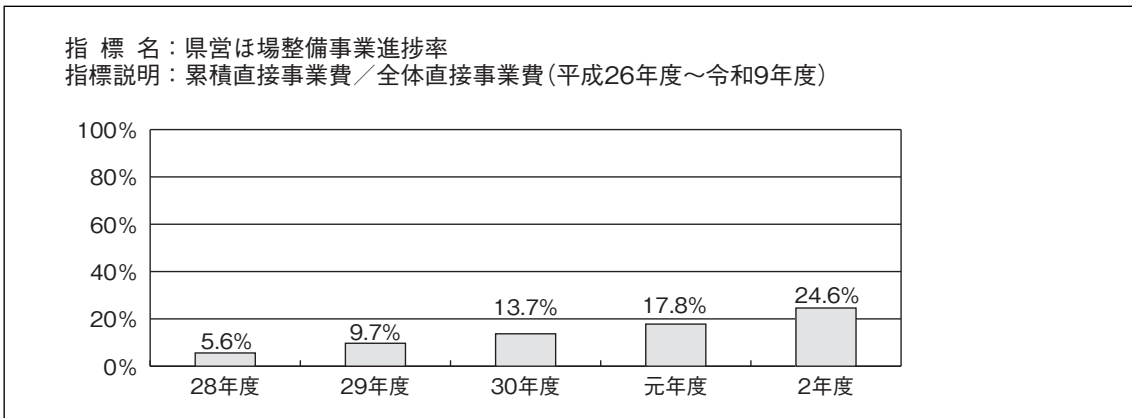
(2) 県営ほ場整備事業負担金 77,249,861 円

| 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | 事業費 | 市負担金 | 事業費 | 市負担金 |
| 三郷地区 | 199,999,800円 | 19,999,980円 | 334,998,962円 | 33,499,896円 |
| 東細谷地区 | 109,999,600 | 19,249,930 | 249,999,800 | 43,749,965 |

(3) ほ場整備事業計画調査事業補助金 5,775,000 円

| 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|------|-------|-----|-------------|------------|
| | 事業費 | 補助金 | 事業費 | 補助金 |
| 小沢地区 | — | — | 11,550,000円 | 5,775,000円 |

[指標]



※五号地区事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、28～元年度指標を再計算

4 農道整備事業費 14,013,798 円（農地整備課）

[総括]

農道整備を推進し、農作物運搬効率の向上、農業経営の安定及び農村生活環境の向上を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 農道維持補修事業費 14,013,798 円

| 内容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----|-------|---------|
| | | 舗装工等 一式 |

5 農村保全活動推進事業費 185,061,000 円（農地整備課）

[総括]

地域資源（農用地・水路・農道等）の保全管理などの地域の共同活動に対し支援を行い、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図った。今後も、活動に関する指導、助言を行い、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能の適切かつ十分な発揮につなげていく。

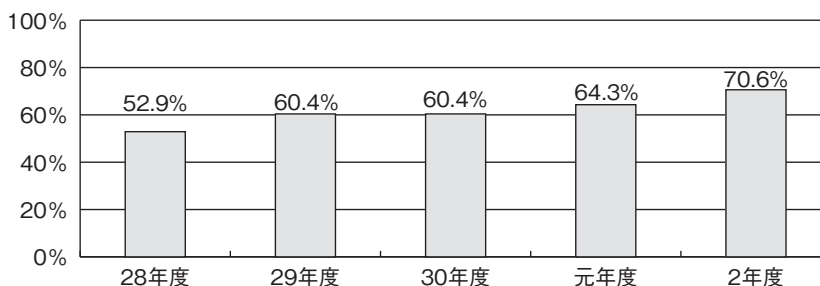
[実績及び成果]

(1) 農村保全活動推進事業費 185,061,000 円

| 内 容 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|--------------|--------------|
| 活 動 組 織 数 | 32組織 | 34組織 |
| 事 業 費 | 183,391,200円 | 185,061,000円 |

[指 標]

指 標 名：対象農用地面積に対する活動面積の比率(カバー率)
 指標説明：活動面積／対象農用地面積(市内農振農用地区域内の農用地面積)



6 農業用排水機場整備事業費 184,385,895 円（河川課）

[総括]

施設の老朽化に伴い能力が低下した排水機場、排水路等を更新することにより、農地のたん水被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図った。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

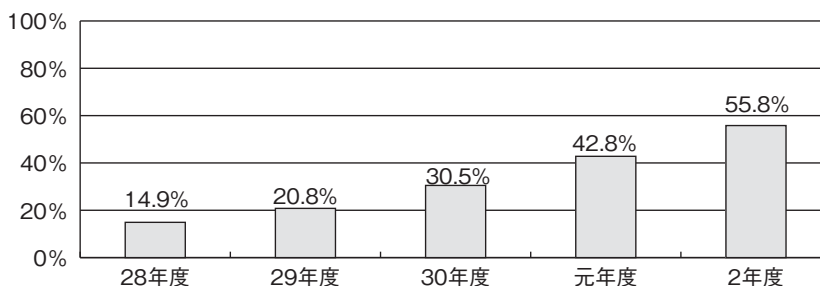
[実績及び成果]

(1) 県営たん水防除事業負担金 135,878,046 円

| 区分 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 事業費 | 市負担金 | 事業費 | 市負担金 |
| 植田地地区 | 40,999,740円 | 5,918,751円 | 6,624,950円 | 993,743円 |
| 新老津地区 | 10,810,536 | 1,621,580 | — | — |
| 新清須地区 | 373,194,810 | 55,979,221 | 263,199,169 | 39,479,875 |
| 新高師地区 | 186,812,840 | 28,021,926 | 314,649,900 | 47,197,485 |
| 野依地区 | 229,999,300 | 29,899,909 | 167,653,052 | 21,794,897 |
| 新梅藪地区 | 32,143,641 | 4,178,673 | 152,649,582 | 19,844,446 |
| 三郷地区 | 41,786,800 | 5,432,284 | 50,520,000 | 6,567,600 |

[指標]

指標名：県営たん水防除事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和7年度）



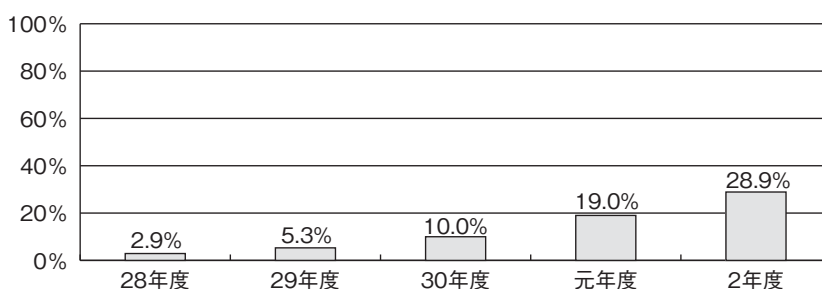
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、28～元年度指標を再計算

(2) 県営緊急農地防災事業負担金 21,547,949 円

| 区分 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-----------|--------------|-------------|-------------|------------|
| | 事業費 | 市負担金 | 事業費 | 市負担金 |
| 五間川地区 | 101,301,098円 | 18,095,471円 | — | — |
| 大村東地区 | 8,360,000 | 1,254,000 | 7,317,496円 | 1,097,624円 |
| 大村西地区 | 123,122,480 | 18,468,372 | 136,335,500 | 20,450,325 |

[指 標]

指 標 名：県営緊急農地防災事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成28年度～令和5年度)



※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、28～元年度指標を再計算

- (3) 緊急農地防災事業費 16,215,100 円

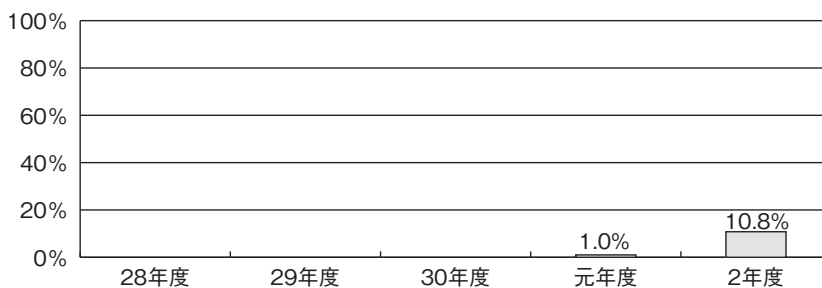
| 地区名 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----|-------|----------|
| 緑地区 | 実施設計 | 組立水路工 一式 |

- (4) 農業水利施設保全対策事業負担金 10,249,800 円

| 地区名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|--------|------------|----------|-------------|-------------|
| | 事業費 | 市負担金 | 事業費 | 市負担金 |
| 豊橋西部地区 | 3,999,600円 | 999,900円 | 40,999,200円 | 10,249,800円 |

[指 標]

指 標 名：農業水利施設保全対策事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和元年度～令和5年度)



※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、元年度指標を再計算